

東芝デジタル複合機

印刷ガイド

e-STUDIO2000AC

e-STUDIO2505AC/3505AC/4505AC/5005AC

e-STUDIO2508A/3508A/4508A/5008A

e-STUDIO5506AC/6506AC/7506AC

e-STUDIO6508A/8508A

©2016 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複製、複製を禁じます。


はじめに


このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、本機で印刷を行うために必要なプリンタドライバの設定および印刷方法について説明しています。
これらの機能を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、これらの機能を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

■ 本書の読みかた

□ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

 **警告** 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。

 **注意** 「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。

注意

操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

補足

操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。



関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

□ 本書の対象読者について

本書は一般使用者および機器管理者向けの取扱説明書です。

□ 本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO2000AC	e-STUDIO5005AC Series
e-STUDIO2505AC/3505AC/4505AC/5005AC	
e-STUDIO2508A/3508A/4508A/5008A	e-STUDIO5008A Series
e-STUDIO5506AC/6506AC/7506AC	e-STUDIO7506AC Series
e-STUDIO6508A/8508A	e-STUDIO8508A Series

□ オプション機器について

使用可能なオプション機器は、お使いの機種のかんたん操作ガイドのオプションについての情報をご覧ください。

□ 画面と操作手順の説明について

- 本書では、Windowsでの画面および操作手順は、Windows 10を例に説明しています。Mac OSでの画面および操作手順は、Mac OS X 10.10.xを例に説明しています。
お使いの機種やオプション機器の装着状況、OSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。
- 本書では、設定項目などの初期値を下線で表記しています。

本文中の記載名称について

本書では、両面同時原稿送り装置と自動両面原稿送り装置を、どちらも自動原稿送り装置と記述して説明しています。

製品に付属するインストールディスクについて

本書では、ソフトウェアをインストールするためのディスクを総称して「インストールディスク」と表記します。

商標について

商標については安全にお使いいただくためにをご覧ください。

目次

はじめに.....	3
本書の読みかた	3
第1章 概要	
特長および機能について	10
プリンタドライバについて.....	11
Mac OS	11
UNIX/Linux.....	11
第2章 Windowsアプリケーションから印刷する	
基本的な印刷手順	15
印刷方法	15
部門コードやユーザ名の入力が必要なときは	17
用紙や倍率に関する設定	20
定形用紙を選ぶ.....	20
さまざまな用紙を使って印刷する.....	22
拡大、縮小する.....	27
印刷の向きを変える.....	28
排紙先を選択する.....	29
レイアウトや仕上がりに関する設定	30
1部またはページごとに分けて印刷する.....	30
両面印刷する	32
本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）.....	32
複数ページを1枚の用紙に印刷する	35
ホチキス留めにする.....	36
パンチ穴をあける.....	36
余白を変更する.....	37
1ページを複数枚の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）.....	38
節約に関する機能.....	39
両面印刷する	39
複数ページを1枚の用紙に印刷する	39
白紙は印刷しないようにする	39
トナーを節約する.....	39
表紙やページ間に別の用紙を挿入する.....	40
表紙および裏表紙を挿入する	40
指定したページに用紙を挿入する.....	41
1ページごとに用紙を挿入する.....	42
色や画質に関する設定.....	43
印刷色を指定する.....	43
原稿に合わせて画質を選択する.....	46
画質を調整したいときは.....	48
印刷内容を付加する機能	51
文書上に薄い文字を重ねて印刷する（スタンプ）.....	51
別のページイメージを重ねて印刷する（オーバーレイファイル）.....	54
本体にジョブを保存してから出力する.....	58
指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）.....	58
機密文書を印刷する（プライベート印刷）.....	59
1部を確認してから残りを印刷する（お試し印刷）.....	60
保留状態で印刷ジョブを送る（ホールド印刷）.....	61
別の複合機から印刷する（マルチステーション印刷）.....	62
本体のボックスに保存する（本体に保存）.....	63
条件を組み合わせると印刷する	66

複数のMFPがある場合に利用できる機能	69
印刷に使用する機体を変更する.....	69
1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する（タンデム印刷）.....	71
印刷設定の保存	72
印刷機能の初期値を変える.....	72
よく使う印刷設定を保存する（簡易設定）.....	74
簡易設定をテンプレートに割り当てる.....	76
オプション機器やユーザ認証の設定	80
プリンターのオプション機器を設定する.....	80
部門管理機能を利用する.....	83
ユーザ認証機能を利用する.....	84
注意事項について.....	86
プリンタドライバの機能概要	87
プリンタドライバの設定.....	87
[基本] タブ.....	88
[仕上げ] タブ.....	89
[挿入] タブ.....	90
[画質] タブ.....	91
[効果] タブ.....	92
[カスタム] タブ.....	93
[デバイス設定] タブ.....	95
[テンプレート] タブ.....	96
プリンタドライバヘルプについて.....	97

第3章 Mac OSアプリケーションから印刷する

基本的な印刷手順（Mac OS X 10.6.x ~ Mac OS X 10.11.x）	101
印刷方法.....	101
部門コードやユーザ名の入力が必要なときは.....	102
用紙や倍率に関する設定	103
定形用紙を選ぶ.....	103
さまざまな用紙を使って印刷する.....	106
拡大、縮小する.....	109
印刷の向きを変える.....	110
排紙先を選択する.....	111
レイアウトや仕上がりに関する設定	112
1部ごと仕分けして排紙する（丁合い）.....	112
両面印刷する.....	114
本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）.....	115
複数ページを1枚の用紙に印刷する.....	116
ページの順番を逆にして印刷する.....	117
奇数（または偶数）ページのみを印刷する.....	117
ホチキス留めにする.....	118
パンチ穴をあける.....	120
用紙の中央で中折りして印刷する.....	121
節約に関する機能	122
両面印刷する.....	122
複数ページを1枚の用紙に印刷する.....	122
白紙は印刷しないようにする.....	122
トナーを節約する.....	123
表紙やページ間に別の用紙を挿入する	124
表紙および裏表紙を挿入する.....	124
バナーページを挿入する.....	125
色や画質に関する設定	126
印刷色を指定する.....	126

印刷時の版ズレを防ぐ	129
原稿に合わせて画質を選択する	130
画質を調整したいときは	132
印刷内容を付加する機能	138
文書上に薄い文字を重ねて印刷する (スタンプ)	138
本体にジョブを保存してから出力する	139
指定した日時にジョブを印刷する (予約印刷)	139
機密文書やサンプル印刷を設定する	140
本体のボックスに保存する (本体に保存)	141
印刷設定の保存	142
設定内容の確認/注意事項	143
印刷設定の内容や消耗品を確認する	143
注意事項について	143
プリンタドライバの機能概要	144
プリンタドライバの表示方法	144
「ページ設定」ダイアログボックス	145
「プリント」ダイアログボックス	145
第4章 その他の印刷方法	
<hr/>	
UNIX/Linux環境から印刷する	150
注意点と確認事項について	150
LPコマンドを使用して印刷する	150
一般的なlpおよびlptapオプション	151
一般的なオプション	151
PCL5e固有オプション	163
USBダイレクト印刷	167
USBメディアからファイルを印刷する	167
印刷時の注意事項	169
FTP印刷	170
Eメール印刷	171
索引	173

1

概要

特長および機能について.....	10
プリンタドライバについて	11
Mac OS.....	11
UNIX/Linux.....	11

特長および機能について

サポートするクライアントプラットフォーム

本機は、IBM互換コンピュータ、Mac OS、およびUNIX/Linuxワークステーションをサポートしています。（プラットフォームによってサポートする機能は異なります。）

多様なポート機能

SMB、IPP、Raw TCP、WSD、LPRポートの印刷ポートをサポートしています。

多様な印刷ジョブ

印刷ジョブの種類を用途によって使い分けることができます。

- 通常印刷は特別な設定を必要としません。通常は、この印刷モードを使用します。
- 予約印刷では、印刷する時間や日付を指定して印刷します。
- プライベート印刷では、本機のタッチパネルよりパスワードを入力するまで、ジョブを保持します。
- ホールド印刷では、本機のタッチパネルより印刷操作を実行するまで、ジョブを保持します。
- マルチステーション印刷では、本機に送信したジョブを別の複合機から印刷することができます。

注意

この機能を使用するにはマルチステーション印刷オプションが必要です。また、本機のユーザ認証が有効である必要があります。

- お試し印刷では、複数部数を設定した印刷ジョブを1部だけ印刷します。印刷結果を確認後、残り部数の印刷を実行します。
- オーバーレイファイルで保存では、印刷ジョブをオーバーレイファイルとして保存します。保存したオーバーレイファイルは印刷する文書の背面に印刷することができます。
- 本体に保存では、印刷文書を本機のファイリングボックスに保管します。
- ジョブタイプの組み合わせでは、複数のジョブタイプを組み合わせで印刷することができます。たとえば、「予約印刷」と「本体に保存」を組み合わせれば、印刷文書を本機のファイリングボックスに保管し、さらに指定した時間に印刷させることができます。

高度なフィニッシングオプション

装着されているフィニッシングオプションの構成によって、ソート印刷、グループ印刷、ホチキス印刷、サドルステッチ印刷、パンチ印刷など、さまざまな出力機能を使用できます。使用できる機能は、機種により異なります。

レイアウトの変更とページ組み機能

アプリケーションで作成した文書をそのまま印刷する以外に、両面左右開き印刷や複数ページを1枚の用紙に印刷するなど、レイアウトを変更して印刷を実行できます。

また、表紙印刷や裏表紙印刷、指定したページのシート印刷、ページごとに用紙を挿入する差し込み印刷なども利用することができます。

多様な大きさの印刷用紙に対応

アプリケーションで作成した文書を、定形サイズのほかにユーザ設定サイズを定義して印刷することができます。

スタンプとオーバーレイファイル

スタンプは、印刷する文書に指定の文字列を重ねた状態で用紙に印刷する機能です。スタンプによって、印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類できます。代表的なスタンプとして、「コピー」、「ドラフト」、「社外秘」などがあります。いくつかのスタンプは用意されていますが、スタンプに使用する文字は自分で作成することもできます。

オーバーレイファイルは、スタンプと異なり、テキストだけでなくグラフィックなどを含んだドキュメントをオーバーレイファイルに変換し、透過した状態で印刷する文書の背景として印刷されます。グラフィックを使用するため、通常のテキストのみのスタンプより印刷に時間がかかってしまう場合がありますが、より文書に適応したスタンプを印刷したい場合に便利です。

OSごとのプリンタドライバはインストールディスクに収録されています。必要なドライバのインストール方法については**インストールガイド**を参照してください。

■ Mac OS

Mac OS用のプリンタドライバはインストールディスクの下記フォルダに収録されています。

Mac OS PPDファイル

- [インストールディスク] :MacPPD
Mac OS X 10.6以降の環境からの印刷に使用するPPDファイル、また印刷に使用するプラグインファイルが収録されています。

■ UNIX/Linux

UNIX/Linux用のプリンタドライバはインストールディスクの以下のフォルダに収録されています。

Solarisフィルタ

Solaris v11.2用tarファイルが収録されています。
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
[インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/SolarisFilter/Usa/
- モノクロMFP
[インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/SolarisFilter/Usa/

HP-UXフィルタ/HP-UX64フィルタ

HP-UX 11iv3用のtarファイルが収録されています。
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
[インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/HP-UXFilter/Usa/
- モノクロMFP
[インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/HP-UXFilter/Usa/

AIXフィルタ

AIX 7.x用tarファイルが収録されています。
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
[インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/AIXFilter/Usa/
- モノクロMFP
[インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/AIXFilter/Usa/

Linuxフィルタ

以下のOS用tarファイルが収録されています。

Fedora 21/22

Red Hat Enterprise Linux 5.x/6.x/7.x

SUSE Linux Enterprise Server 11/12

openSUSE 13.2/13.3

Turbolinux Client 12.5

Ubuntu 14.04LTS/15.04

ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
[インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/LinuxFilter/Usa/
- モノクロMFP
[インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/LinuxFilter/Usa/

CUPS PPDファイル

UNIX/LinuxのCUPS環境からの印刷に使用するPPDファイルが収録されています。
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

-
- カラー MFP
 - [インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default/
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
 - [インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal/
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。
 - モノクロMFP
 - [インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default/
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
 - [インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal/
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

Windowsアプリケーションから印刷する

基本的な印刷手順	15
印刷方法	15
部門コードやユーザ名の入力が必要なときは	17
用紙や倍率に関する設定	20
定形用紙を選ぶ	20
さまざまな用紙を使って印刷する	22
拡大、縮小する	27
印刷の向きを変える	28
排紙先を選択する	29
レイアウトや仕上がりに関する設定	30
1部またはページごとに分けて印刷する	30
両面印刷する	32
本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）	32
複数ページを1枚の用紙に印刷する	35
ホチキス留めにする	36
パンチ穴をあける	36
余白を変更する	37
1ページを複数枚の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）	38
節約に関する機能	39
両面印刷する	39
複数ページを1枚の用紙に印刷する	39
白紙は印刷しないようにする	39
トナーを節約する	39
表紙やページ間に別の用紙を挿入する	40
表紙および裏表紙を挿入する	40
指定したページに用紙を挿入する	41
1ページごとに用紙を挿入する	42
色や画質に関する設定	43
印刷色を指定する	43
原稿に合わせて画質を選択する	46
画質を調整したいときは	48
印刷内容を付加する機能	51
文書上に薄い文字を重ねて印刷する（スタンプ）	51

別のページイメージを重ねて印刷する（オーバーレイファイル）	54
本体にジョブを保存してから出力する	58
指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）.....	58
機密文書を印刷する（プライベート印刷）.....	59
1部を確認してから残りを印刷する（お試し印刷）.....	60
保留状態で印刷ジョブを送る（ホールド印刷）.....	61
別の複合機から印刷する（マルチステーション印刷）.....	62
本体のボックスに保存する（本体に保存）.....	63
条件を組み合わせて印刷する	66
複数のMFPがある場合に利用できる機能	69
印刷に使用する機体を変更する.....	69
1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する（タンデム印刷）.....	71
印刷設定の保存	72
印刷機能の初期値を変える.....	72
よく使う印刷設定を保存する（簡易設定）.....	74
簡易設定をテンプレートに割り当てる.....	76
オプション機器やユーザ認証の設定	80
プリンターのオプション機器を設定する	80
部門管理機能を利用する	83
ユーザ認証機能を利用する.....	84
注意事項について	86
プリンタドライバの機能概要	87
プリンタドライバの設定	87
[基本] タブ	88
[仕上げ] タブ.....	89
[挿入] タブ	90
[画質] タブ	91
[効果] タブ	92
[カスタム] タブ	93
[デバイス設定] タブ.....	95
[テンプレート] タブ.....	96
プリンタドライバヘルプについて	97

基本的な印刷手順

Windowsアプリケーションからの印刷方法について説明します。

📖 P.15 「印刷方法」

📖 P.17 「部門コードやユーザ名の入力が必要なときは」

■ 印刷方法

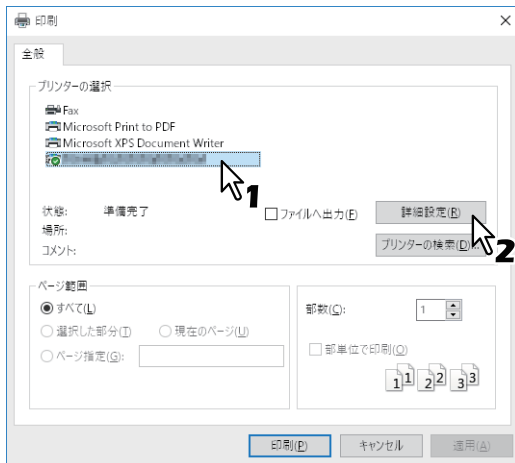
プリンタドライバをインストールすれば、ほとんどのWindowsアプリケーションで印刷を実行できます。プリンタドライバが提供する印刷オプションでは、印刷目的に合ったさまざまな印刷機能を使用することができます。

補足

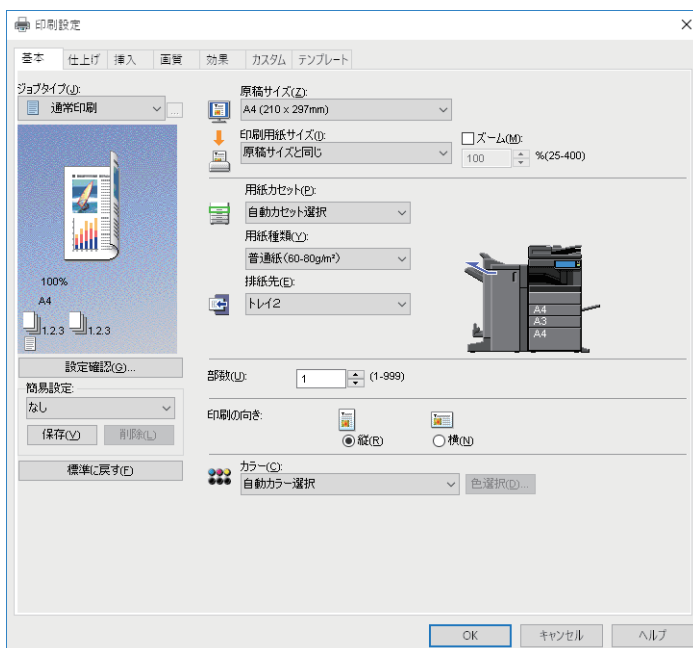
プリンタドライバのプロパティダイアログを表示させる手順は、お使いのアプリケーションによって異なります。詳細はアプリケーションに付属の取扱説明書を参照してください。

ここでは、Windowsのメモ帳から印刷する場合を例に説明します。

- 1 印刷するファイルを開き、[ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 2 プリンター一覧から使用する本機プリンタドライバを選択し、[プロパティ] (または [詳細設定] など) をクリックします。



- 3 各タブで印刷機能を設定します。

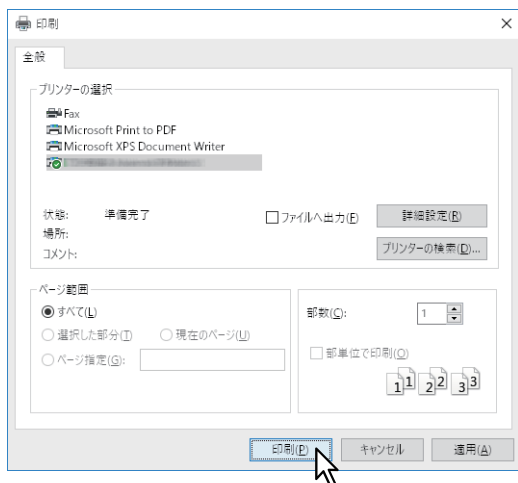


簡易設定を使って印刷機能を設定することもできます。

📖 P.74 「簡易設定を保存する」

4 [OK] をクリックして、設定を保存します。

5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックして、文書を印刷します。



■ 部門コードやユーザ名の入力が必要なときは

- 📖 P.17 「部門コードの入力」
- 📖 P.18 「ユーザ名とパスワードの入力」
- 📖 P.19 「LDAPサーバー名の指定」

□ 部門コードの入力

本機が部門コードでカウンタ情報を管理している場合、印刷するときに部門コードを入力する必要があります。詳細は管理者にご確認ください。

以下の手順であらかじめ部門コードを入力しておくことで、印刷するたびに部門コードを入力する手間を省くことができます。

補 足

- 部門コードでカウンタ情報を管理するための設定は、管理者が行います。
📖 P.83 「部門管理機能を利用する」
- 部門コードは、印刷を実行するごとに入力できます。複数の印刷ジョブを異なる部門コードで処理する場合は、印刷するときに該当する部門コードをそれぞれ入力してください。

1 [スタート] を右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。

プリンタフォルダが表示されます。

補 足

- Windows 8.1/Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows 7をお使いの場合は、[スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008をお使いの場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。

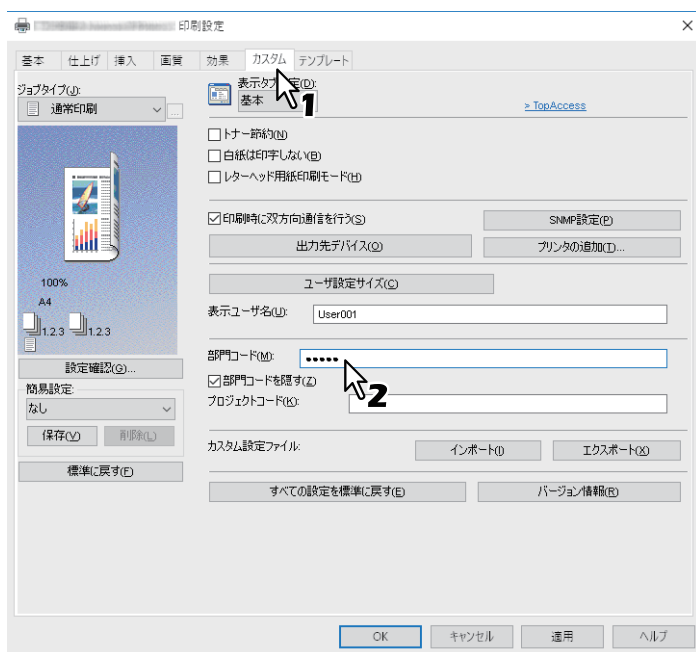
2 本機プリンタドライバを右クリックし、表示されたメニューから [印刷設定] を選択します。



補 足

- Windows Vista/Windows Server 2008をお使いの場合は、本機プリンタドライバを選択し、[ファイル] メニューから [印刷設定] をクリックします。
- [ファイル] メニューが表示されていない場合は、[Alt] キーを押します。

3 [カスタム] タブを選択し、部門コードを入力します。



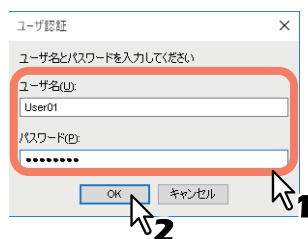
[部門コード] には、1～63桁まで入力できます。

4 [適用] または [OK] をクリックして、設定を保存します。

ユーザ名とパスワードの入力

ユーザ名とパスワード入力のオプションが有効に設定されている場合、印刷する際にユーザ名とパスワードの入力を要求されます。

この場合は、ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。

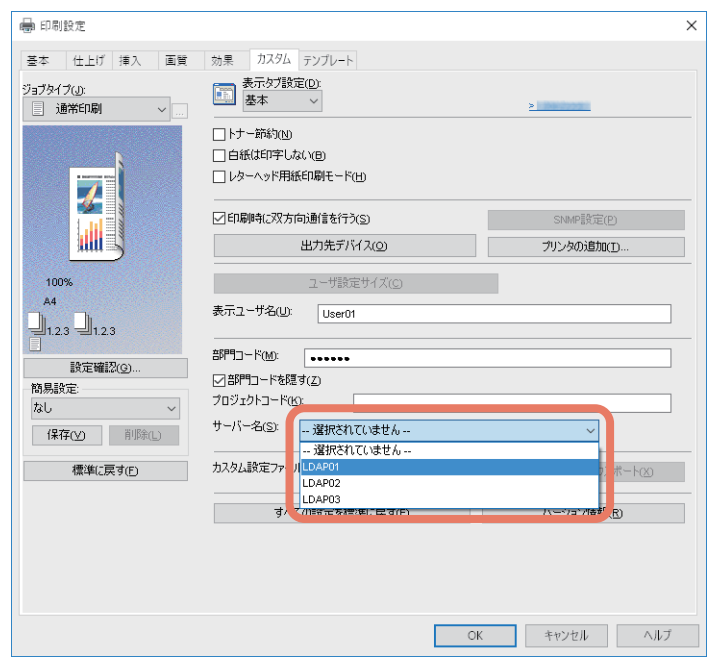


補足

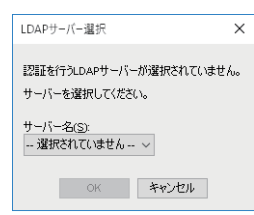
- [ユーザ名] には半角英数文字で128文字まで、[パスワード] ボックスには半角英数文字で64文字まで入力できます。
 - 入力したユーザ名やパスワードは保存されません。印刷を実行するごとに入力する必要があります。
 - このオプションの設定は、[デバイス設定] タブで行います。
- 📖 P.84 「印刷ごとにユーザ名とパスワードを入力する」

□ LDAPサーバー名の指定

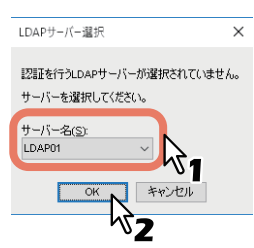
LDAP認証が有効に設定されている場合、[カスタム] タブの [サーバー名] でLDAPサーバーを指定してください。



LDAPサーバーを指定せずに印刷ジョブを送信すると、[LDAPサーバー選択] ダイアログボックスが表示されます。



この場合は、[サーバー名] ボックスでLDAPサーバーを指定し、[OK] をクリックします。



補足

LDAP認証の設定は、[デバイス設定] タブで行います。
 P.85 「LDAP認証用のLDAPサーバーを設定する」

用紙や倍率に関する設定

- 📖 P.20 「定形用紙を選ぶ」
- 📖 P.22 「さまざまな用紙を使って印刷する」
- 📖 P.27 「拡大、縮小する」
- 📖 P.28 「印刷の向きを変える」
- 📖 P.29 「排紙先を選択する」

■ 定形用紙を選ぶ

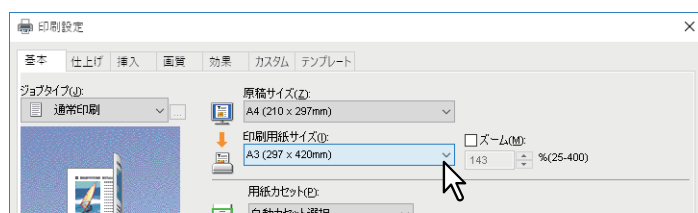
印刷目的に合わせて用紙設定します。ここでは、[基本] タブで設定できる下記機能について説明します。

- 📖 P.20 「用紙サイズを指定する」
- 📖 P.20 「給紙元を選択する」
- 📖 P.21 「用紙種類を指定する」

□ 用紙サイズを指定する

印刷に使用する用紙サイズを選択します。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [原稿サイズ] から文書のサイズを選択します。
- 3 [印刷用紙サイズ] から用紙のサイズを選択します。

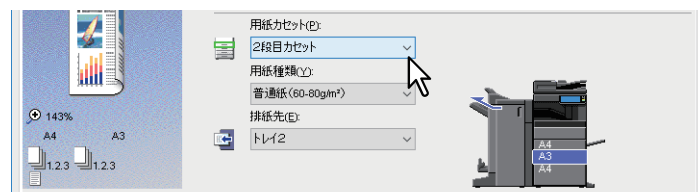


原稿サイズと同じサイズで印刷するときは、[原稿サイズと同じ] を選択します。

- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 給紙元を選択する

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [用紙カセット] から用紙の給紙元を選択します。



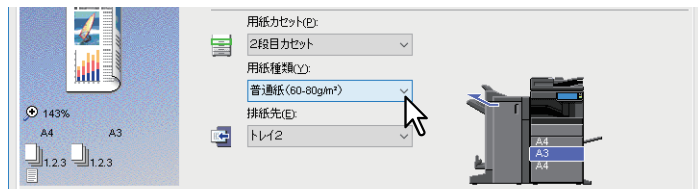
[基本] タブの本機プレビューで、選択した給紙元の色が変わります。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

用紙種類を指定する

印刷に使用する用紙の種類を選択します。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [用紙種類] から用紙の種類を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ さまざまな用紙を使って印刷する

用紙をセットする際に注意が必要となる印刷の手順を説明します。

📖 P.22 「インデックス紙に印刷する」

📖 P.24 「はがきに印刷する」

📖 P.25 「ユーザ設定サイズを登録して印刷する」

□ インデックス紙に印刷する

インデックス紙のインデックス部分への印刷をサポートしています。

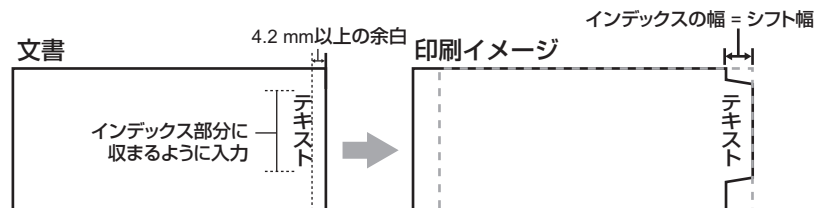
注意

- A4サイズまたはLetterサイズのみサポートしています。
- 複数枚のインデックス紙を一度に印刷すると、印刷イメージがはみ出てしまった場合など、2枚目以降のインデックス紙の裏面に汚れが付着することがあります。これを回避するため、インデックス紙印刷は1枚ずつ別ジョブとして印刷することをお勧めします。
- インデックス部分を送るローラーがないため、本体の排紙トレイに用紙が引っ掛かったまま残ってしまうことがあります。この場合は、次のジョブを印刷する前にインデックス紙を取り除いてください。

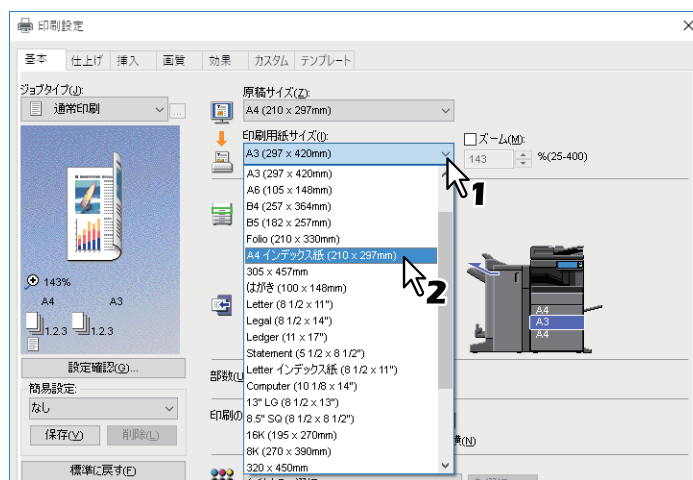
1 インデックス紙に印刷するA4サイズまたはLetterサイズの文書を作成し、インデックスに印刷するテキストを文書の右端に配置します。

テキストの縦位置は、インデックスに収まるように調整して入力してください。

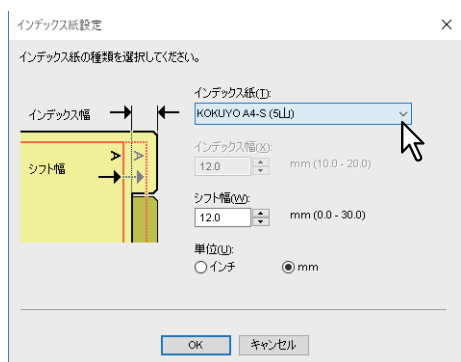
用紙の端から4.2 mmの範囲には印刷できないため、テキストの文書右端まで4.2 mm以上の余白を残しておく必要があります。印刷する際には、インデックス紙幅と同じ数値をシフト幅に入力します。



2 プリンタドライバのプロパティを表示し、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] で [A4 インデックス紙] または [Letter インデックス紙] を選択します。



- 3 [インデックス紙] で、使用するインデックス紙の製品名を選択するか、または [カスタム] を選択します。



- 4 [カスタム] を選択した場合は、[インデックス幅] にインデックス幅を入力します。
- 5 [シフト幅] に印刷イメージをシフトする幅を入力します。
手順1のように文書を作成した場合は、[インデックス幅] に入力した値と同じ値を [シフト幅] に入力します。

注意

用紙の端から4.2 mmの範囲には印刷できないため、テキストの文書右端まで4.2 mm以上の余白を残しておく必要があります。印刷する際には、インデックス紙幅と同じ数値をシフト幅に入力します。

- 6 [OK] をクリックします。
- 7 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 8 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。
- 9 インデックス紙を手差しトレイにセットします。
手差しトレイにインデックス紙をセットする場合は、インデックスが外側になるようにセットします。インデックス紙セット方法の詳細は、[用紙準備ガイド](#)を参照してください。
- 10 タッチパネルの [状況確認] を押します。
- 11 操作パネルの [スタート] ボタンを押します。

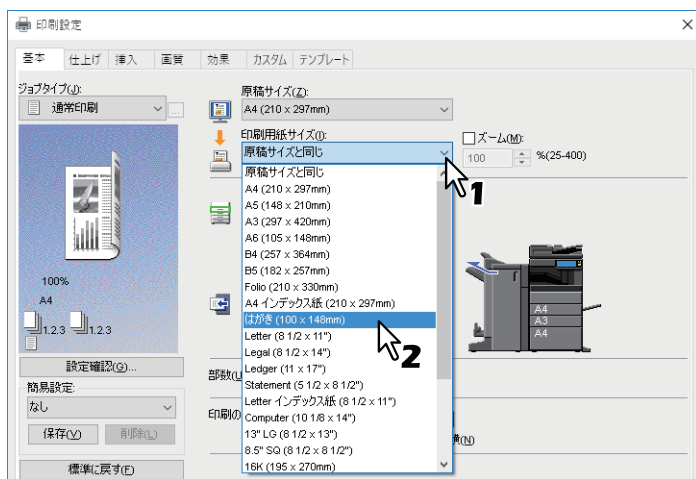
□ はがきに印刷する

手差しトレイよりはがきを印刷する方法を説明します。

注意

- 郵便はがきに印刷できます。インクジェット用はがき、写真用はがき、往復はがき、私製はがきには印刷できません。
- お使いの機種によっては、はがき印刷は利用できません。

1 プリンタドライバのプロパティを表示し、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] で [はがき] を選択します。



2 [用紙種類] で [厚紙2] を選択します。

注意

e-STUDIO5008A Seriesをお使いの場合は、[厚紙3] を選択してください。

3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

5 はがきの下側 (後端) を機体の方に向けて、印刷する面を下にしてセットします。

6 サイドガイドをはがきの幅に合わせます。

はがきセット方法の詳細は、[用紙準備ガイド](#)を参照してください。

7 タッチパネルの [状況確認] を押します。

8 用紙種類の選択画面で、[厚紙2] を押します。

注意

e-STUDIO5008A Seriesをお使いの場合は、[厚紙3] を選択してください。

9 操作パネルの [スタート] ボタンを押します。

□ ユーザ設定サイズを登録して印刷する

ユーザ設定サイズの用紙を登録して印刷する方法を説明します。[カスタム] タブで用紙サイズを登録することで、ユーザ設定サイズを使用できます。

ユーザ設定サイズを登録する

「ユーザ設定サイズ」ダイアログボックスでは、用紙設定を最大40個まで登録することができます。ここで登録したユーザ設定サイズは、[基本] タブの [原稿サイズ] および [印刷用紙サイズ] で選択できます。

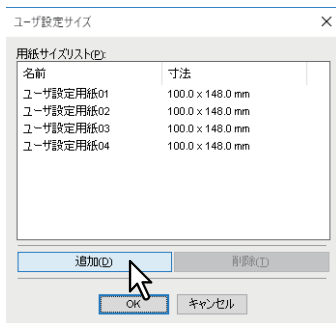
注意

- 登録できるユーザ設定サイズは、機種によって異なります。登録できるユーザ設定サイズについては、仕様ガイドの非定形サイズをご参照ください。
- [ユーザ設定サイズ] は、[デバイスとプリンター] フォルダ (Windows Vista/Windows Server 2008では [プリンタ] フォルダ) からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ設定できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタドライバのプロパティを表示した場合は、設定できません。
- [ユーザ設定サイズ] は、管理者権限でのみ設定が可能です。

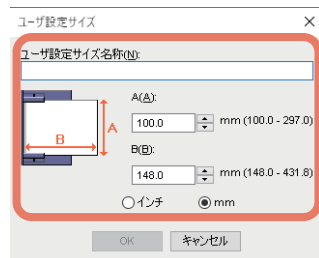
補足

ユーザ設定サイズは、Universal Printer 2 (PCL6) / Universal PS3 / Universal XPSプリンタドライバの間で共用できます。

- 1 [カスタム] タブを選択します。
- 2 [ユーザ設定サイズ] をクリックします。
- 3 [追加] をクリックします。



- 4 「ユーザ設定サイズ-ユーザ設定サイズ名称」ダイアログボックスで詳細を設定します。



ユーザ設定サイズ名称：ユーザ設定サイズの名称を入力します。半角・全角31文字まで入力できます。ここで設定した名前が、[基本] タブの [原稿サイズ] および [印刷用紙サイズ] に表示されます。
用紙寸法：横幅 (A) および縦幅 (B) を指定します。
単位：単位を選択します。

注意

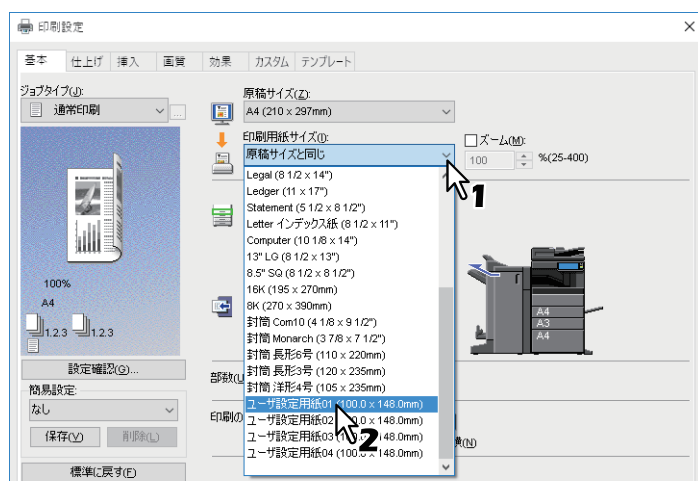
- 機種により、横幅（A）と縦幅（B）の設定可能範囲が異なります。各寸法の右側に表示される設定範囲内で指定してください。
- 横幅（A）または縦幅（B）いずれかは、定形サイズより7 mm以上異なる値で登録してください。差異が7 mm未満だった場合、定形サイズとして扱われます。
- 横幅（A）が縦幅（B）よりも長い用紙サイズは登録できません。そのような文書を印刷したい場合は、用紙の向きを「横」に変更して印刷してください。

5 [OK] をクリックします。

6 用紙サイズリストにユーザ設定サイズ名称が表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。

ユーザ設定サイズの用紙に印刷する

1 プリンタドライバのプロパティを表示し、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] でユーザ設定サイズを選択します。



2 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

3 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

4 ユーザ設定サイズの用紙を手差しトレイまたはカセットにセットします。

注意

定形サイズより長いユーザ設定サイズの用紙を使用するときは、用紙のセット時および排紙時に注意が必要です。詳細は用紙準備ガイドを参照してください。

5 タッチパネルの [状況確認] を押します。

6 セットした用紙に合わせて、用紙種類を選択します。

7 操作パネルの [スタート] ボタンを押します。

補足

手差しトレイまたはカセットに用紙がない場合、タッチパネルにメッセージが表示されます。タッチパネルに表示される用紙サイズは実際に登録した用紙サイズと若干異なることがあります。

■ 拡大、縮小する

指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小して印刷します。倍率は手動で設定することもできます。

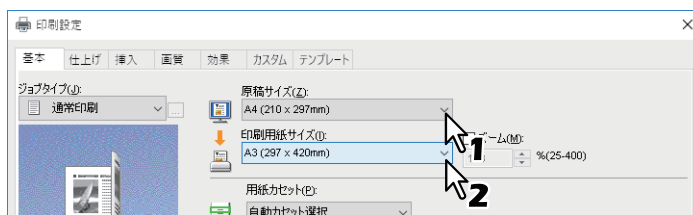
📖 P.27 「用紙サイズに合わせる」

📖 P.27 「倍率を指定する」

□ 用紙サイズに合わせる

指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小して印刷します。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [原稿サイズ] から文書のサイズを選択します。[印刷用紙サイズ] から用紙のサイズを選択します。



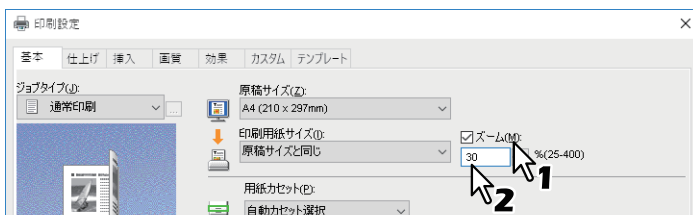
選択した原稿および用紙のサイズに応じて、ページイメージが変倍されます。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 倍率を指定する

倍率を手動で設定します。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ズーム] を選択して、倍率を入力します。



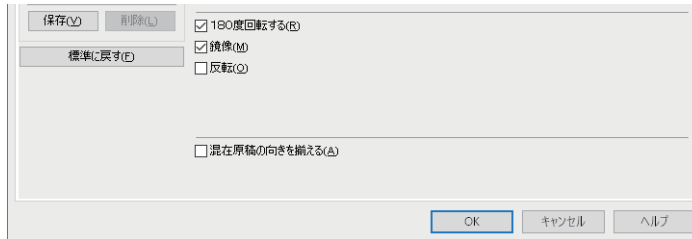
倍率は、25～400 (%) の範囲を1%単位で設定できます。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 印刷の向きを変える

排紙される用紙の向きを逆にしたり、ページ全体の左右を反転させて印刷します。

- 1 [効果] タブを選択します。
- 2 印刷の向きに関するチェックボックスを選択します。



180度回転する：ページ全体を180度回転させます。

鏡像：ページ全体を鏡に映したように左右を反転させます。

注意

この機能は、以下のプリンタドライバをお使いの場合のみ有効です。

- Universal Printer 2 (PostScript)
- Universal XPS

混在原稿の向きを揃える：原稿の用紙サイズと原稿の縦横の向きが混在する場合、印刷結果の縦横の向きを揃えることができます。

原稿が以下の組み合わせの場合に選択してください。

- A4サイズ縦向きとA3サイズ横向き
- A4サイズ横向きとA3サイズ縦向き
- LTサイズ縦向きとLDサイズ横向き
- LTサイズ横向きとLDサイズ縦向き
- B5サイズ縦向きとB4サイズ横向き
- B5サイズ横向きとB4サイズ縦向き
- 16Kサイズ縦向きと8Kサイズ横向き
- 16Kサイズ横向きと8Kサイズ縦向き

注意

この機能は、以下のプリンタドライバをお使いの場合のみ有効です。

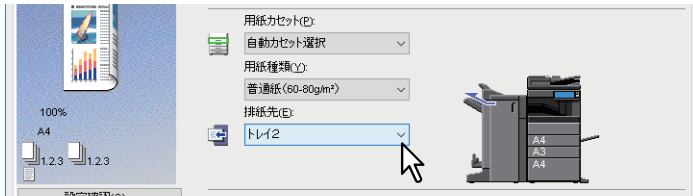
- Universal Printer 2 (PCL6)
- Universal Printer 2 (PostScript)
- Universal PS3

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 排紙先を選択する

印刷ジョブが出力される排紙先トレイを選択します。[基本] タブの本機プレビューに、設定されている排紙先が矢印で表示されます。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [排紙先] から排紙先トレイを選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

注意

- 選択できる項目は、お使いになる機種、用紙サイズおよびオプションの装着状態によって異なります。
- サドルステッチフィニッシャを使用して、中折り印刷やサドルステッチ印刷を行う場合、排紙先は [サドルトレイ] に固定されます。

レイアウトや仕上がりに関する設定

- 📖 P.30 「1部またはページごとに分けて印刷する」
- 📖 P.32 「両面印刷する」
- 📖 P.32 「本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）」
- 📖 P.35 「複数ページを1枚の用紙に印刷する」
- 📖 P.36 「ホチキス留めにする」
- 📖 P.36 「パンチ穴をあける」
- 📖 P.37 「余白を変更する」
- 📖 P.38 「1ページを複数枚の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）」

■ 1部またはページごとに分けて印刷する

複数部数のジョブを印刷するときのソート方法を選択します。1部ごと出力する [ソート]、ページごとにグループ分けして出力する [グループ]、および縦横交互に出力する [縦横交互排紙] を選択することができます。

- 📖 P.30 「1部ごと仕分けして排紙する」
- 📖 P.31 「ページごとにグループ分けして排紙する」
- 📖 P.31 「印刷ジョブを縦横交互に出力する」

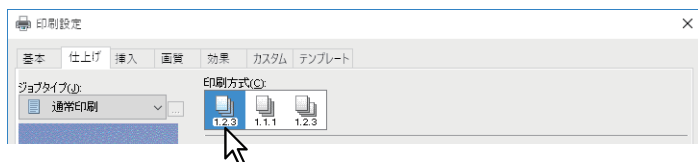
1部ごと仕分けして排紙する

ソート印刷を選択します（部ごとに仕分けして排紙します）。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [部数] に印刷部数を入力します。



- 3 [仕上げ] タブを選択します。
- 4 [印刷方式] で [ソート] アイコンを選択します。



- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 6 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
1部ごと仕分けして排紙します。

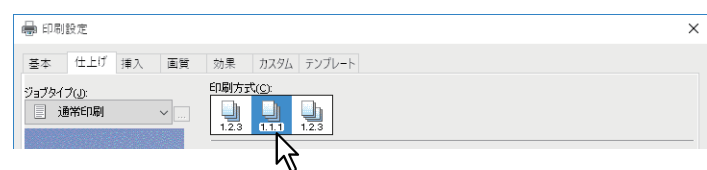
□ ページごとにグループ分けして排紙する

グループ印刷を選択します（ページごとにグループ分けして排紙します）。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [部数] に印刷部数を入力します。



- 3 [仕上げ] タブを選択します。
- 4 [印刷方式] で [グループ] アイコンを選択します。



- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 6 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
ページごとにグループ分けして出力します。

□ 印刷ジョブを縦横交互に出力する

1部ずつ縦横交互に排紙します。

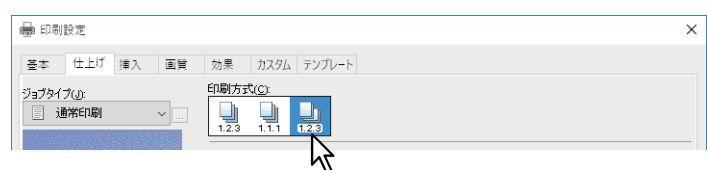
注意

- お使いの機種によっては、縦横交互出力は利用できません。
- 縦横交互出力は、Letter、A4、B5、または16K用紙を使って印刷するときに有効です。
- 使用する用紙が縦／横の両方の向き（例：A4とA4-R）でセットされている必要があります。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [部数] に印刷部数を入力します。



- 3 [仕上げ] タブを選択します。
- 4 [印刷方式] で [縦横交互] アイコンを選択します。



- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 6 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
1部ごと、縦横交互に排紙します。

■ 両面印刷する

用紙の両面に印刷します。

- 1 【仕上げ】 タブを選択します。
- 2 【両面印刷】 から印刷文書のとじ向きを選択します。



長辺：用紙の長い辺の方にとじしろを設定し、両面印刷します。

短辺：用紙の短い辺の方にとじしろを設定し、両面印刷します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。
- 4 【プリント】 (または 【印刷】、【OK】 など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

補 足

- 両面印刷では、製本印刷を設定することもできます。製本印刷については、以下を参照してください。
📖 P.32 「本や雑誌のようなページ構成で印刷する (製本)」
- 両面印刷した用紙にホチキス留めやパンチ穴を開けて出力したい場合は、各機能を別途設定します。
📖 P.36 「ホチキス留めにする」
📖 P.36 「パンチ穴をあける」

■ 本や雑誌のようなページ構成で印刷する (製本)

製本印刷を選択すると、本や雑誌と同じような印刷物を作成することができます。また、ホチキス機能を使用して印刷した文書の中央をホチキス留め (サドルステッチ処理) し、中折り機能で自動的に中折りとじを出力できます。たとえば、B4サイズで文書を製本印刷した場合、B5サイズの中折りとじを作成します。各ページが指定の用紙の半分に収まるように文書サイズを自動調節し、中折りにとじたときにページの順番が正しくなるようにページを並べ替えて印刷を行います。

文書サイズを変更せずに製本印刷を行う場合は、印刷する用紙サイズを文書サイズの2倍のサイズに設定します。たとえば、B5サイズで作成した文書をB4サイズの用紙に製本印刷すると、B4サイズの中折りとじを作成します。文書サイズと同じサイズの中折りとじを作成するには、次のようなサイズを指定します。

- A4 (文書サイズ) / A3 (用紙サイズ)
- A5 (文書サイズ) / A4 (用紙サイズ)
- B5 (文書サイズ) / B4 (用紙サイズ)
- Letter (文書サイズ) / Ledger (用紙サイズ)

注 意

利用できる用紙サイズは、お使いの機種によって異なります。

- 1 【仕上げ】 タブを選択します。
- 2 【両面印刷】 から【製本】 アイコンを選択します。



- 3 【編集】 をクリックします。

4 [仕上がりサイズ] から仕上がりサイズを選択します。



A5 on A4：各ページをA5サイズに縮小し、A4サイズの内紙に2ページずつ印刷します。

A4 on A3：各ページをA4サイズに縮小し、A3サイズの内紙に2ページずつ印刷します。

B5 on B4：各ページをB5サイズに縮小し、B4サイズの内紙に2ページずつ印刷します。

B6 on B5：各ページをB6サイズに縮小し、B5サイズの内紙に2ページずつ印刷します。

1/2 Folio on Folio：各ページをFolio用紙の半分に収まるように縮小し、Folioサイズの内紙に2ページずつ印刷します。

A6 on A5：各ページをA6サイズに縮小し、A5サイズの内紙に2ページずつ印刷します。

Letter - Half on Letter：各ページをLetter用紙の半分に収まるように縮小し、Letterサイズの内紙に2ページずつ印刷します。

LT on LD：各ページをLetterサイズに縮小し、Ledgerサイズの内紙に2ページずつ印刷します。

1/2 LG on LG：各ページをLegal用紙の半分に収まるように縮小し、Legalサイズの内紙に2ページずつ印刷します。

1/2 Statement on Statement：各ページをStatement用紙の半分に収まるように縮小し、Statementサイズの内紙に2ページずつ印刷します。

1/2 Comp on Comp：各ページをComputer用紙の半分に収まるように縮小し、Computerサイズの内紙に2ページずつ印刷します。

1/2 13LG on 13LG：各ページを13インチLegal用紙の半分に収まるように縮小し、13インチLegalサイズの内紙に2ページずつ印刷します。

1/2 8.5SQ on 8.5SQ：各ページを8.5インチSQ用紙の半分に収まるように縮小し、8.5インチSQサイズの内紙に2ページずつ印刷します。

32K on 16K：各ページを32Kサイズに縮小し、16Kサイズの内紙に2ページずつ印刷します。

16K on 8K：各ページを16Kサイズに縮小し、8Kサイズの内紙に2ページずつ印刷します。

5 [ページの順番] からページの印刷順序を選択します。

6 [余白] で余白幅を設定します。

[中心]：見開き印刷されるページの中央の余白を設定します。16.90 mm (0.67インチ) まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷画像は縮小されます。

[外側]：ページの上下左右の余白を設定します。29.60 mm (1.17インチ) まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷画像は縮小されます。

[単位]：余白の単位を選択します。

補足

[中心の余白を無くす] を選択すると、[中心] の設定値が無効となり、中央の余白を0 mm (0インチ) に設定できます。

7 用紙の中央部分で中折りして出力する場合は、[中折り] を選択します。

注意

[中折り] は、サドルステッチフィニッシャを装着した場合にのみ有効です。

8 用紙の中央部分を2か所ホチキス留めして出力する場合は、[サドルステッチを使用する] を選択します。

注意

[サドルステッチを使用する] は、サドルステッチフィニッシャ装着時のみ有効です。

9 [OK] をクリックします。

10 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

11 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

注意

サドルステッチフィニッシャが装着されており、[中折り] を有効にした場合、印刷ジョブは中折りされて出力されます。サドルステッチフィニッシャが装着されていない場合には、手動で出力紙の中央に折り目を入れてください。

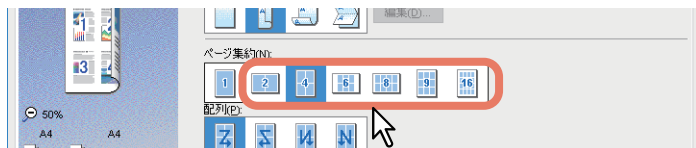
■ 複数ページを1枚の用紙に印刷する

ページ集約印刷は、複数ページを1枚の用紙にレイアウトして印刷する機能です。ページの多い文書の体裁を確認したい場合などに便利です。たとえば、ページが長いWebページや、プレゼンテーション用ドキュメントなどにページ集約印刷を使用すると、効率的に文書の全体を確認することができます。また、用紙の使用量を削減することもできます。

補足

ページ集約印刷時にオーバーレイを選択すると、印刷される用紙ごとにオーバーレイファイルが印刷されます。用紙上にレイアウトされるページごとにオーバーレイファイルを印刷したい場合は、[効果] タブの [オーバーレイファイル] 設定で、[ページ毎に印刷] をオンにします。

- 1 [仕上げ] タブを選択します。
- 2 [ページ集約] からレイアウト方法を選択します。



- 2 in 1 : 2ページを1枚の用紙に印刷します。
- 4 in 1 : 4ページを1枚の用紙に印刷します。
- 6 in 1 : 6ページを1枚の用紙に印刷します。
- 8 in 1 : 8ページを1枚の用紙に印刷します。
- 9 in 1 : 9ページを1枚の用紙に印刷します。
- 16 in 1 : 16ページを1枚の用紙に印刷します。

- 3 [配列] で、用紙にページをどのように並べるかを選択します。



- 左から右：ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- 右から左：ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- 縦列で左から右：ページを左上から右下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- 縦列で右から左：ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。

補足

[配列] で選択できる項目の種類は、[ページ集約] で選択したページのレイアウト方法により異なります。

- 4 ページごとに境界線を印刷するときは、[周囲に境界線を印刷] を選択します。
- 5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 6 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ ホチキス留めにする

部ごとに用紙をホチキス留めにして出力することができます。

注意

ホチキス印刷は、フィニッシャ装着時のみ有効です。

- 1 【仕上げ】 タブを選択します。
- 2 【ホチキス】 から留める位置を選択します。



- 上段左：用紙の左上をホチキス留めして排紙します。
- 上段右：用紙の右上をホチキス留めして排紙します。
- 上段（2か所）：用紙の上部2か所をホチキス留めして排紙します。
- 左（2か所）：用紙の左側2か所をホチキス留めして排紙します。
- サドルステッチ：用紙の中央2か所をホチキス留めし中折りして排紙します。

注意

- 選択できる項目は、お使いの機種、用紙サイズおよび用紙の向きによって異なります。
- 【サドルステッチ】は、サドルステッチフィニッシャ装着時に有効です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。
- 4 【プリント】（または【印刷】、【OK】 など） をクリックし、印刷ジョブを送信します。
用紙をホチキス留めして出力します。

■ パンチ穴をあける

印刷用紙にとじるための穴を開けて排紙することができます。

注意

パンチ印刷は、ホールパンチユニット装着時のみ有効です。

- 1 【仕上げ】 タブを選択します。
- 2 【パンチ】 から穴の位置を選択します。



- 左：左側2か所に綴じ穴を開けて出力します。
- 上段：上部2か所に綴じ穴を開けて出力します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。
- 4 【プリント】（または【印刷】、【OK】 など） をクリックし、印刷ジョブを送信します。
用紙に綴じ穴を開けて出力します。

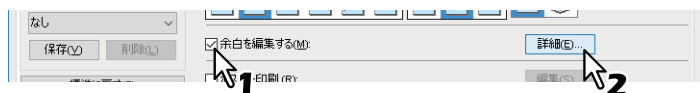
■ 余白を変更する

ページの余白を設定します。通常、お使いのアプリケーションで余白を設定できます。アプリケーションで設定できない場合にご使用ください。

注意

- [両面印刷] で [製本] が設定されている場合は、この機能は無効です。
- この機能では、製本印刷のとじしろは設定できません。

- 1 [仕上げ] タブを選択します。
- 2 [余白を編集する] を選択し、[詳細] をクリックします。



- 3 余白を設定し、[OK] をクリックします。



印刷領域を拡張する：印刷領域を拡張する場合に選択します。

注意

本機は縁なし印刷には対応していません。余白を0 mmに設定した場合でも、本機の制限により端まで印刷できない部分があります。

余白：4.2～100 mmの範囲で値を入力します。

単位：[mm] または [インチ] から、値の単位を選択します。

標準に戻す：[余白の編集] の設定を初期設定に戻します。

- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

補足

余白を0 mmに設定した場合の印刷領域は以下のようになります。*

- e-STUDIO5005AC Series/e-STUDIO7506AC Series/e-STUDIO8508A Series: 上 (用紙先端) 4.2 mm、下 (用紙後端) 3.5 mm、左右 (両端) 2.0 mm
- e-STUDIO5008A Series: 上 (用紙先端) 4.0 mm、下 (用紙後端) 2.5 mm、左右 (両端) 2.0 mm

* [305 x 457 mm]、[320 x 450 mm]、[320 x 460 mm]、[13 x 19"] の用紙は除く。

■ 1ページを複数枚の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）

1つの印刷ジョブを複数の用紙に分割して印刷します。分割して印刷された用紙をつなぎあわせれば、ポスターのように大きな用紙の印刷物を作成することができます。

注意

- ポスター印刷は、ユーザ設定サイズ、ページ集約印刷、両面印刷、スタンプ、オーバーレイ、シート挿入を設定している場合、実行できません。
- ポスター印刷は、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] で以下のサイズを選択した場合にのみ設定できます。お使いになる機種により選択できる用紙サイズは異なります。
A4、A3、B4、B5、LT、LD

1 [仕上げ] タブを選択します。

2 [ポスター印刷] を選択し、[編集] をクリックします。



3 [分割枚数] で、何枚の用紙に分割するかを選択し、[OK] をクリックします。



- 1x2：印刷ジョブを2枚の用紙に分割して印刷します。
- 2x2：印刷ジョブを4枚の用紙に分割して印刷します。
- 3x3：印刷ジョブを9枚の用紙に分割して印刷します。
- 4x4：印刷ジョブを16枚の用紙に分割して印刷します。

注意

- [1x2] は、印刷用紙サイズをA4、A3、B4またはB5にした場合のみ選択できます。
- ポスター印刷を行う場合は、[カスタム] タブの [白紙は印字しない] をオフにしてください。オンのままでポスター印刷を行うと、分割した結果、白紙となったページは印刷されません。

4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

5 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

節約に関する機能

用紙やトナーを節約する機能について説明します。

- 📖 P.39 「両面印刷する」
- 📖 P.39 「複数ページを1枚の用紙に印刷する」
- 📖 P.39 「白紙は印刷しないようにする」
- 📖 P.39 「トナーを節約する」

■ 両面印刷する

用紙の両面に印刷し、用紙を節約します。

- 📖 P.32 「両面印刷する」

■ 複数ページを1枚の用紙に印刷する

複数ページを1枚の用紙にレイアウトして印刷します。用紙の使用量を削減することができます。

- 📖 P.35 「複数ページを1枚の用紙に印刷する」

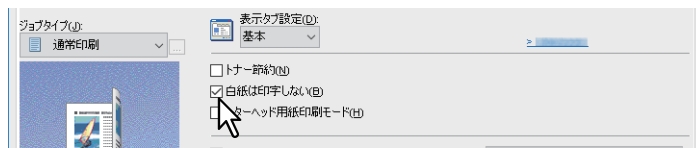
■ 白紙は印刷しないようにする

印刷原稿の白紙ページを印刷しません。

注意

- ・ スタンプが設定されている場合は、白紙もすべて印字されます。
- ・ ヘッダやフッタを含む文書を印刷する場合、内容がないページも印刷されます。

- 1 [カスタム] タブを選択します。
- 2 [白紙は印字しない] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

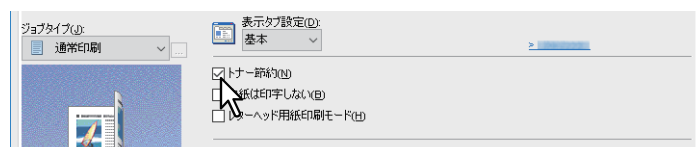
■ トナーを節約する

トナー節約モードで印刷します。

注意

トナー節約モードで印刷すると、印字が薄くなることがあります。

- 1 [カスタム] タブを選択します。
- 2 [トナー節約] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

表紙やページ間に別の用紙を挿入する

原稿の指定したページに表紙や裏表紙、用紙シートを挿入する機能です。種類の違う文書内容を区切るときなどに、色紙や索引用紙などを指定して挿入できます。また、空白シートや印刷したシートを挿入することもできます。

☞ P.40 「表紙および裏表紙を挿入する」

☞ P.41 「指定したページに用紙を挿入する」

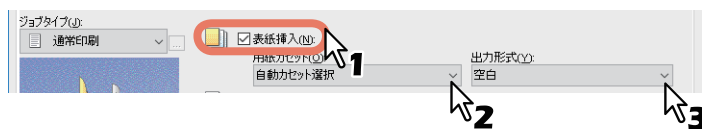
☞ P.42 「1ページごとに用紙を挿入する」

■ 表紙および裏表紙を挿入する

表紙（裏表紙）に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入できます。また、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書の最初（最後）のページを印刷することができます。

1 【挿入】 タブを表示します。

2 表紙を挿入するときは、【表紙挿入】 を選択し、【用紙カセット】 ボックスから表紙に使用する用紙の給紙元を選択します。【出力形式】 ボックスから表紙の印刷方法を選択します。



出力形式

空白：何も印刷せずに用紙を挿入します。

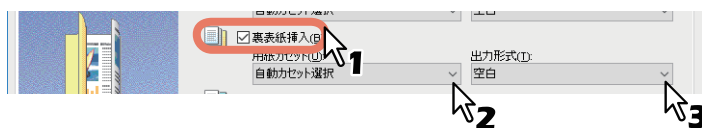
片面印刷：文書の最初のページを用紙の表面に印刷します。

両面印刷：文書の最初の2ページを用紙の両面に印刷します。

注意

- 【用紙カセット】 で【自動カセット選択】 を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。
- 厚紙を挿入する場合は、【手差しトレイ】 を選択し、プリンタドライバの【デバイス設定】 タブのカセット設定で、手差しトレイの用紙種別に【厚紙】 を設定します。
- 【仕上げ】 タブで両面印刷が有効に設定されているときに、【両面印刷】 を選択することができます。

3 裏表紙を挿入するときは、【裏表紙挿入】 を選択し、表紙挿入と同様に【用紙カセット】 および【出力形式】 を設定します。



4 ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。

5 【プリント】（または【印刷】、【OK】 など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

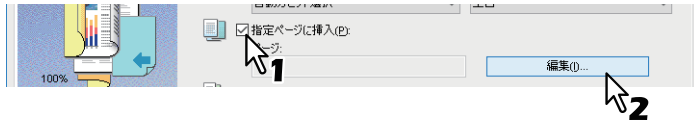
■ 指定したページに用紙を挿入する

ページ間へのシート挿入印刷を設定します。指定したページの間違うトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うトレイから給紙した用紙に指定したページを印刷することができます。この機能は、印刷文書の各章の間に空白シートを挿入するときや、章の扉ページを本文とは違う用紙に印刷するときなどに便利です。

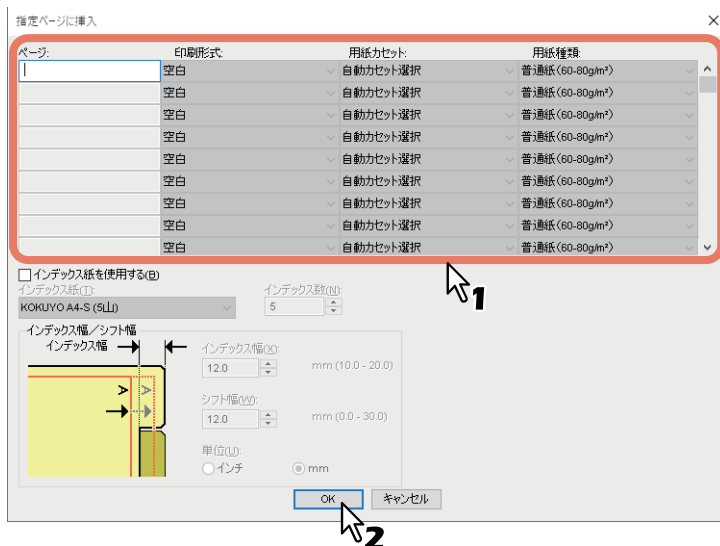
注意

挿入できるページ数は、最大50ページまでです。

- 1 【挿入】 タブを表示します。
- 2 【指定ページに挿入】 を選択し、【編集】 をクリックします。



- 3 【ページ】 ボックスにページを挿入するページ番号を入力し、挿入ページに適用する【印刷形式】【用紙カセット】【用紙種類】をそれぞれ選択して、【OK】 をクリックします。

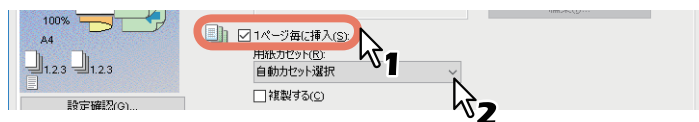


- 4 ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。
- 5 【プリント】（または【印刷】、【OK】 など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 1ページごとに用紙を挿入する

印刷ジョブの各ページの間それぞれ用紙を挿入する機能です。たとえば、OHP用紙の間に空白シートや色紙などを挿入するときなどに便利です。

- 1 [挿入] タブを表示します。
- 2 [1ページ毎に挿入] を選択し、[用紙カセット] から、挿入シートに使用する用紙の給紙元を選択します。



注意

- [用紙カセット] で [自動カセット選択] を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。
 - 厚紙を挿入する場合は、[手差しトレイ] を選択し、プリンタドライバの [デバイス設定] タブのカセット設定で、手差しトレイの用紙種別に [厚紙] を設定します。
- 3 各挿入シートに印刷文書の前ページを印刷する場合は、[複製する] を選択します。
挿入シートすべてにそれぞれの前ページと同じページイメージが印刷されます。
 - 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
 - 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

色や画質に関する設定

- 📖 P.43 「印刷色を指定する」
- 📖 P.46 「原稿に合わせて画質を選択する」
- 📖 P.48 「画質を調整したいときは」

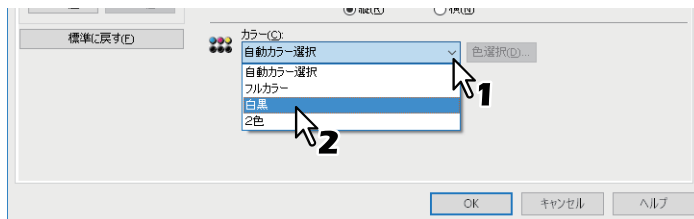
■ 印刷色を指定する

- 📖 P.43 「カラー文書を白黒で印刷する」
- 📖 P.43 「カラー文書を2色で印刷する」
- 📖 P.44 「文字を黒で印刷する」
- 📖 P.45 「白黒反転させて印刷する」

□ カラー文書を白黒で印刷する

本機は、カラー印刷同様、白黒印刷を行うこともできます。プリンタドライバは、印刷文書のカラーモードを自動認識し、カラー文書はカラーで、白黒文書は白黒で印刷します。印刷費やカラートナーの消費を抑えるために、手動で白黒モードを選択し、カラー文書を白黒で印刷することもできます。

- 1 【基本】 タブを選択します。
- 2 【カラー】 で【白黒】 を選択します。

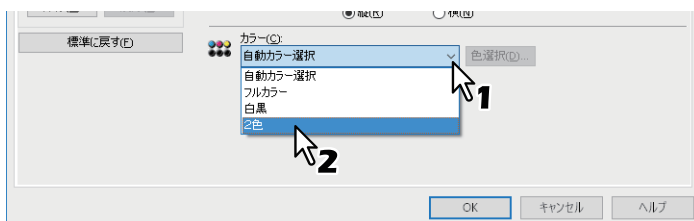


- 3 ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。
- 4 【プリント】（または【印刷】、【OK】 など） をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ カラー文書を2色で印刷する

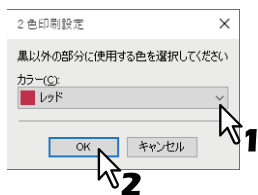
本機は、カラー文書を2色印刷することもできます。2色印刷を行うと、文書の黒い部分は黒色で印刷し、そのほかのカラー部分を指定した色で印刷することができます。

- 1 【基本】 タブを選択します。
- 2 【カラー】 で【2色】 を選択します。



- 3 【色選択】 をクリックします。

4 黒以外の部分に使用する色を選択し、[OK] をクリックします。



5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

6 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

文字を黒で印刷する

白文字を除き、テキストをすべて黒で印刷します。

注意

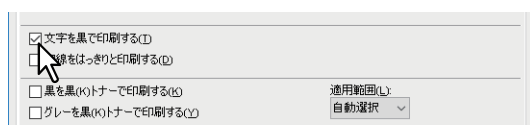
この機能は、以下のプリンタドライバをお使いの場合のみ有効です。

- Universal Printer 2
- Universal XPS

1 [画質] タブを選択します。

2 カラー MFPの場合は、[詳細設定] をクリックし、[基本] タブを選択します。

3 [文字を黒で印刷する] を選択します。



4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

白黒反転させて印刷する

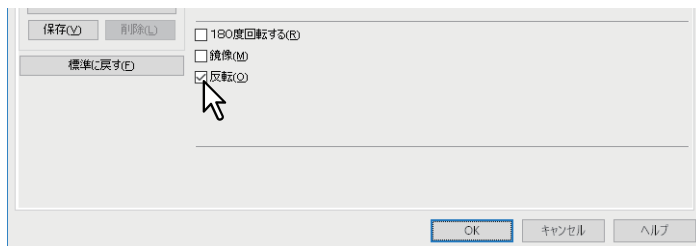
印刷イメージを白黒反転させて印刷します。

注意

- この機能は、以下のプリンタドライバをお使いの場合のみ有効です。
 - Universal Printer 2 (PostScript)
 - Universal XPS
 - Universal PS3
- [基本] タブの [カラー] で [白黒] を選択した場合のみ有効です。

1 [効果] タブを選択します。

2 [反転] を選択します。



3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 原稿に合わせて画質を選択する

- 📖 P.46 「原稿種類を選択する」
- 📖 P.47 「原稿種類を作成する」

□ 原稿種類を選択する

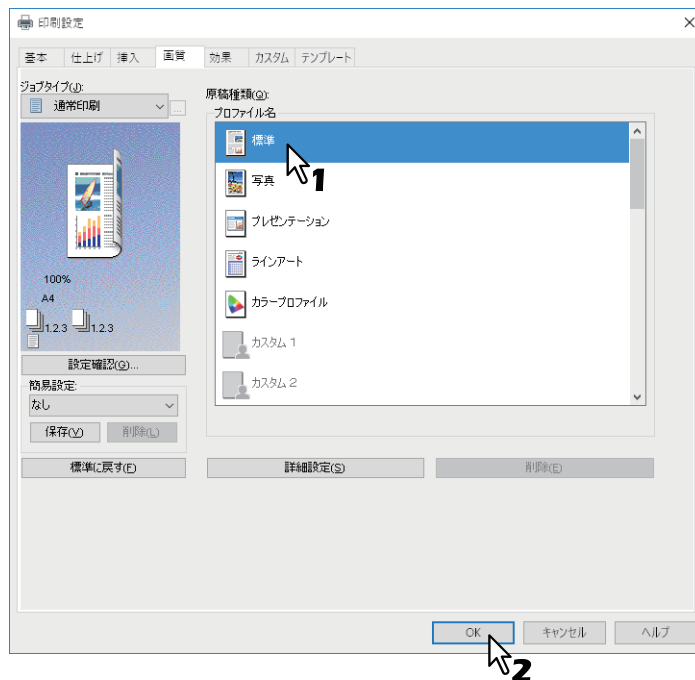
原稿種類に応じて適切なイメージ品質を適用します。あらかじめ登録されている原稿種類を選択するか、または作成したカスタム原稿種類を選択することができます。カスタム原稿種類の作成は、[詳細設定] をクリックして行います。

- 📖 P.47 「原稿種類を作成する」

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 [原稿種類] で、あらかじめ登録されている原稿種類または作成したカスタム原稿種類を選択し、[OK] をクリックします。



標準：通常のカラー文書用の設定です。

写真：写真用の設定です。

プレゼンテーション：プレゼンテーション用の設定です。

ラインアート：多くの文字やラインアートで構成される文書用の設定です。

カラープロファイル：カラースペースを調整するプロファイルを適用します。

注意

[基本] タブの [カラー] で [白黒] または [2色] を選択した場合は、[標準] の設定となります。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

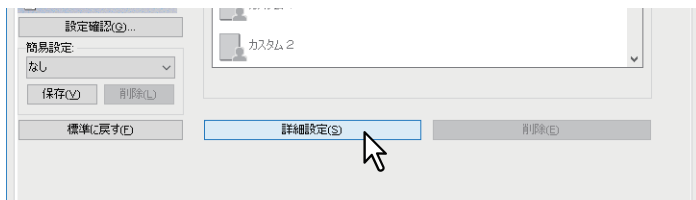
□ 原稿種類を作成する

カスタム原稿種類を作成します。

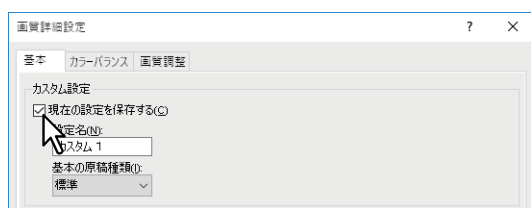
注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 [詳細設定] をクリックします。



- 3 [基本] タブで、[現在の設定を保存する] を選択します。



注意

この機能は、[デバイスとプリンター] フォルダ (Windows Vista/Windows Server 2008では [プリンタ] フォルダ) からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ有効です。

- 4 [設定名] に、保存するカスタム原稿種類の名前を入力します。

補足

あらかじめ登録されている原稿種類の設定名 ([標準] [写真] [プレゼンテーション] [ラインアート] [カラープロファイル]) を入力しても、あらかじめ登録されている原稿種類の設定は上書きされません。指定した名前で、新規のカスタム原稿種類として保存されます。

- 5 画質に関する機能を設定します。
設定項目の詳細は、プリンタドライバヘルプを参照してください。
P.97 「プリンタドライバヘルプについて」
- 6 [OK] をクリックし、カスタム原稿種類を保存します。

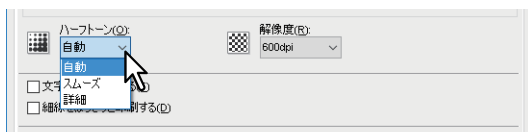
■ 画質を調整したいときは

- 📖 P.48 「薄い部分の模様が気になる（ハーフトーン）」
- 📖 P.48 「テキストやグラフィックスをなめらかにする（スムージング）」
- 📖 P.49 「細い線をはっきりと印刷する」
- 📖 P.49 「濃度やカラーバランスを調整する」
- 📖 P.50 「画質が粗い（解像度）」

□ 薄い部分の模様が気になる（ハーフトーン）

ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 カラー MFP の場合は、[詳細設定] をクリックし、[基本] タブを選択します。
- 3 [ハーフトーン] でハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。



- 自動：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
- 詳細：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- スムーズ：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

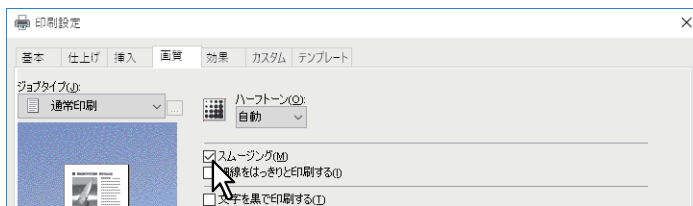
□ テキストやグラフィックスをなめらかにする（スムージング）

テキストやグラフィックスをなめらかに印刷します。

注意

この機能は、お使いの機種がモノクロMFPの場合にのみ設定できます。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 [スムージング] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

細い線をはっきりと印刷する

細線をはっきりと印刷します。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 カラー MFPの場合は、[詳細設定] をクリックし、[基本] タブを選択します。
- 3 [細線をはっきりと印刷する] を選択します。



- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

濃度やカラーバランスを調整する

注意

この機能は、お使いになる機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 [詳細設定] をクリックします。
- 3 [カラーバランス] タブ、[画質調整] タブで画質の詳細を設定します。



設定方法は、プリンタドライバヘルプを参照してください。
 P.97 「プリンタドライバヘルプについて」

- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 画質が粗い（解像度）

印刷の解像度を設定します。

- 1 [画質] タブを選択します。
- 2 カラー MFPの場合は、[詳細設定] をクリックし、[基本] タブを選択します。
- 3 [解像度] で数値を指定します。



- 600 dpi : 600 x 600 dpiの解像度で印刷します。
- 1200 dpi : 1200 x 1200 dpiの解像度で印刷します。
- 600 x 1200 dpi : 600 x 1200 dpiの解像度で印刷します。

注意

- [1200 dpi] は、Universal Printer 2 (PostScript) / Universal PS3プリンタドライバを使用し、以下の機種で印刷をする場合のみ有効となります。[1200 dpi] を選択すると、カラー、白黒とも、3600 dpi 相当 x 1200dpiの解像度で印刷します。
 - e-STUDIO5005AC Series
 - e-STUDIO5008A Series
 - e-STUDIO7506AC Series
 - e-STUDIO8508A Series
- [600 x 1200 dpi] は、Universal Printer 2 (PostScript) / Universal PS3プリンタドライバを使用し、以下の機種で印刷をする場合のみ有効となります。
 - e-STUDIO2000AC
- [画質] タブの [原稿種類] で [写真] または [プレゼンテーション] を選択した場合、[1200 dpi]、[600 x 1200 dpi] は表示されません。
- [1200 dpi] で印刷する場合、以下の機能は使用できません。
 - オートトラッピング
- [600 x 1200 dpi] で印刷する場合、以下の機能は使用できません。
 - 縦横交互排紙
 - オートトラッピング
- [1200 dpi] または [600 x 1200 dpi] を選択した場合、印刷速度が遅くなる場合があります。
- [600 x 1200 dpi] で印刷する場合、オートカセットチェンジの異方向用紙の許可は使用できません。
- 封筒または非定形サイズの内紙を使用する場合、カセットに用紙をセットする際に用紙の長い辺を手前側に向けてセットしたときのみ、オートカセットチェンジが利用できます。ただし、[600 dpi] を選択して印刷する場合は除きます。
- 封筒または非定形サイズの内紙を使用する場合、オートカセットチェンジの異方向用紙の許可は使用できません。

- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷内容を付加する機能

印刷目的に合わせてさまざまな仕上げ機能を設定できます。ここでは、[効果] タブで設定できる下記機能について説明します。

- 📖 P.51 「文書上に薄い文字を重ねて印刷する（スタンプ）」
- 📖 P.54 「別のページイメージを重ねて印刷する（オーバーレイファイル）」

■ 文書上に薄い文字を重ねて印刷する（スタンプ）

スタンプは、「極秘」、「社外秘」、「ドラフト」、「オリジナル」、「コピー」などの文字列を印刷する文書に重ねた状態で用紙に印刷する機能です。スタンプによって印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類することができます。上記5つのスタンプは標準で登録されていますが、スタンプに使用する文字は自分で作成することもできます。

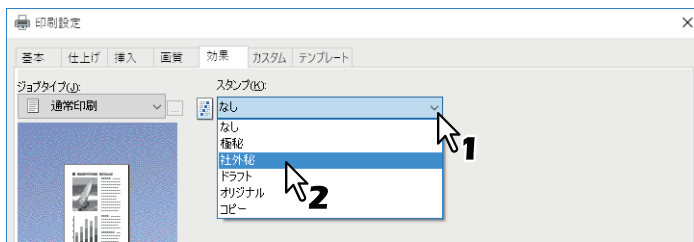
補足

スタンプはテキストだけです。グラフィックスなどを使う場合は、オーバーレイファイルを使用してください。

- 📖 P.51 「スタンプを印刷する」
- 📖 P.52 「スタンプを作成する／編集する」
- 📖 P.53 「スタンプを削除する」

□ スタンプを印刷する

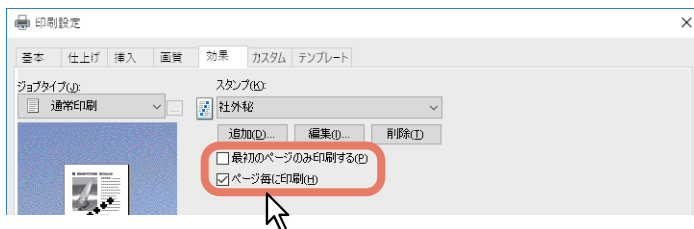
- 1 [効果] タブを表示します。
- 2 [スタンプ] で印刷するスタンプを選択します。



注意

スタンプは新たに作成することができます。
📖 P.52 「スタンプを作成する／編集する」

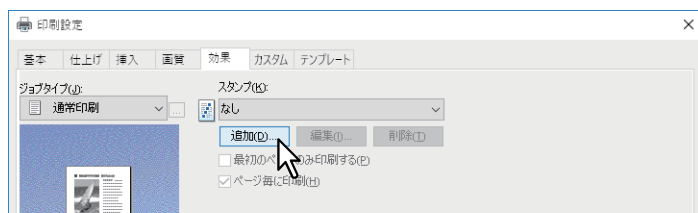
- 3 選択したスタンプを最初のページにのみ印刷する場合は、[最初のページのみ印刷する] を選択します。選択したスタンプを各ページ毎に印刷する場合は、[ページ毎に印刷] を選択します。



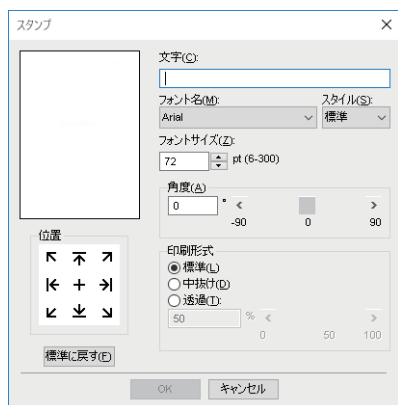
- 4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 5 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ スタンプを作成する／編集する

- 1 [効果] タブで [追加] をクリックします。既存のスタンプを編集する場合は、目的のスタンプを選択し、[編集] をクリックします。



- 2 「スタンプ」ダイアログボックスで詳細を設定します。



文字：使用するテキストを入力します。半角・全角63文字まで入力することができます。

注意

文字数が多いとスタンプが正しく印刷できない場合があります。

位置：アイコンを選択して位置を指定します。

フォント名：フォントを選択します。

スタイル：スタイルを選択します。

フォントサイズ：フォントサイズを入力します。6 ptから300 ptの範囲を1 pt単位で設定できます。

色：色を選択します。希望する色がない場合は、[その他] をクリックして新たな色を追加します。

注意

・ この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

・ [基本] タブの [カラー] で [白黒] を選択している場合は、[色] は無効です。

角度：回転角度を入力します。-90～90（度）の範囲を1度単位で設定できます。スクロールバーを使って角度を設定することもできます。

印刷形式：スタンプテキストの印刷方法を選択します。

・ 標準：指定した色で塗りつぶして印刷します。

・ 中抜け：中抜きのフォントスタイルで印刷します。

・ 透過：文書のテキストやオブジェクトの背面に透過して見えるように印刷します。透過率は、0～100（%）の範囲を1%単位で設定できます。スクロールバーを使って設定することもできます。

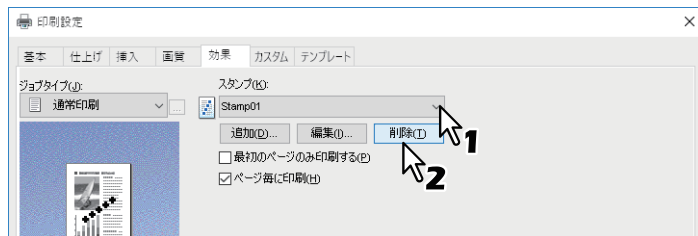
- 3 [OK] をクリックし、設定を保存します。

□ スタンプを削除する

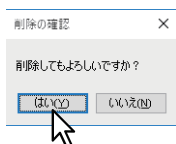
注意

標準で登録されているスタンプも削除することができます。ただし、削除した場合、[標準に戻す] をクリックしても元に戻すことはできません。

1 [スタンプ] で、削除するスタンプを選択し、[削除] をクリックします。



2 [はい] をクリックします。



スタンプが削除されます。

■ 別のページイメージを重ねて印刷する（オーバーレイファイル）

オーバーレイファイルは、印刷する文書にグラフィックスを重ねた状態で用紙に印刷する機能です。

📖 P.54 「オーバーレイファイルを保存する」

📖 P.55 「オーバーレイファイルを使用する」

📖 P.57 「オーバーレイファイルを削除する」

□ オーバーレイファイルを保存する

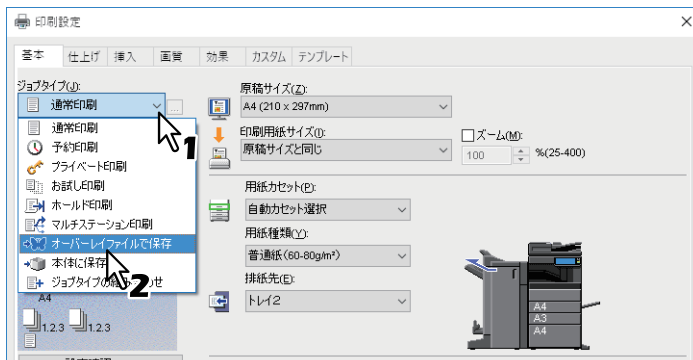
文書をオーバーレイファイルとして最大20個まで保存できます。作成したオーバーレイファイルは、ほかの印刷文書の背面または前面に印刷することができます。

注意

- 複数ページの文書をオーバーレイファイルとして保存した場合は、最初のページのみオーバーレイファイルとして保存されます。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ、用紙の向き、カラーモード、解像度で作成または印刷する必要があります。

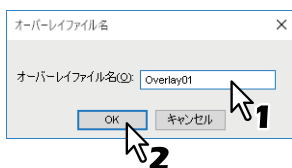
1 [基本] タブを選択します。

2 [ジョブタイプ] で [オーバーレイファイルで保存] を選択します。



3 [ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックします。

4 オーバーレイファイルの名前を入力し、[OK] をクリックします。



半角・全角63文字まで入力できます。

5 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

6 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
文書がオーバーレイファイルとして保存されます。

□ オーバーレイファイルを使用する

テキスト、グラフィックス、チャート、表などによって構成された単ページ文書（または画像）を指定し、印刷文書の背面に印刷する機能です。スタンプ印刷より時間がかかる場合がありますが、グラフィックスを使用して詳細な表現ができます。印刷ジョブにオーバーレイファイルを使用するには、最初にオーバーレイファイルを作成する必要があります。

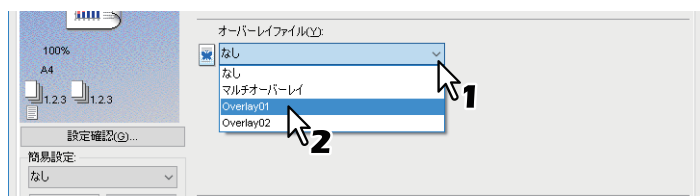
📖 P.54 「オーバーレイファイルを保存する」

注意

- ページ集約印刷時にオーバーレイを選択すると、印刷される用紙ごとにオーバーレイファイルが印刷されます。用紙上にレイアウトされるページごとにオーバーレイファイルを印刷したい場合は、[効果] タブの [オーバーレイファイル] 設定で、[ページ毎に印刷] をオンにします。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ、用紙の向き、カラーモード、解像度で作成または印刷する必要があります。

1 [効果] タブを表示します。

2 [オーバーレイファイル] から使用するオーバーレイファイル名を選択します。

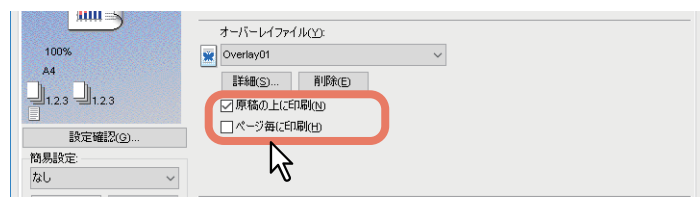


注意

奇数ページと偶数ページに異なるオーバーレイファイルを使用したり、指定したページ範囲にのみオーバーレイファイルを使用したい場合は、[マルチオーバーレイ] を選択して設定します。

📖 P.56 「マルチオーバーレイ」

3 選択したオーバーレイファイルを印刷文書に重ねて印刷する場合は、[原稿の上に印刷] を選択します。選択したオーバーレイファイルをページごとに印刷する場合は、[ページ毎に印刷] を選択します。

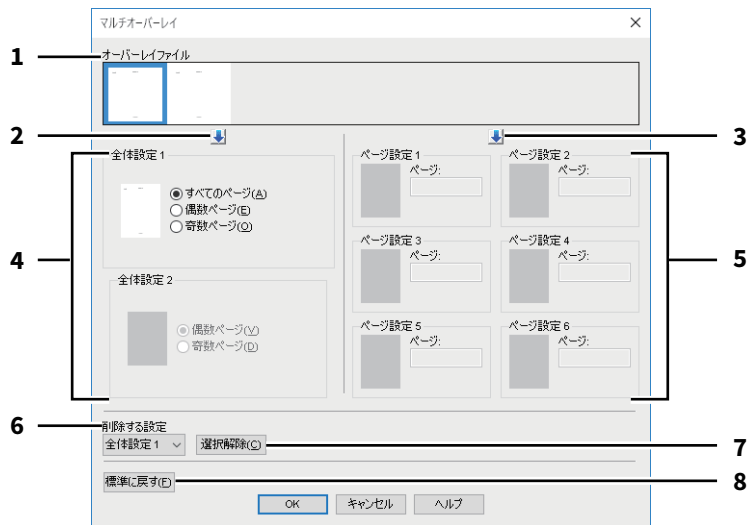


4 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

5 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

マルチオーバーレイ

[オーバーレイファイル] で [マルチオーバーレイ] を選択するか、任意のオーバーレイを選択しているときに [詳細] をクリックすると、「マルチオーバーレイ」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、どのオーバーレイファイルをどのページに使用するかを設定します。



1. オーバーレイファイル

登録したオーバーレイファイルがサムネイル表示されます。使用するオーバーレイファイルを選択します。

補足

オーバーレイファイルのサムネイル表示を、使用したいオーバーレイのグループ（全体設定 1/2、ページ設定 1~6）にドラッグアンドドロップして設定することもできます。ドロップしたグループにオーバーレイファイルがすでに設定されていた場合は、上書きされます。

2. [↓]（全体設定）

[オーバーレイファイル] で選択したオーバーレイファイルを、[全体設定] 欄に設定します。クリックするごとに、[全体設定 1] → [全体設定 2] の順に設定します。

3. [↓]（ページ設定）

[オーバーレイファイル] で選択したオーバーレイファイルを、[ページ設定] 欄に設定します。クリックするごとに、[ページ設定 1] → [ページ設定 2] → … → [ページ設定 6] の順に設定します。

4. 全体設定 1/2

選択したオーバーレイファイルの使用ページを、全ページ、または偶数・奇数ページごとに設定します。

- すべてのページ：オーバーレイファイルを、全ページに使用します。
- 偶数ページ：オーバーレイファイルを、偶数ページに使用します。
- 奇数ページ：オーバーレイファイルを、奇数ページに使用します。

注意

- 複数の全体設定を使用し、指定ページが重複した場合、[すべてのページ] の設定よりも、[偶数ページ] / [奇数ページ] の設定が優先されます。
- [全体設定] と [ページ設定] で設定内容が重複した場合、[ページ設定] の設定が優先されます。

5. ページ設定 1/2/3/4/5/6

オーバーレイファイルの使用ページを、ページ番号で設定します。複数のページを指定する場合は「1,3,5」のように「,」で区切ります。ページ範囲で指定する場合は「6-10」のように最初と最後のページを「-」でつなぎます。

- ページ：オーバーレイファイルを、指定したページに使用します。

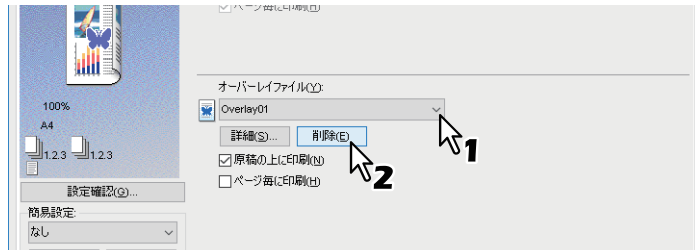
注意

複数のページ設定を使用し、指定ページが重複した場合、後から設定した内容が優先されます。

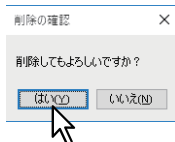
6. **削除する設定**
削除したいオーバーレイファイルの設定を選択します。
7. **【選択解除】**
【削除する設定】で選択したオーバーレイファイルの設定を削除します。
8. **【標準に戻す】**
「マルチオーバーレイ」ダイアログボックスの設定を初期設定に戻します。

□ オーバーレイファイルを削除する

- 1 **【オーバーレイファイル】**で、削除するオーバーレイファイルを選択し、**【削除】**をクリックします。



- 2 **【はい】**をクリックします。



オーバーレイファイルが削除されます。

本体にジョブを保存してから出力する

印刷ジョブを処理する方法には、通常印刷のほかに、[予約印刷]、[プライベート印刷]、[お試し印刷]、[ホールド印刷]、[マルチステーション印刷]、[本体に保存]、[ジョブタイプの組み合わせ] があります。

☞ P.58 「指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）」

☞ P.59 「機密文書を印刷する（プライベート印刷）」

☞ P.60 「1部を確認してから残りを印刷する（お試し印刷）」

☞ P.61 「保留状態で印刷ジョブを送る（ホールド印刷）」

☞ P.62 「別の複合機から印刷する（マルチステーション印刷）」

☞ P.63 「本体のボックスに保存する（本体に保存）」

☞ P.66 「条件を組み合わせで印刷する」

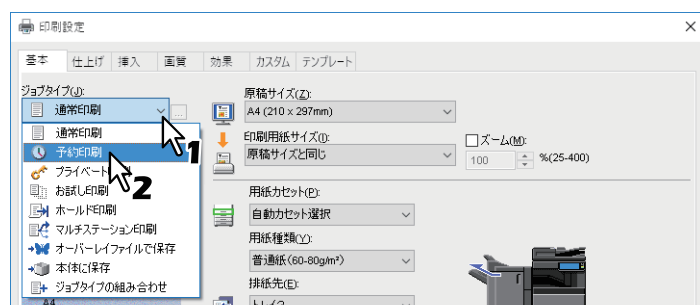
■ 指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）

ジョブを印刷する日付と時間を指定することができます。混雑時を避けて後で印刷を行う場合に便利です。

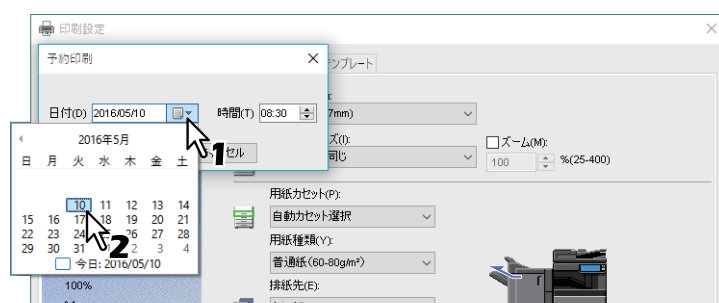
注意

予約印刷を行う前に、本機とお使いのコンピュータの日時を合わせておいてください。

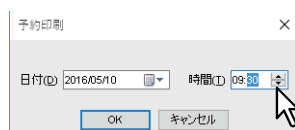
- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [予約印刷] を選択します。



- 3 [ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックします。
- 4 [日付] をクリックし、カレンダー画面を表示させます。カレンダーから印刷を行う日付を指定します。



- 5 [時間] を選択し、[▲] または [▼] をクリックし、印刷を行う時間を指定します。



時を変更するには、時の値を選択し、[▲]、[▼] をクリックします。分を変更するには、分の値を選択し、[▲]、[▼] をクリックします。

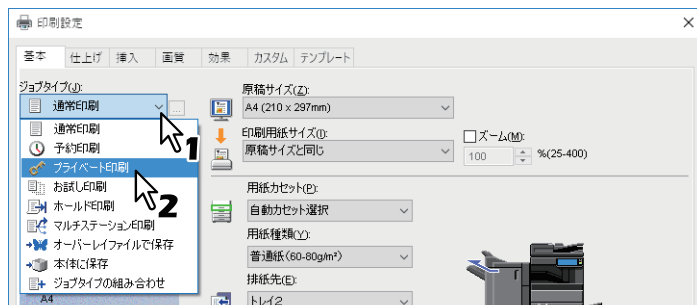
- 6 [OK] をクリックします。
- 7 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

- 8 **【プリント】（または【印刷】、【OK】など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**
印刷ジョブがジョブキューに保存され、指定した日時に印刷が実行されます。

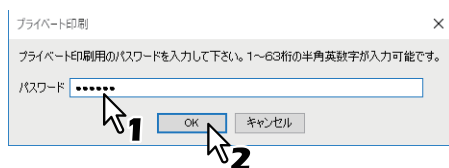
■ 機密文書を印刷する（プライベート印刷）

印刷ジョブにパスワードを設定し、タッチパネルから印刷を実行するまで印刷ジョブを保留します。ほかの人に見られたくない機密文書などを印刷するときに使用します。

- 1 **【基本】 タブを選択します。**
- 2 **【ジョブタイプ】 で【プライベート印刷】 を選択します。**



- 3 **【ジョブタイプ】 の右側の [...] をクリックします。**
- 4 **パスワードを入力し、【OK】 をクリックします。**



プライベート印刷ジョブとして本機に保存されます。

注意

- 1～63文字のパスワードを入力します。パスワードには、半角の英数字および記号（0x21～0x7EまでのASCIIコードの文字）を使用できます。
- ここで設定したパスワードを本機のタッチパネルから入力すると、ジョブの印刷が実行されます。パスワードを忘れてしまうと、ジョブを印刷することができなくなるのでご注意ください。

- 5 **ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。**
- 6 **【プリント】（または【印刷】、【OK】など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**
印刷ジョブがタッチパネルのプライベートジョブ一覧に保存されます。
- 7 **タッチパネルのホーム画面で【プリント】 を押します。**
- 8 **タッチパネルでジョブタイプから【プライベート印刷】 を選択します。**

補足

プライベート印刷ジョブ一覧画面が表示されていない場合は、ジョブタイプで【プライベート印刷】を選択します。

- 9 **目的のユーザ名を選択し、【OK】 を押します。**

補足

【カスタム】 タブの【表示ユーザ名】に任意のユーザ名を入力して印刷ジョブを送信した場合は、そのユーザ名がプライベート印刷ジョブ一覧に表示されます。入力せずに送信した場合には、初期値のログインユーザ名が表示されます。

10 プライベート印刷のパスワードを入力し、[OK] を押します。

- [表示ユーザ名] に初期値のログインユーザ名を使用した場合：
同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。
- [表示ユーザ名] に任意のユーザ名を入力した場合：
同じユーザ名かつ同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。

11 プライベート印刷ジョブ一覧画面より印刷したい文書名を選択し、[印刷] を押します。

■ 1部を確認してから残りを印刷する（お試し印刷）

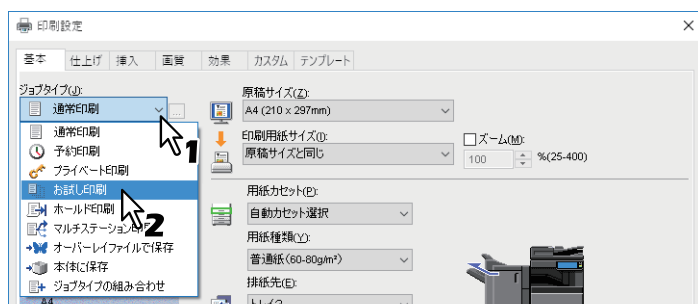
お試し印刷は、確認用に1部だけサンプルを印刷する機能です。この機能を使用すれば、間違った印刷設定などによる用紙の無駄遣いなどを削減できます。出力結果を確認したうえで、ジョブをそのまま印刷するか削除するかを選択します。

注意

複数部数の印刷ジョブを別々の印刷ジョブとして送信するアプリケーションを使用している場合は、お試し印刷を設定しても、指定した部数すべてが印刷されてしまいます。この場合は、印刷する部数を1部に設定しお試し印刷した後、タッチパネルで部数を変更して印刷してください。

1 [基本] タブを選択します。

2 [ジョブタイプ] で [お試し印刷] を選択します。



3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

4 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
サンプルが1部印刷され、印刷ジョブ（残り部数）は本機に保存されます。

5 タッチパネルのホーム画面で [プリント] を押します。

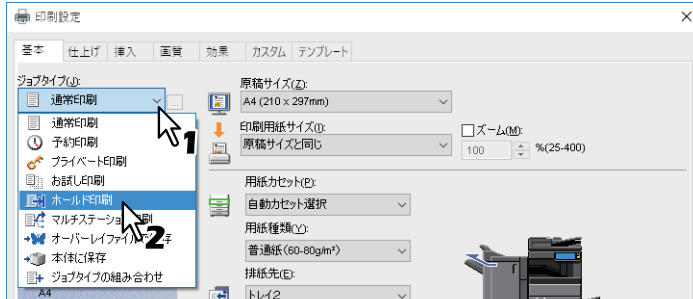
6 タッチパネルでジョブタイプから [お試し印刷] を選択します。

7 お試し印刷ジョブ一覧画面より印刷したいジョブを選択し、[印刷] を押します。

■ 保留状態で印刷ジョブを送る（ホールド印刷）

本機のタッチパネルから印刷を実行するまで印刷ジョブを保留します。出力紙の取り忘れを防ぐために便利な機能です。

- 1 【基本】 タブを選択します。
- 2 【ジョブタイプ】 で【ホールド印刷】 を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【OK】 をクリックします。
- 4 【プリント】（または【印刷】、【OK】 など） をクリックし、印刷ジョブを送信します。
ホールド印刷ジョブとして本機に保存されます。
- 5 タッチパネルのホーム画面で【プリント】 を押します。
- 6 タッチパネルでジョブタイプから【ホールド印刷】 を選択します。
- 7 目的のユーザ名を選択し、【OK】 を押します。

補足

【カスタム】 タブの【表示ユーザ名】 に任意のユーザ名を入力して印刷ジョブを送信した場合は、そのユーザ名がホールド印刷ジョブ一覧に表示されます。入力せずに送信した場合には、コンピュータのログインユーザ名が表示されます。

- 8 ホールド印刷ジョブ一覧画面より印刷したいジョブを選択し、【印刷】 を押します。

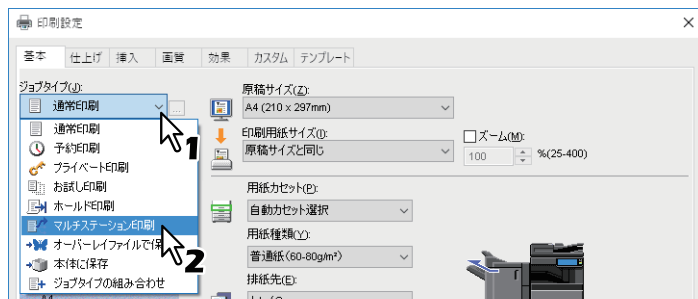
補足

- 【表示ユーザ名】 に初期値のログインユーザ名を使用した場合：
選択したユーザが登録したホールド印刷ジョブが一覧表示されます。
- 【表示ユーザ名】 に任意のユーザ名を入力した場合：
同じユーザ名を使って登録したホールド印刷ジョブがすべて一覧表示されます。

■ 別の複合機から印刷する（マルチステーション印刷）

本機に送信したジョブを別の複合機から印刷することができます。

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [マルチステーション印刷] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
マルチステーション印刷ジョブとして本機に保存されます。
- 5 タッチパネルのホーム画面で [プリント] を押します。
- 6 タッチパネルでジョブタイプから [マルチステーション印刷] を選択します。
- 7 ジョブ一覧画面から印刷したいジョブを選択し、[印刷] を押します。
[印刷設定] を押すと、印刷設定を変更できます。
[再印刷リスト] を押すと、再印刷可能なジョブが表示されます。

■ 本体のボックスに保存する（本体に保存）

この機能は、印刷ジョブをお使いのアプリケーションから本機のハードディスクへ送信し、保存する機能です。保存したジョブは、タッチパネルから印刷出力したり、ファイリングボックスWebユーティリティを使って、ほかの文書と合成することもできます。ジョブの保存先には、共有ボックスまたはユーザボックスを選択できます。また、ボックス内に作成したフォルダを指定することもできます。共有ボックスは、ネットワーク上で共有されており、どのユーザでもこれにアクセスすることができます。ユーザボックスは、ユーザが任意に作成できるボックスで、パスワードを設定してアクセスを制限できます。

📖 P.64 「共有ボックスに保存する」

📖 P.65 「ユーザボックスに保存する」

注意

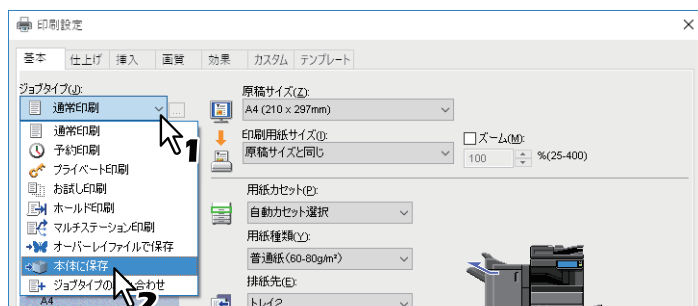
- 原稿サイズや印刷用紙サイズに以下の用紙サイズを選択した場合、[本体に保存] は使用できません。また、文書の一部にこれらのサイズの用紙が含まれている場合も、印刷ジョブはファイリングボックスに保管されません。
 - カスタム用紙
 - 手差しトレイ不定サイズ用紙
 - インデックス紙
 - IndexCard (3 x 5")
 - 封筒 COM10 (4 1/8 x 9 1/2")
 - 封筒 COM9 (3 7/8 x 8 7/8")
 - 封筒 Monarch (3 7/8 x 7 1/2")
 - 封筒 長形6号 (110 x 220 mm)
 - 封筒 長形3号 (120 x 235 mm)
 - 封筒 長形4号 (90 x 205 mm)
 - 封筒 洋形4号 (105 x 235 mm)
 - 封筒 角形6号 (162 x 229 mm)
- 印刷によりファイリングボックスに保管された文書は、出力に適した画質で保管されます。より高画質な画像をコンピュータに取り込みたい場合は、原稿をスキャンしファイリングボックスに保管してください。
- ファイリングボックスに保管された文書は、画像として保管されます。元の文書をそのままファイリングボックスに保管することはできません。

補足

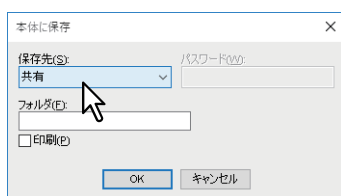
- 本体に保存されているファイルは、タッチパネルから管理することができます。詳細は、**ファイリングボックスガイド**を参照してください。
- 保存ファイルの管理は、ファイリングボックスWebユーティリティを使って行うこともできます。詳細は、**ファイリングボックスガイド**を参照してください。

□ 共有ボックスに保存する

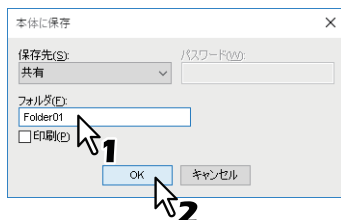
- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [本体に保存] を選択します。



- 3 [ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックします。
- 4 [保存先] で [共有] を選択します。



- 5 共有ボックス内のフォルダを指定する場合は、[フォルダ] にフォルダ名を入力し、[OK] をクリックします。



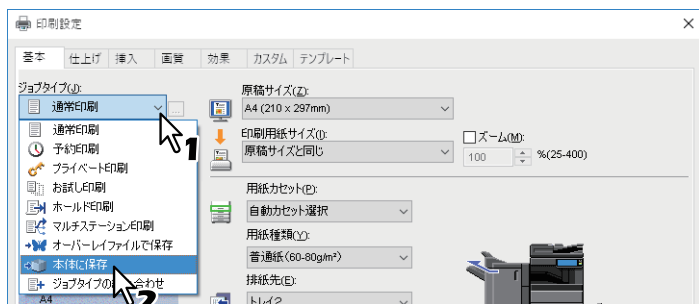
注意

- 入力したフォルダ名が存在しない場合、新規のフォルダとしてボックス内に作成されます。
- フォルダ名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダ数の上限は100です。

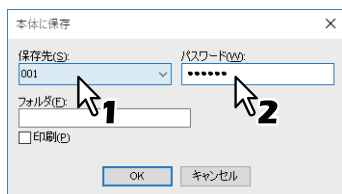
- 6 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 7 保存と同時に印刷を行う場合は、[印刷] を選択します。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。印刷ジョブが保存されます。

□ ユーザボックスに保存する

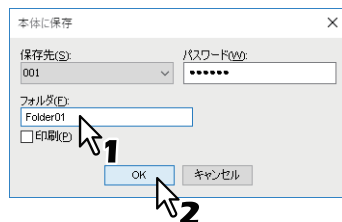
- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [本体に保存] を選択します。



- 3 [ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックします。
- 4 [保存先] で保存先のユーザボックスを選択し、必要に応じて [パスワード] にユーザボックスのパスワード（最大20桁）を入力します。



- 5 ユーザボックス内のフォルダを指定する場合は、[フォルダ] にフォルダ名を入力し、[OK] をクリックします。



注意

- 入力したフォルダ名が存在しない場合は、新規のフォルダとしてボックス内に作成されます。
- フォルダ名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダ数の上限は100です。

- 6 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 7 保存と同時に印刷を行う場合は、[印刷] を選択します。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。印刷ジョブが保存されます。

■ 条件を組み合わせて印刷する

□ ジョブタイプの組み合わせ

この機能は、「予約印刷」、「プライベート印刷」、「ホールド印刷」、「お試し印刷」、「お試し+プライベート印刷」、「お試し+ホールド印刷」のいずれかのジョブタイプと、「本体に保存」のジョブタイプを組み合わせて印刷できる機能です。たとえば、「予約印刷」と「本体に保存」を組み合わせれば、印刷ジョブをファイリングボックスに保存しつつ、指定した時間に印刷することができます。選択した場合は、[ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックして組み合わせるジョブタイプを選択します。

注意

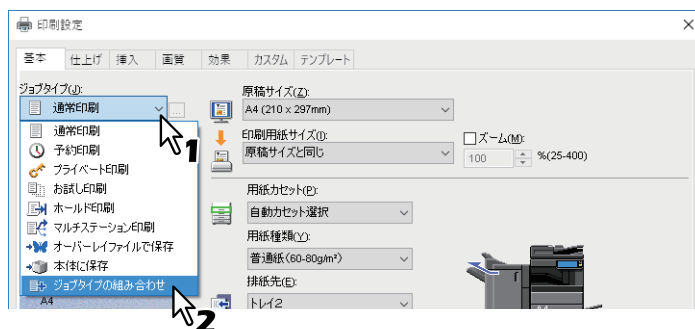
- 予約印刷を行う前に、本機とお使いのコンピュータの日時を合わせておいてください。
- 複数部数の印刷ジョブを別々の印刷ジョブとして送信するアプリケーションを使用している場合は、お試し印刷を設定しても、指定した部数すべてが印刷されてしまいます。この場合は、印刷する部数を1部に設定しお試し印刷した後、タッチパネルで部数を変更して印刷してください。
- 印刷によりファイリングボックスに保管された文書は、出力に適した画質で保管されます。より高画質な画像をコンピュータに取り込みたい場合は、原稿をスキャンしファイリングボックスに保管してください。
- ファイリングボックスに保管された文書は、画像としてファイリングボックスに保管されます。元の文書をそのままファイリングボックスに保管することはできません。

補足

- 本体に保存されているファイルは、タッチパネルから管理することができます。詳細は、[ファイリングボックスガイド](#)を参照してください。
- また、保存ファイルの管理は、[ファイリングボックスWebユーティリティ](#)を使って行うこともできます。詳細は、[ファイリングボックスガイド](#)を参照してください。

ジョブタイプの組み合わせで印刷する

- 1 [基本] タブを選択します。
- 2 [ジョブタイプ] で [ジョブタイプの組み合わせ] を選択します。

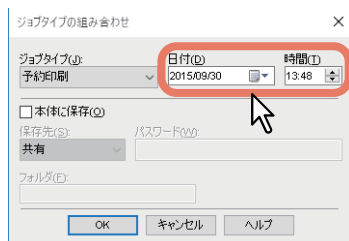


- 3 [ジョブタイプ] の右側の [...] をクリックします。

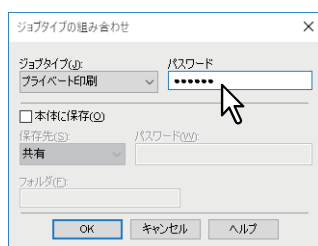
4 [ジョブタイプ] で、ジョブタイプを選択します。

選択したジョブタイプにより設定画面が切り替わります。

- [予約印刷] を選択した場合は、[日付] と [時間] を設定します。



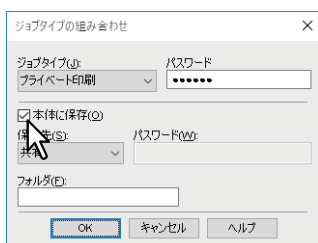
- [プライベート印刷] [お試し+プライベート印刷] を選択した場合は、パスワードを入力します。



注意

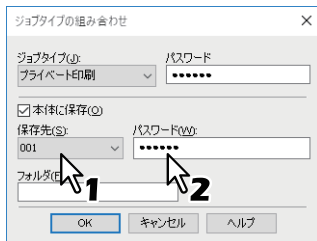
- 1～63文字のパスワードを入力します。パスワードには、半角の英数字および記号（0x21～0x7EまでのASCIIコードの文字）を使用できます。
- ここで設定したパスワードを本機のタッチパネルから入力すると、ジョブの印刷が実行されます。パスワードを忘れてしまうと、ジョブを印刷することができなくなるのでご注意ください。

5 印刷と同時にファイルを本体に保存する場合は、[本体に保存] を選択します。

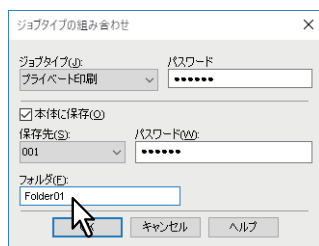


6 [保存先] で、保存先を選択します。

ユーザーボックスを選択した場合は、必要に応じてパスワードを入力します。



7 選択したボックス内のフォルダを指定する場合は、[フォルダ] にフォルダ名を入力します。



注意

- 入力したフォルダ名が存在しない場合、新規のフォルダとしてボックス内に作成されます。
- フォルダ名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダ数の上限は100です。

8 [OK] をクリックします。

9 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

- [予約印刷] を選択した場合は、指定した日時に印刷が実行されます。
- [プライベート印刷] [お試し+プライベート印刷] を選択した場合は、プライベート印刷ジョブとして本機に保存されます。タッチパネルを操作し、プライベート印刷ジョブを印刷してください。
📖 P.59 「機密文書を印刷する (プライベート印刷)」
- [ホールド印刷] [お試し+ホールド印刷] を選択した場合は、ホールド印刷ジョブとして本機に保存されます。タッチパネルを操作し、ホールド印刷ジョブを印刷してください。
📖 P.61 「保留状態で印刷ジョブを送る (ホールド印刷)」
- [お試し印刷] [お試し+プライベート印刷] [お試し+ホールド印刷] を選択した場合は、サンプルが1部印刷され、残りの部数はお試し印刷ジョブとして本機に保存されます。タッチパネルを操作し、お試し印刷ジョブを印刷してください。
📖 P.60 「1部を確認してから残りを印刷する (お試し印刷)」
- [本体に保存] を選択した場合は、印刷ジョブが指定したボックスに保存されます。

複数のMFPがある場合に利用できる機能

ネットワーク上に複数のe-STUDIO SeriesおよびLoops Seriesの機体が存在している場合、「出力先デバイス」ダイアログボックスで、出力先や部数を指定することができます。

☞ P.69 「印刷に使用する機体を変更する」

☞ P.71 「1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する（タンデム印刷）」

注意

- [選択したデバイス] でプリンタを選択する場合は、印刷ジョブに対応する機能が搭載されたプリンタを選択してください。
 - ホチキス印刷を行う場合は、ホチキス機能が搭載されたプリンタを選択してください。
 - パンチ印刷を行う場合は、パンチ機能が搭載されたプリンタを選択してください。
 - 大容量給紙装置（外付け）から印刷を行う場合は、大容量給紙装置（外付け）が装着されたプリンタを選択してください。
 - フルカラーまたは2色印刷を行う場合は、カラー印刷に対応したプリンタを選択してください。
- 選択したプリンタが対応していない印刷機能が印刷ジョブに設定されていた場合、印刷が正しく行われない場合があります。
- 印刷時、選択したプリンタに対して部門コードの確認は行われません。[カスタム] タブの [部門コード] に設定した部門コードが選択したプリンタで認められていなかった場合、その印刷ジョブの部門管理は行われません。

補足

- [常に同じ設定を使用する] を選択すると、次回以降の印刷時に「出力先デバイス」の設定を省略することができます。
- [選択したデバイス] で選択できるプリンタは、プリンタフォルダに登録されたプリンタの中から選択する必要があります。[カスタム] タブにある [プリンタの追加] を使うと、プリンタを追加することができます。

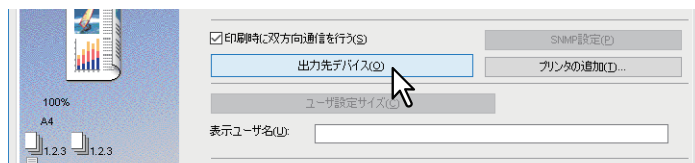
印刷に使用する機体を変更する

ネットワーク上に複数のe-STUDIO SeriesおよびLoops Seriesの機体が存在している場合、印刷に使用する機体を変更することができます。

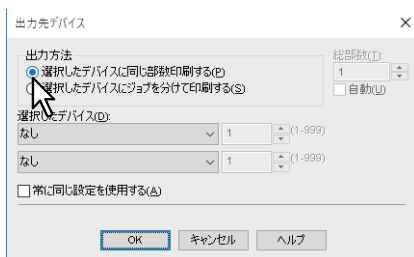
たとえば、印刷に使おうとした機体が大量のジョブで使用中心になってしまった場合、空いている別のe-STUDIO SeriesまたはLoops Seriesの機体に印刷ジョブを送信してすぐに印刷することができます。

1 [カスタム] タブを表示します。

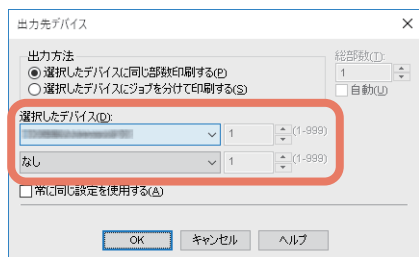
2 [出力先デバイス] をクリックします。



3 [選択したデバイスに同じ部数印刷する] を選択します。



4 [選択したデバイス] で印刷に使用したいプリンタを選択します。



[選択したデバイス] で、複数のプリンタを選択することもできます。この場合、選択したすべてのプリンタにおいて、同じ部数で印刷が行われます。

5 [OK] をクリックして「出力先デバイス」ダイアログボックスを閉じます。

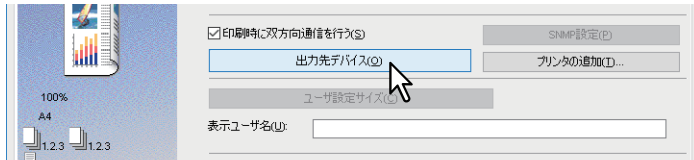
6 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

7 [プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。

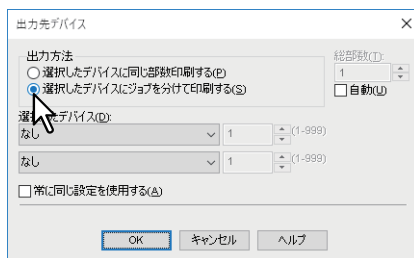
■ 1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する（タンデム印刷）

この機能は、1つの印刷ジョブを部数ごとに2台の機体に分散させて印刷する機能です。たとえば、枚数の多い資料を何十部も印刷しなければならない場合、ネットワーク上に存在するe-STUDIO SeriesおよびLoops Seriesの機体に部数単位で印刷を割り振ることで、2台の機体の同時印刷により短時間で処理することができます。

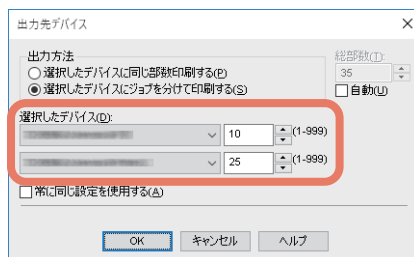
- 1 [カスタム] タブを表示します。
- 2 [出力先デバイス] をクリックします。



- 3 [選択したデバイスにジョブを分けて印刷する] を選択します。



- 4 [選択したデバイス] で印刷に使用したいプリンタを2台選択し、それぞれの印刷部数を設定します。



注意

[自動] を選択すると、[総部数] に設定した印刷部数が、選択したプリンタで均等に印刷されるよう自動的に振り分けられます。

- 5 [OK] をクリックして「出力先デバイス」ダイアログボックスを閉じます。
- 6 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 7 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷設定の保存

- 📖 P.72 「印刷機能の初期値を変える」
- 📖 P.74 「よく使う印刷設定を保存する（簡易設定）」
- 📖 P.76 「簡易設定をテンプレートに割り当てる」

■ 印刷機能の初期値を変える

Windowsのスタートメニューからプリンタフォルダを表示し、プリンタプロパティのダイアログボックスで設定した印刷機能は、プリンタドライバの初期値として設定されます。たとえば、ひんぱんに使う用紙サイズや本機のオプション構成の設定、ユーザ情報の設定などは、印刷するごとに変更する必要はありませんので、この方法で設定します。

1 [スタート] を右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。



プリンタフォルダが表示されます。

補 足

- Windows 8.1/Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows 7をお使いの場合は、[スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008をお使いの場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。

2 本機プリンタドライバを右クリックし、表示されたメニューから [プリンターのプロパティ] を選択します。

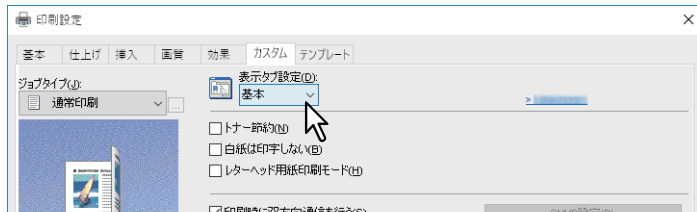


- Windows Vista/Windows Server 2008をお使いの場合は、本機プリンタドライバを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。
- [ファイル] メニューが表示されていない場合は、[Alt] キーを押します。
- プリンタのプロパティが変更できない状態で表示される場合は、次の手順を行います。
 - Windows Vistaをお使いの場合は、[ファイル] メニューから [管理者として実行]、[プロパティ] の順にクリックします。
管理者アカウントのパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力します。
[続行] をクリックします。
 - Windows 7では、プロパティの各タブに  の付いたボタンがあります。
プロパティを変更するときは、 の付いたボタンをクリックしてください。クリックしてもプロパティの変更ができない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ネットワークからインストールしたドライバを変更するときは、ネットワーク管理者権限が必要です。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

3 表示された画面で、よく使う用紙サイズや本機のオプション構成、ユーザ情報などを設定します。

補足

[カスタム] タブの [表示タブ設定] で、プリンタドライバを開いたときに、最初に表示されるタブを設定できます。よく使う機能のタブを設定しておく则便利です。



■ よく使う印刷設定を保存する（簡易設定）

簡易設定では、印刷機能の設定を保存したり、保存した印刷設定を呼び出して使用することができます。

簡易設定を使用するには、まず簡易設定ファイルを保存する必要があります。

📖 P.74 「簡易設定を保存する」

簡易設定を保存すると、特定のジョブを印刷する際にいつでも適用することができます。

📖 P.75 「簡易設定を適用する」

簡易設定は必要がなくなったら削除できます。

📖 P.75 「簡易設定を削除する」

補足

初期設定で5個の簡易設定が登録されています。

- 会議資料印刷（白黒）
- 製本印刷（自動判別）
- 配布資料印刷
- 会議資料印刷
- ファイルとじ用印刷

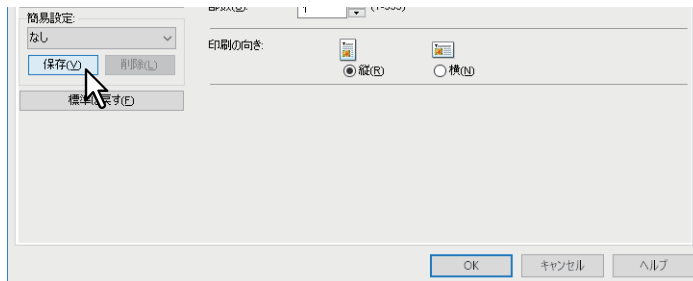
□ 簡易設定を保存する

プリンタドライバの簡易設定は、あらかじめ登録されている5個を含め最大20個まで作成できます。

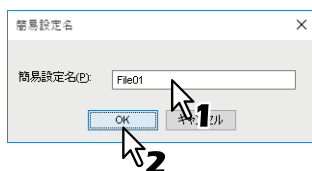
補足

あらかじめ登録されている簡易設定は同じ名前でも上書き保存、または削除することができます。

- 1 各タブで、印刷目的に合わせ印刷機能を設定します。
- 2 簡易設定の【保存】をクリックします。



- 3 簡易設定名を入力し、【OK】をクリックします。



ファイル名は、半角・全角63文字以内で入力します。

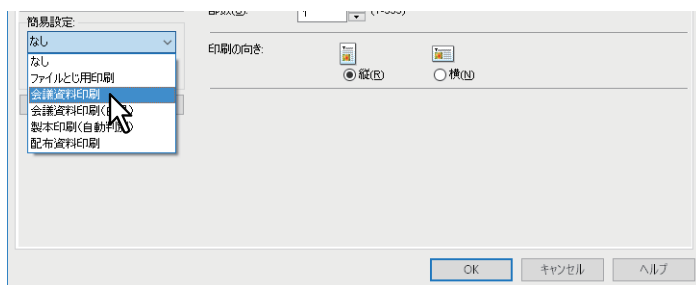
補足

- 簡易設定名がすでに使われている場合は、既存の簡易設定ファイルを上書きするかどうか確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は、【OK】をクリックします。
- 20個を超えて簡易設定を保存した場合には、設定内容が【一時保存】として保存されます。【一時保存】に簡易設定名を作成するには、不要な簡易設定を1つ削除し、【一時保存】を選択して【保存】をクリックします。
- 簡易設定名に【なし】を設定することはできません。

- 4 簡易設定が保存されます。

□ 簡易設定を適用する

1 [簡易設定] で目的の簡易設定名を選択します。



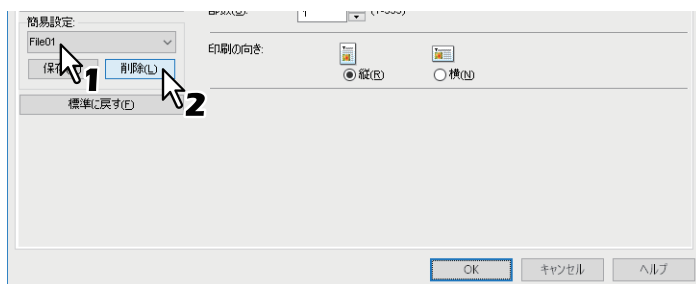
選択した簡易設定ファイルの設定が、自動的に反映されます。

注意

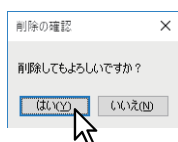
[簡易設定] から [なし] を選択しても、初期設定に戻すことはできません。簡易設定を選択した後に初期設定に戻す場合は、各タブの [標準に戻す] をクリックします。[デバイス設定] タブを除くすべてのタブを初期設定に戻す場合は、[カスタム] タブの [すべての設定を標準に戻す] をクリックします。

□ 簡易設定を削除する

1 [簡易設定] で目的の簡易設定名を選択し、[削除] をクリックします。



2 [はい] をクリックします。



■ 簡易設定をテンプレートに割り当てる

簡易設定をテンプレートボタンに割り当てておくと、印刷時に「テンプレート」ダイアログボックスを自動的に表示できます。テンプレートボタンを選択するだけで、ボタンに割り当てられた簡易設定を反映させることができます。

補足

- 初期設定で5個の簡易設定がテンプレートボタンに登録されています。
 - 会議資料印刷（白黒）
 - 製本印刷（自動判別）
 - 配布資料印刷
 - 会議資料印刷
 - ファイルとじ用印刷
- あらかじめ登録されているテンプレートボタンは削除することができます。

テンプレートボタンを使用するには、まず簡易設定をテンプレートボタンに割り当てる必要があります。また、印刷の実行時に、テンプレートボタンの選択画面が表示されるように設定します。

☞ P.76 「テンプレートボタンに割り当てる」

テンプレートボタンを選択して、割り当てられている簡易設定を適用することができます。

☞ P.77 「テンプレートボタンで設定して印刷する」

テンプレートボタンは削除できます。

☞ P.78 「テンプレートボタンの割り当てを削除する」

□ テンプレートボタンに割り当てる

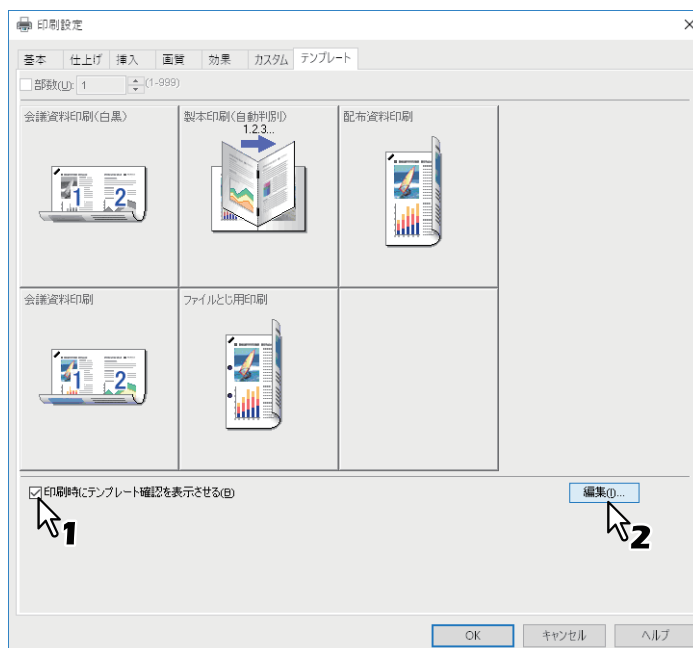
テンプレートボタンは、あらかじめ登録されている5個を含め最大6個まで作成できます。

1 登録したい印刷設定を簡易設定として保存します。

☞ P.74 「簡易設定を保存する」

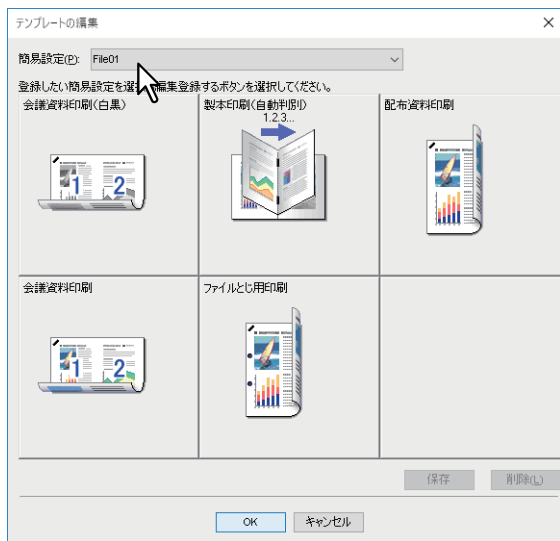
2 [テンプレート] タブを選択します。

3 [印刷時にテンプレート確認を表示させる] を選択し、[編集] をクリックします。



印刷の実行時にテンプレートダイアログボックスが表示されるようになります。

4 [簡易設定] で、割り当てる簡易設定を選択します。



5 割り当てをするテンプレートボタンを選択します。

補足

すでに登録されているテンプレートボタンを選択した場合は、設定内容が上書きされます。

6 [保存] をクリックし、[OK] をクリックします。

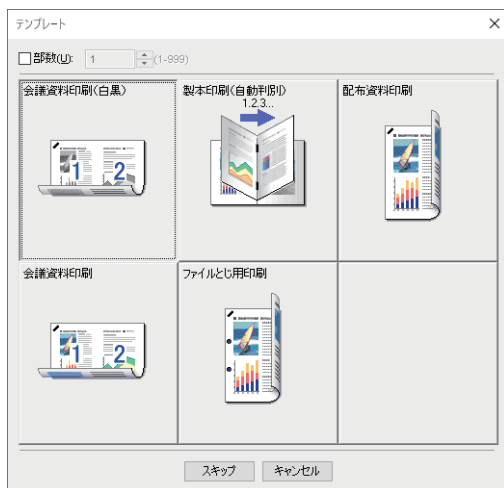
選択した簡易設定が、選択したテンプレートボタンに割り当てられます。

7 [テンプレート] タブの [OK] をクリックします。

割り当てた内容が登録されます。

□ テンプレートボタンで設定して印刷する

1 印刷を実行すると、自動的に「テンプレート」ダイアログボックスが表示されます。



2 適用するテンプレートボタンを選択します。

選択した簡易設定で、印刷が行われます。

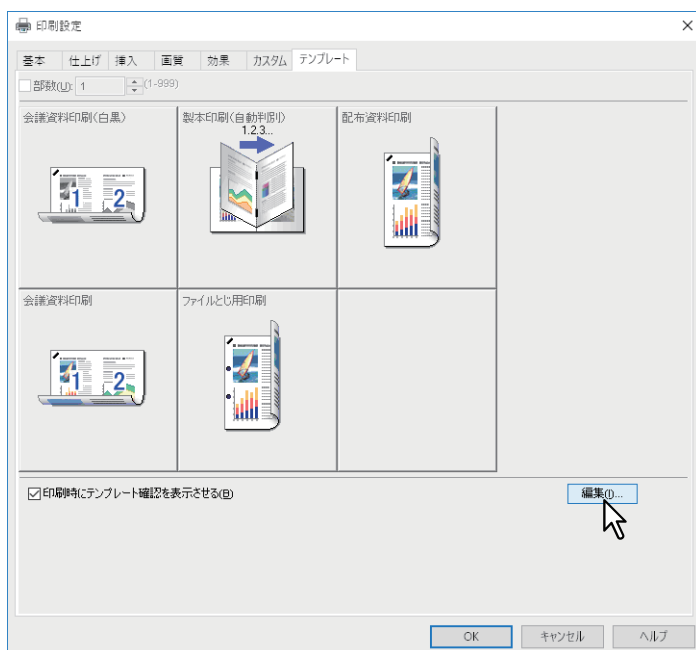
補足

- [部数] を選択すると、印刷部数を設定できます。
- [スキップ] をクリックすると、簡易設定を適用せずに印刷することができます。

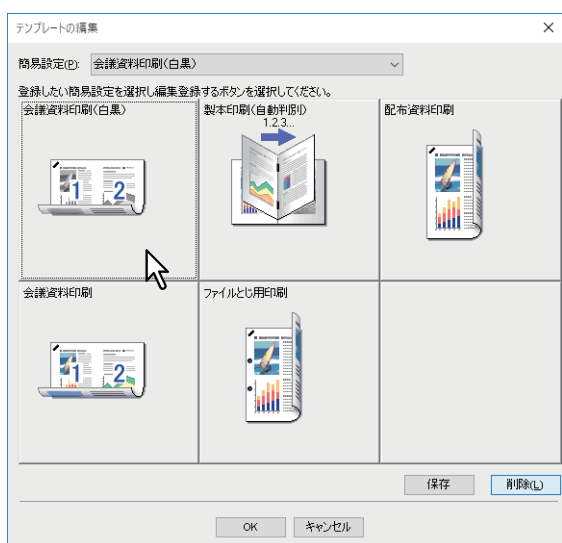
□ テンプレートボタンの割り当てを削除する

1 [テンプレート] タブを選択します。

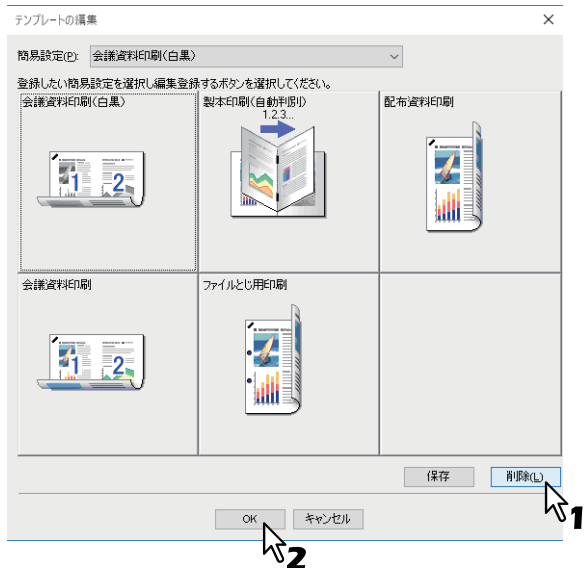
2 [編集] をクリックします。



3 割り当てを削除するテンプレートボタンを選択します。



4 [削除] をクリックし、[はい] をクリックして [OK] をクリックします。



選択したテンプレートボタンから簡易設定の割り当てが削除され、未設定の状態になります。

オプション機器やユーザ認証の設定

- 📖 P.80 「プリンターのオプション機器を設定する」
- 📖 P.83 「部門管理機能を利用する」
- 📖 P.84 「ユーザ認証機能を利用する」
- 📖 P.86 「注意事項について」

■ プリンターのオプション機器を設定する

初期設定ではプリンタドライバのインストール時に、自動でオプション構成情報を取得します。本機とお使いのコンピュータが双方向通信できない場合は、オプション構成をプリンタドライバに手動で設定する必要があります。

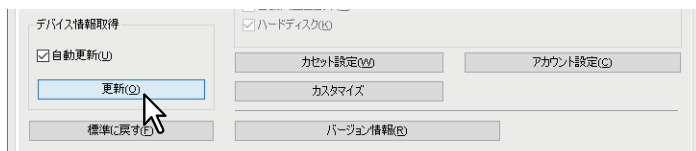
- 📖 P.80 「オプション機器を自動で更新する」
- 📖 P.80 「オプション機器を手動で設定する」

補足

[デバイス設定] タブは、[デバイスとプリンター] フォルダ（Windows Vista/Windows Server 2008では [プリンタ] フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ設定できます。

□ オプション機器を自動で更新する

本機と双方向通信できる場合は、[デバイス設定] タブで [更新] をクリックすると本機のオプション構成情報を取得できます。[自動更新] を選択すると、プリンタドライバの [デバイス設定] タブを開くたびにオプション構成の情報を自動で更新します。



□ オプション機器を手動で設定する

本機とお使いのコンピュータが双方向通信できない場合の手順です。

注意

Administrators（管理者）でログインする必要があります。

- 1 [スタート] を右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。



プリンタフォルダが表示されます。

補足

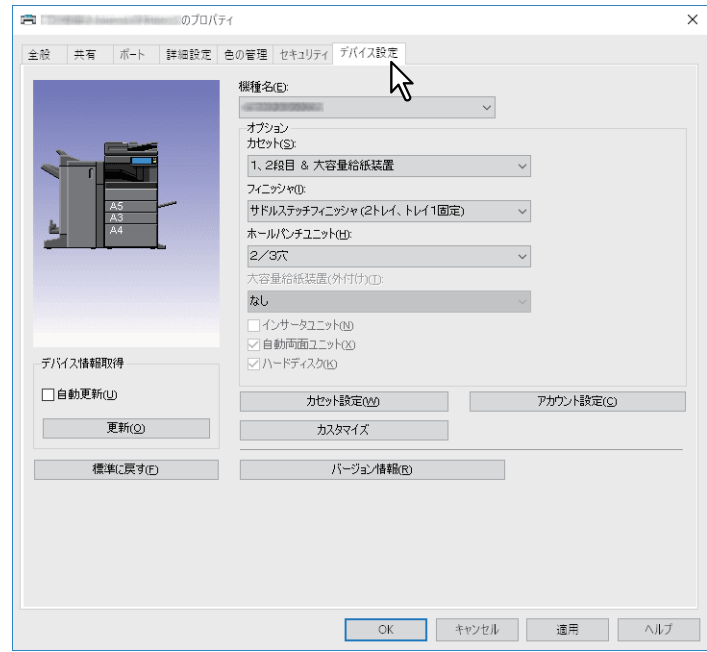
- Windows 8.1/Windows Server 2012をお使いの場合は、画面左下で右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows 7をお使いの場合は、[スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008をお使いの場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。

2 本機プリンタドライバを右クリックし、表示されたメニューから [プリンターのプロパティ] を選択します。



- Windows Vista/Windows Server 2008をお使いの場合は、本機プリンタドライバを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。
- [ファイル] メニューが表示されていない場合は、[Alt] キーを押します。
- プリンタのプロパティが変更できない状態で表示される場合は、次の手順を行います。
 - Windows Vistaをお使いの場合は、[ファイル] メニューから [管理者として実行]、[プロパティ] の順にクリックします。
管理者アカウントのパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力します。
[続行] をクリックします。
 - Windows 7では、プロパティの各タブに  の付いたボタンがあります。
プロパティを変更するときは、 の付いたボタンをクリックしてください。クリックしてもプロパティの変更ができない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ネットワークからインストールしたドライバを変更するときは、ネットワーク管理者権限が必要です。
詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

3 [デバイス設定] タブを選択し、以下のオプションを設定します。



機種名: 機種名を選択します。選択した機種名に合わせて、設定項目が切り替わります。

注意

- [共通] を選択すると、プリンタドライバ上で設定できる機能を、ネットワーク上の複数のe-STUDIO SeriesおよびLoops Seriesに共通で搭載されている機能のみに絞り込むことができます。本機用にインストール済みのプリンタドライバを、e-STUDIO SeriesおよびLoops Seriesなどの他機種でも利用したい場合などに便利です。
- Universal Printer 2プリンタドライバを汎用モデルとして利用する場合には機能制約があります。

オプション：以下のオプション機器が装着されているかを選択します。

- **カセット：**給紙ユニット（2段目カセット）、多段給紙装置（3段目カセット）、追加給紙カセット（4段目カセット）、または大容量給紙装置が装着されているかを設定します。
- **フィニッシャ：**フィニッシャ、サドルステッチフィニッシャ、インナーフィニッシャ、またはインナートレイが装着されているかを設定します。
- **ホールパンチユニット：**ホールパンチユニットが装着されているかを設定します。
- **大容量給紙装置（外付け）：**大容量給紙装置（外付け）が装着されているかを設定します。
- **インサータユニット：**インサータが装着されているかを設定します。
- **自動両面ユニット：**自動両面ユニットが装着されているかを設定します。
- **ハードディスク：**ハードディスクが装着されているかを設定します。

補足

- 設定できる項目は、お使いになる機種およびオプション構成により異なります。
- 本機とお使いのコンピュータが双方向通信できない状態で、[デバイス設定] の項目を設定すると、自動的に両面印刷機能が有効になります。

4 [カセット設定] をクリックします。

5 以下のオプションを設定し、[OK] をクリックします。

	用紙サイズ	用紙種類	使用目的
1段目カセット(D)	A5	普通紙(60-80g/m ²)	なし
2段目カセット(D)	A3	普通紙(60-80g/m ²)	なし
3段目カセット(D)	A4	普通紙(60-80g/m ²)	なし
4段目カセット(D)	A4	普通紙(60-80g/m ²)	なし
大容量給紙装置(C)	A4	普通紙(60-80g/m ²)	なし
大容量給紙装置(外付け)(D)	A4	普通紙(60-80g/m ²)	なし
手差しトレイ(D)	自動選択	普通紙(60-80g/m ²)	なし

ドライバ用紙カセット優先(L)

標準に戻す(B)

OK キャンセル

- 1段目カセット：**1段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。
- 2段目カセット：**2段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。
- 3段目カセット：**3段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。
- 4段目カセット：**4段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。
- 大容量給紙装置：**大容量給紙装置にセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。
- 大容量給紙装置（外付け）：**大容量給紙装置（外付け）にセットされた用紙サイズ、用紙種類、および使用目的を選択します。
- 手差しトレイ：**用紙種類、および使用目的を選択します。
- ドライバー用紙カセット優先：**アプリケーションの給紙元設定を適用せずに、プリンタドライバの給紙元設定を優先して使用する場合に選択します。

6 [適用] または [OK] をクリックして、設定を保存します。

■ 部門管理機能を利用する

部門管理機能を使用すると、管理者は部門ごとの印刷部数を確認できます。ユーザは本機の操作パネルまたはジョブ監視ツールから各ユーザの印刷ジョブを確認できます。

本機が部門コードで管理されている場合、ユーザは印刷時に部門コードを入力する必要があります。

部門管理の設定は、TopAccess管理者設定で行います。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

補足

- 部門コードに入力できる文字は、0～9までの数字、a～zおよびA～Zまでのアルファベット、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ピリオド）の半角文字のみです。1～63桁まで設定できます。
- TopAccess管理者設定の「部門コードなし印刷ジョブ」の設定と、本機との双方向通信が有効であるかにより、不正な部門コードを入力して印刷した場合の印刷ジョブの処理は変わります。
 - 双方向通信が有効で、部門コードなし印刷ジョブが「不正ジョブリストに入れる」に設定されている場合は、不正な部門コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。
 - 双方向通信が無効で、部門コードなし印刷ジョブが「不正ジョブリストに入れる」に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは無効ジョブとして保留され、部門コードなし印刷ジョブリストに表示されます。
 - 部門コードなし印刷ジョブが「印刷」の場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブもそのまま印刷されます。
 - 部門コードなし印刷ジョブが「削除」の場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは削除されません。

■ ユーザ認証機能を利用する

📖 P.84 「印刷ごとにユーザ名とパスワードを入力する」

📖 P.85 「LDAP認証用のLDAPサーバーを設定する」

□ 印刷ごとにユーザ名とパスワードを入力する

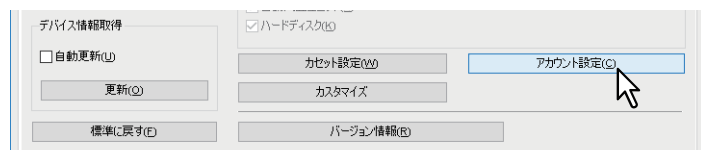
共有PCなどから印刷する際に、印刷ごとにユーザ名とパスワードの入力が必要になるよう設定します。

1 [デバイス設定] タブを選択します。

注意

[デバイス設定] タブは、プリンタドライバのプロパティをプリンタフォルダから表示したときに表示されます。アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプロパティを表示した場合には、表示されません。

2 [アカウント設定] をクリックします。



3 [印刷ごとにユーザ認証のためのユーザ名とパスワードを入力する] を選択して、[OK] をクリックします。

□ LDAP認証用のLDAPサーバーを設定する

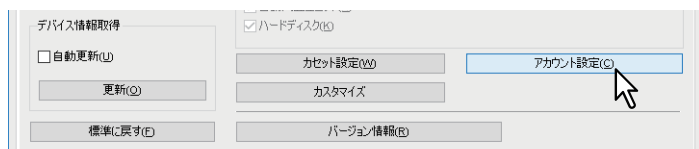
LDAP認証に使用するLDAPサーバーを設定します。

1 [デバイス設定] タブを選択します。

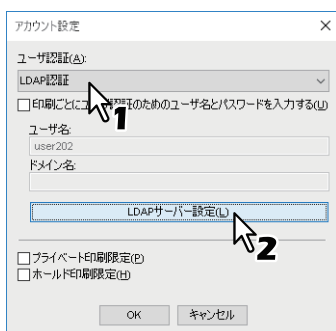
注意

[デバイス設定] タブは、プリンタドライバのプロパティをプリンタフォルダから表示したときに表示されます。

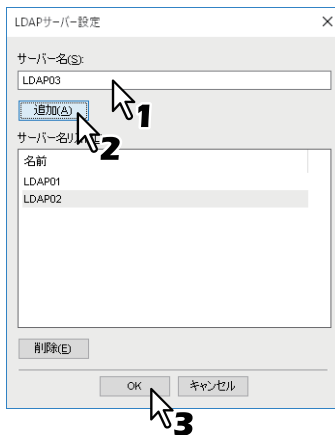
2 [アカウント設定] をクリックします。



3 [ユーザ認証] で [LDAP認証] を選択し、[LDAPサーバー設定] をクリックします。



4 [サーバー名] を入力し、[追加] をクリックして [OK] をクリックします。



■ 注意事項について

- 本機のユーザ管理設定が有効な場合は、部門管理に代わってユーザ管理設定を使用して印刷ジョブを管理します。この場合は、コンピュータにログインしたときに入力したユーザ名を使用して印刷ジョブの認証を行います。したがって、プリンタドライバに部門コードを設定する必要はありませんが、あらかじめ本機にユーザ名が登録されている必要があります。ユーザ名が未登録の場合、印刷ジョブは無効ジョブとしてユーザ認証強制の設定に従って処理されます。また、RAW形式で印刷ジョブが送られた場合は、RAW印刷ジョブの設定に従って処理されます。ユーザ認証強制やRaw印刷ジョブの設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。
また、Windowsドメイン認証を使用している場合は、コンピュータがドメインにログインしている必要があります。
- ブラック無制限機能が有効な場合は、カラーのみ部門管理ができます。[基本] タブの [カラー] ボックスで [自動カラー選択]、[フルカラー]、[2色] を選択して印刷する場合は、部門コードを入力する必要があります。[白黒] を選択して印刷する場合は部門コードを入力する必要はありません。
- いくつかの印刷機能は、プリンタドライバとアプリケーション両方で設定できます（例：丁合機能など）。ただし、アプリケーションで丁合機能を設定すると、正しく印刷されない場合があります。この場合には、プリンタドライバのソートモード機能で設定し、アプリケーションでは設定を行わずに印刷してください。また、アプリケーションによっては、印刷の向きなど、アプリケーションでの設定が必要になる印刷機能もあります。プリンタドライバとアプリケーション両方で設定できる場合は、アプリケーションの取扱説明書で説明されている印刷方法を参照してください。

Universal PS3プリンタドライバ使用時の注意点

- Adobe Acrobatから印刷する際、用紙サイズに合わせて印刷をする機能は無効になります。PostScriptで用紙サイズに合わせて印刷を行う場合は、Universal Printer 2プリンタドライバを使用し、[デバイス設定] タブの [カスタマイズ] で、[プリンタ言語設定] タブの [プリンタ言語] を [PostScript] に設定して印刷してください。
- 以下の機能のいずれかを設定すると、アプリケーションのパススルー動作を無視してプリンタドライバ側で印刷データを生成するため、アプリケーション側で印刷データを生成するような場合でも、正常な印刷結果を得ることができます。
 - オーバーレイファイルで保存
 - オーバーレイイメージ付きの印刷
 - ページ集約
 - 製本
 - 1ページ毎に挿入（複製）
 - テンプレート
 - 印刷用紙サイズ
 - 画像倍率（拡大／縮小）
 - ポスター印刷
 - タンデム印刷

□ Windows用PPDファイルが必要なときは

インストールディスクには、Windowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。自動的にPPDファイルをインストールできないアプリケーションで、プリンタ固有の印刷設定を「印刷」ダイアログボックスや「用紙設定」ダイアログボックスで利用するには、PPDファイルを適切な場所にコピーしてください。

PPDファイルのコピー方法については、**インストールガイド**を参照してください。

プリンタドライバの機能概要

プリンタドライバで設定できる印刷機能について説明します。

- 📖 P.87 「プリンタドライバの設定」
- 📖 P.88 「[[基本] タブ」
- 📖 P.89 「[[仕上げ] タブ」
- 📖 P.90 「[[挿入] タブ」
- 📖 P.91 「[[画質] タブ」
- 📖 P.92 「[[効果] タブ」
- 📖 P.93 「[[カスタム] タブ」
- 📖 P.95 「[[デバイス設定] タブ」
- 📖 P.96 「[[テンプレート] タブ」
- 📖 P.97 「プリンタドライバヘルプについて」

注意

[挿入]、[画質]、[効果]、[テンプレート] の各タブは、プラグイン機能で設定を有効にした場合のみ表示されます。設定方法は、プリンタドライバヘルプを参照してください。

- 📖 P.97 「プリンタドライバヘルプについて」

補足

- 各タブの設定値の詳細はプリンタドライバヘルプを参照してください。
 - 📖 P.97 「プリンタドライバヘルプについて」
- 以下のタブはOSに依存する設定項目です。これらの設定方法や詳細については、お使いになるOSの取扱説明書やヘルプを参照してください。
 - [全般] タブ
 - [共有] タブ
 - [ポート] タブ
 - [詳細設定] タブ
 - [色の管理] タブ
 - [セキュリティ] タブ

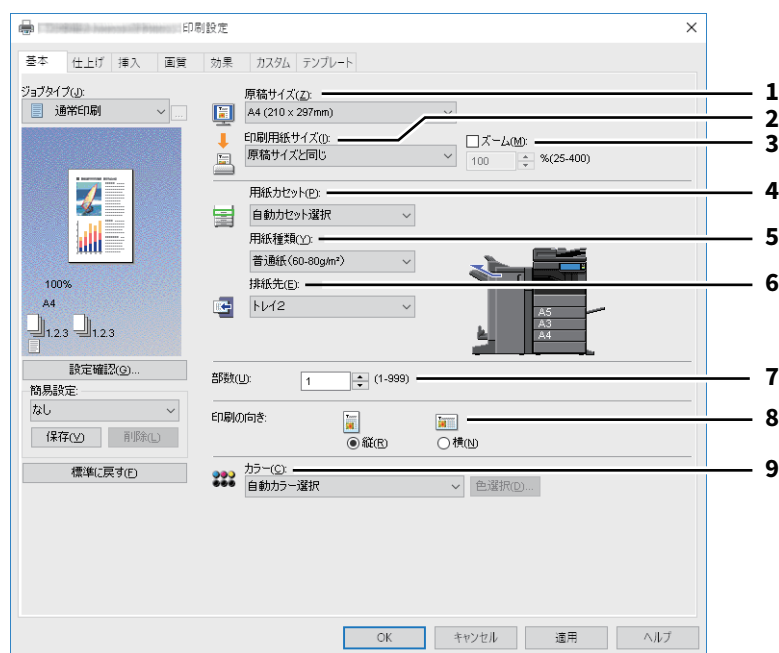
■ プリンタドライバの設定

印刷機能を設定する方法はいくつかありますが、印刷にどのような効果をもたらすかは、設定方法によって異なります。また、表示されるタブも、プリンタプロパティのダイアログボックスの表示方法によって異なります。

- 印刷機能の初期値を設定する場合
プリンタフォルダからプリンタプロパティのダイアログボックスを表示して設定した印刷機能は、プリンタドライバの初期値として設定されます。たとえば、ひんぱんに使う用紙サイズや本機のオプション構成の設定、ユーザ情報の設定などは、印刷するごとに変更する必要はありませんので、この方法で印刷機能を設定します。
 - 📖 P.72 「印刷機能の初期値を変える」
- 印刷ジョブごとに印刷機能を設定する場合
アプリケーションの「プリント」(印刷) ダイアログボックスからプリンタプロパティのダイアログボックスを表示して設定した印刷機能は、現在の印刷ジョブのみに適用されます。この方法で設定した内容は、アプリケーションを閉じると元の設定に戻ります。
 - 📖 P.15 「印刷方法」

■ [基本] タブ

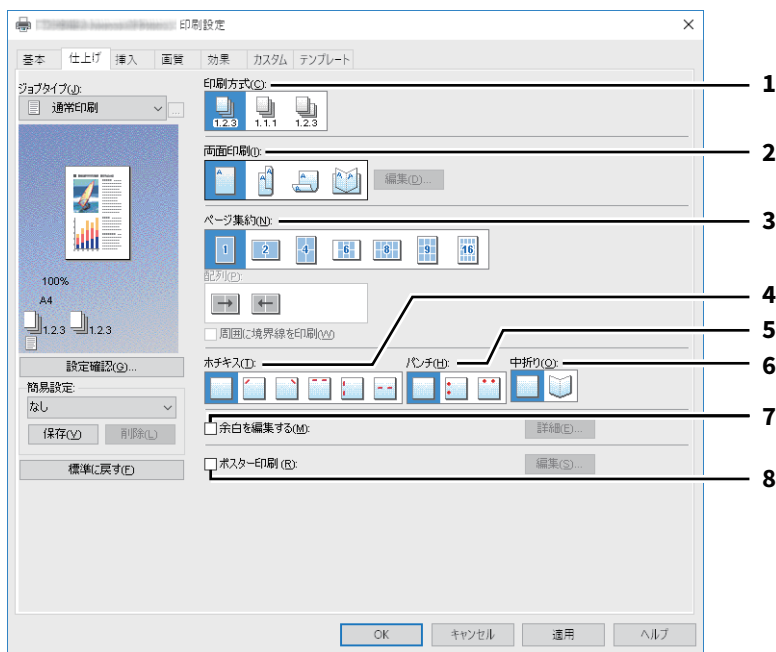
このタブでは、原稿サイズ、用紙サイズ、用紙カセット、用紙種類、排紙先、印刷の向きや印刷部数などの基本的な印刷操作に関する設定を行います。



	項目名	機能説明
1	原稿サイズ	原稿のサイズを選択します。
2	印刷用紙サイズ	印刷に使用する用紙サイズを選択します。
3	ズーム	ズームを選択して、ページイメージを拡大または縮小する倍率を入力します。
4	用紙カセット	用紙の給紙元を選択します。用紙サイズに合った給紙元を選択します。
5	用紙種類	印刷に使用する用紙の種類を選択します。
6	排紙先	印刷ジョブが出力される排紙先トレイを選択します。
7	部数	印刷部数を指定します。
8	印刷の向き	印刷の向きを選択します。
9	カラー	印刷ジョブをカラーで印刷するか、白黒で印刷するかを選択します。

■【仕上げ】 タブ

このタブでは、印刷方式、両面印刷、ページ集約、ホチキス印刷、パンチ印刷、ポスター印刷などフィニッシュ機能に関する設定を行います。



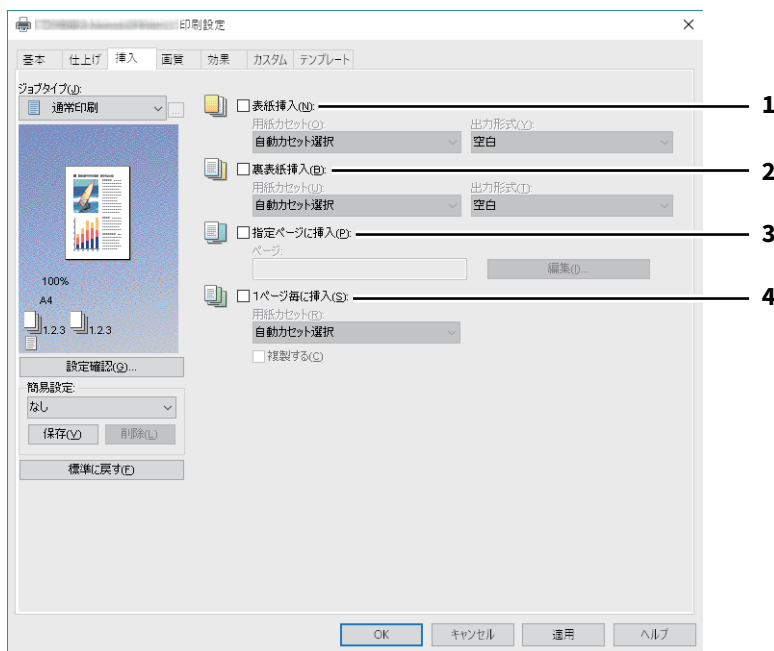
	項目名	機能説明
1	印刷方式	複数部数の印刷を行うときに、どのようにソートするかを設定します。
2	両面印刷	用紙の両面に印刷をします。両面印刷をする場合は、とじしろの位置を選択します。
3	ページ集約	複数のページを1枚の用紙に印刷します。指定した用紙サイズに収まるように印刷イメージを自動的に縮小して印刷します。
4	ホチキス	部ごとに用紙をホチキス留めする場合は、留め位置を選択します。
5	パンチ	印刷文書にパンチ処理（とじ用の穴開け）を行う場合は、パンチ位置を選択します。
6	中折り	用紙を中折りして出力します。ほかの印刷設定に基づき文書を用紙に印刷した後、用紙の中央で中折りして排紙します。
7	余白を編集する	ページの余白を設定する場合に選択します。
8	ポスター印刷	1つの印刷ジョブを複数の用紙に分割して印刷します。

■ [挿入] タブ

このタブでは、表紙や裏表紙の印刷または挿入、ページ間への空白シートの挿入や、指定したページを別シートに印刷する設定を行います。

注意

- インデックス紙印刷が設定されている場合、[表紙挿入]、[裏表紙挿入]、[指定ページに挿入]、[1ページ毎に挿入] は実行できません。
- 同じサイズの下紙を挿入するときは、本機の給紙元カセットの下紙種類を変更するか、[基本] タブで下紙カセットを選択しないと、挿入するカセットからすべて印刷されてしまいますので注意してください。
- ジョブタイプで [本体に保存] を選択した場合、[表紙挿入]、[裏表紙挿入]、[指定ページに挿入]、[1ページ毎に挿入] の設定は無効となります。



	項目名	機能説明
1	表紙挿入	表紙印刷を設定します。
2	裏表紙挿入	裏表紙印刷を設定します。
3	指定ページに挿入	ページ間へのシート挿入印刷を設定します。
4	1ページ毎に挿入	印刷ジョブの各ページの間にそれぞれ用紙を挿入します。

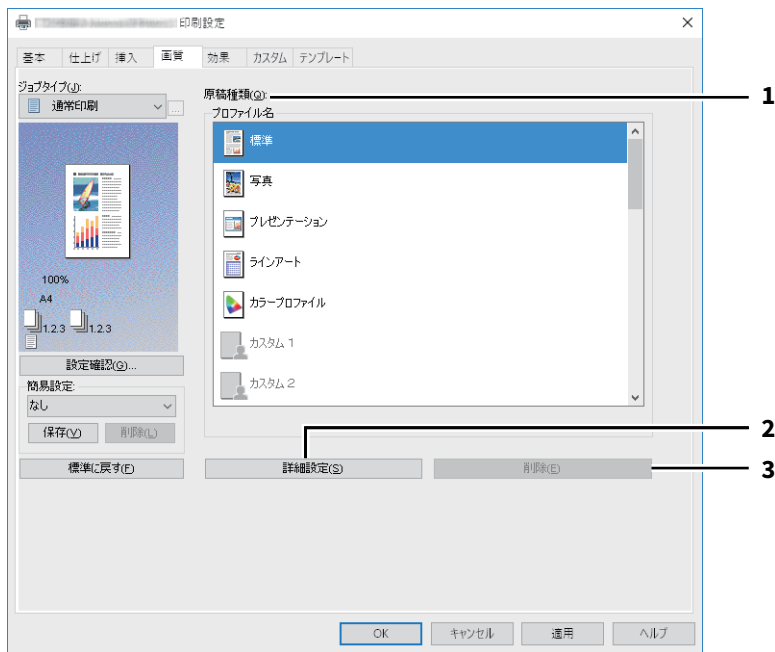
■ [画質] タブ

このタブでは、ページイメージをどのように印刷するかを設定します。文書の種類に応じた適切な画質を選択できます。

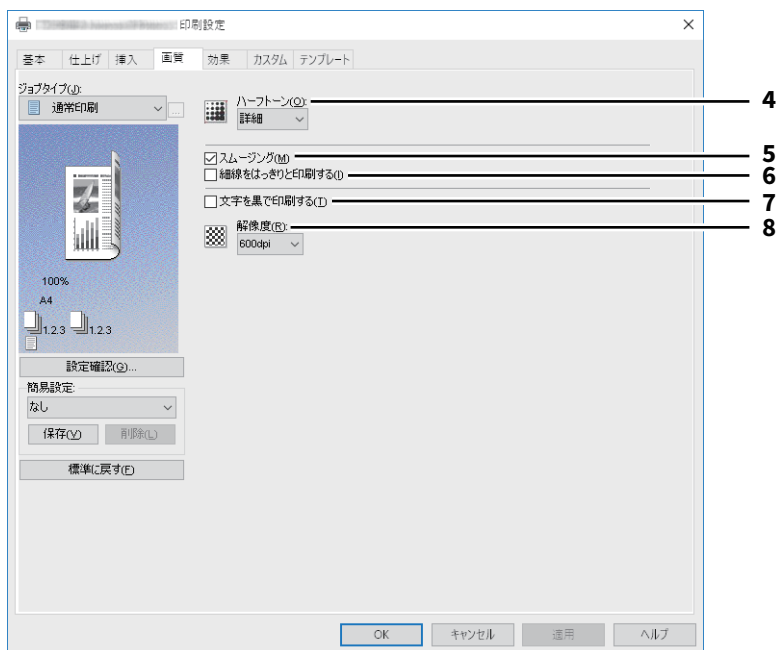
注意

お使いになる機種がカラー MFPかモノクロMFPかによって設定できる項目が異なります。

カラー MFPの場合



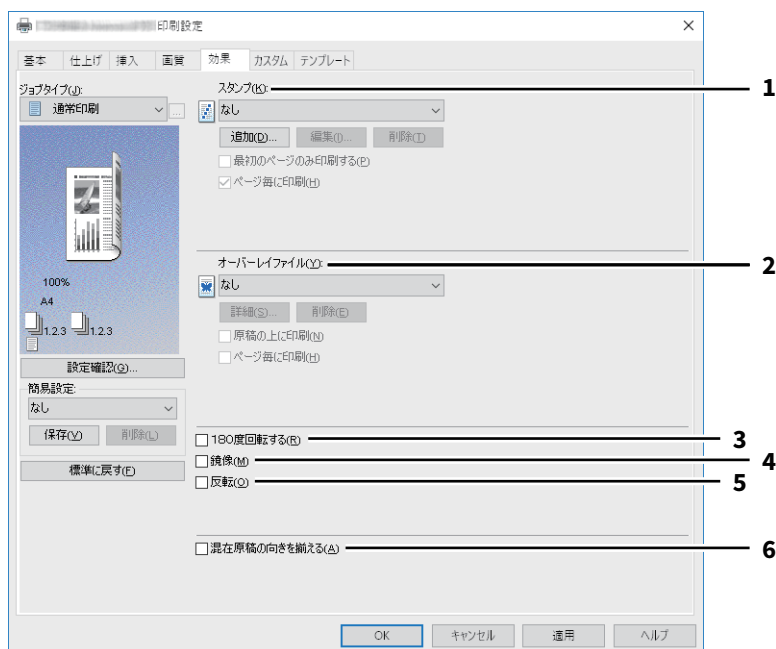
モノクロMFPの場合



	項目名	機能説明
1	原稿種類	ジョブタイプの選択に応じて画像をどのように印刷するかを設定します。
2	[詳細設定]	原稿種類をカスタマイズします。
3	[削除]	選択したカスタム原稿種別を削除します。
4	ハーフトーン	ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
5	スムージング	テキストやグラフィックスの縁をなめらかに印刷する場合に選択します。
6	細線をはっきりと印刷する	細線をはっきりと印刷する場合に選択します。
7	文字を黒で印刷する	白文字を除き、テキストをすべて黒で印刷する場合に選択します。
8	解像度	印刷の解像度を設定します

■ [効果] タブ

このタブでは、スタンプ、オーバーレイファイル印刷、回転印刷、鏡像印刷、白黒反転印刷など印刷ジョブの体裁をより整える設定を行います。



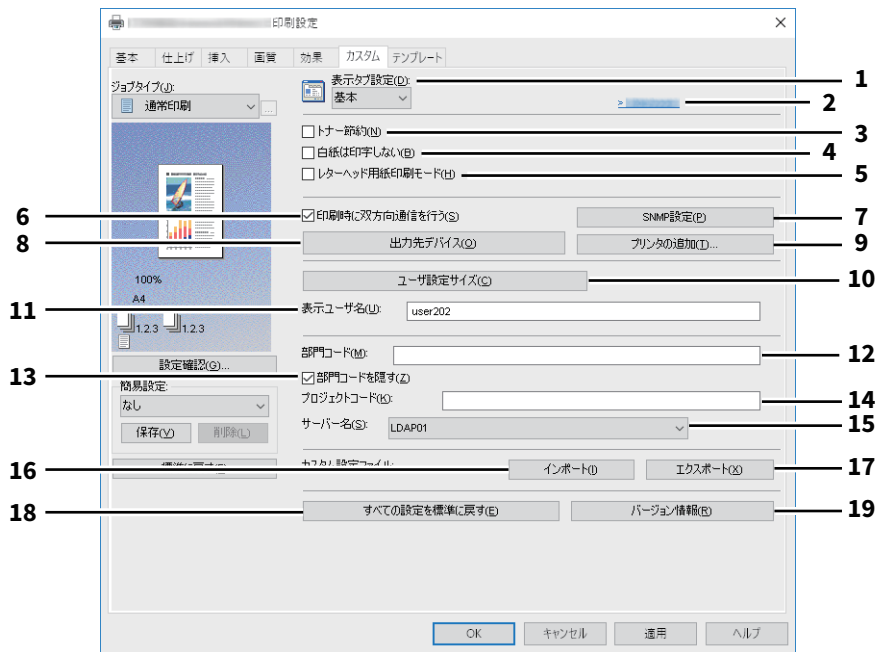
	項目名	機能説明
1	スタンプ	使用または編集するスタンプを選択します。
2	オーバーレイファイル	オーバーレイファイルを選択します。
3	180度回転する	ページ全体を180度回転させて印刷します。
4	鏡像 *1	ページ全体を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。
5	反転 *2	印刷イメージを白黒反転させて印刷します。
6	混在原稿の向きを揃える	原稿の用紙サイズと原稿の縦横の向きが混在する場合、印刷結果の縦横の向きを揃えることができます。

*1 Universal Printer 2(PostScript) / Universal XPSプリンタドライバでのみ有効

*2 Universal Printer 2(PostScript) / Universal XPS / Universal PS3プリンタドライバでのみ有効

■ [カスタム] タブ

このタブでは、表示タブ設定やトナー節約、白紙は印字しない、ユーザ設定サイズなど、特殊な機能について設定します。



	項目名	機能説明
1	表示タブ設定	プリンタドライバを開いたときに、最初に表示されるタブを設定します。
2	TopAccess (リンク)	Webブラウザを起動してTopAccessを表示します。
3	トナー節約	トナー節約モードで印刷します。
4	白紙は印字しない	印刷原稿の白紙ページを印刷しません。
5	レターヘッド用紙印刷モード	片面にイラストが印刷されているなど、表と裏を使い分けたい用紙で両面印刷を行います。
6	印刷時に双方向通信を行う	印刷時に本機との双方向通信を行い、情報を取得する場合に選択します。
7	[SNMP設定]	SNMP設定の変更または確認を行う場合にクリックします。
8	[出力先デバイス]	印刷に使用する機体を変更したり、1つの印刷ジョブを2台の機体に分散させて印刷 (タンデム印刷) することができます。
9	[プリンタの追加]	ネットワーク上にあるe-STUDIO SeriesおよびLoops Seriesの機体を検索して、[プリンタ] に追加することができます。
10	[ユーザ設定サイズ]	ユーザ設定サイズを定義します。
11	表示ユーザ名	必要に応じて、プライベート印刷ジョブ一覧、ホールド印刷ジョブ一覧に表示されるユーザ名を入力します。
12	部門コード	ユーザの部門コードを入力します。部門コードの入力は、本機が部門コードで管理されているときに必要となります。
13	部門コードを隠す	部門コードを伏せ字で表示する場合に選択します。
14	プロジェクトコード	プロジェクトコードを入力します。
15	サーバー名	必要に応じて指定したいLDAPサーバーを選択します。
16	[インポート]	テンプレート、スタンプ、オーバーレイ、原稿種類、ユーザ設定サイズ、簡易設定のカスタム設定内容をプリンタドライバにインポートします。

	項目名	機能説明
17	[エクスポート]	テンプレート、スタンプ、オーバーレイ、原稿種類、ユーザ設定サイズ、簡易設定のカスタム設定内容をエクスポートします。
18	[すべての設定を標準に戻す]	[デバイス設定] タブを除くすべてのタブの印刷設定を初期値に戻します。
19	[バージョン情報]	プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

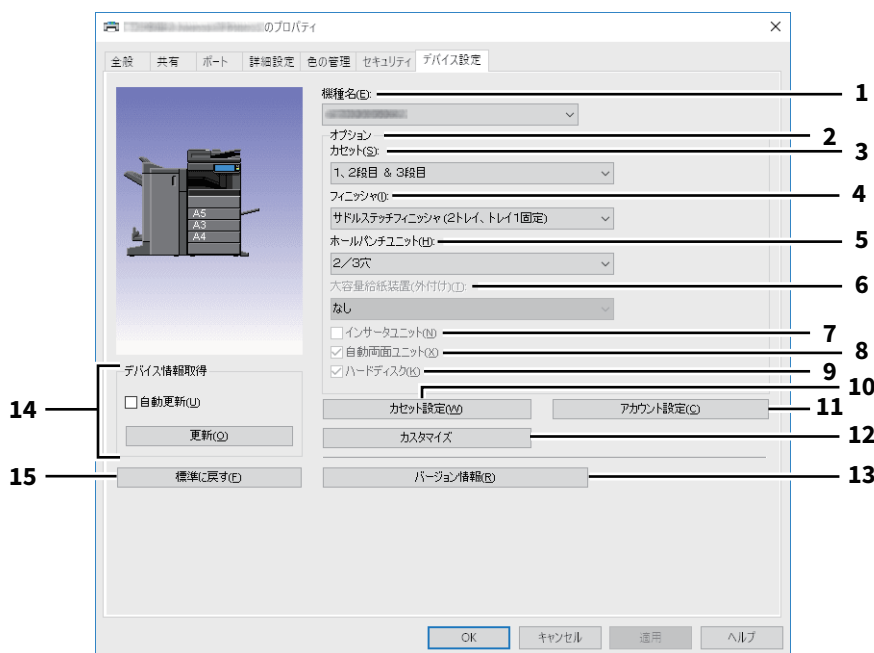
■ [デバイス設定] タブ

このタブでは、オプション機器の構成を設定します。装着されたオプション機器を使用するには、[デバイス設定] タブでオプション構成を設定する必要があります。

注意

[デバイス設定] タブは、[デバイスとプリンター] フォルダ（Windows Vista/Windows Server 2008では [プリンタ] フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ設定できます。詳細は、以下を参照してください。

📖 P.80 「オプション機器を手動で設定する」



	項目名	機能説明
1	機種名	お使いになる機体のモデル名を選択します。
2	オプション	オプション機器が装着されているかを選択します。
3	カセット	給紙ユニット（2段目カセット）、多段給紙装置（3段目カセット）、追加給紙カセット（4段目カセット）、または大容量給紙装置が装着されているかを設定します。
4	フィニッシャ	フィニッシャの装着を設定します。
5	ホールパンチユニット	ホールパンチユニットの装着を設定します。
6	大容量給紙装置（外付け）	大容量給紙装置（外付け）の装着を設定します。
7	インサータユニット	インサータが装着されている場合に、選択します。
8	自動両面ユニット	自動両面ユニットが装着されている場合に、選択します。
9	ハードディスク	ハードディスクが装着されている場合に、選択します。
10	[カセット設定]	各カセットの用紙サイズ、用紙種類、使用目的を設定します。
11	[アカウント設定]	ユーザ認証の有効/無効、およびプライベート/ホールド印刷限定機能を設定します。
12	[カスタマイズ]	PCL6やPostScript固有の機能を設定したり、プラグイン設定やプリンタドライバの表示言語を変更することができます。
13	[バージョン情報]	クリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を表示します。
14	デバイス情報取得	本機と双方向通信を行い、オプション構成の情報を取得します。
15	[標準に戻す]	[デバイス設定] タブで表示されている本機の構成を、初期設定に戻します。

■ [テンプレート] タブ

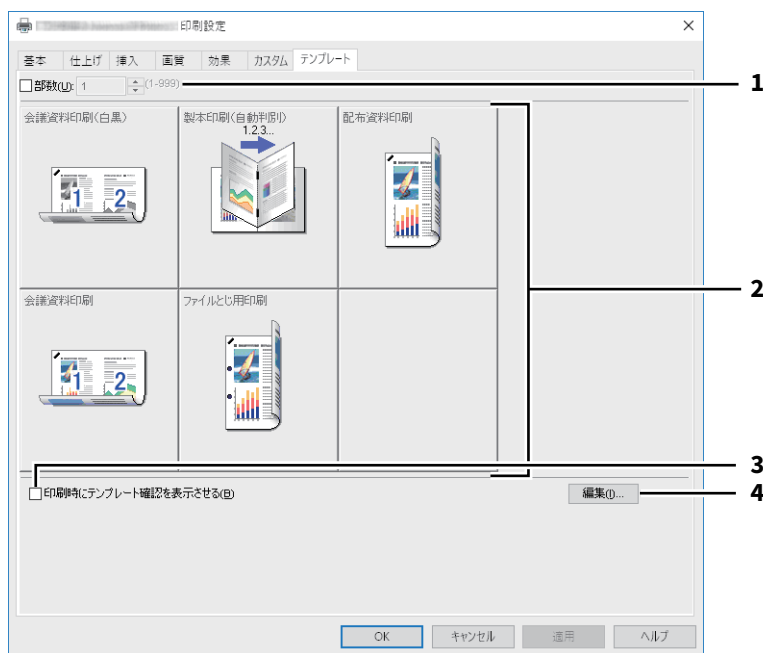
本機では、よく使う印刷設定などを簡易設定として登録しておくことができます。このタブでは、登録されている簡易設定をテンプレートボタンに割り当てて使用することができます。印刷の実行時に自動的にテンプレートボタンの選択画面を表示させることもできます。

📖 P.77 「テンプレートボタンで設定して印刷する」

補 足

テンプレートボタンを利用するには、簡易設定の登録が必要です。簡易設定の登録方法については、以下を参照してください。

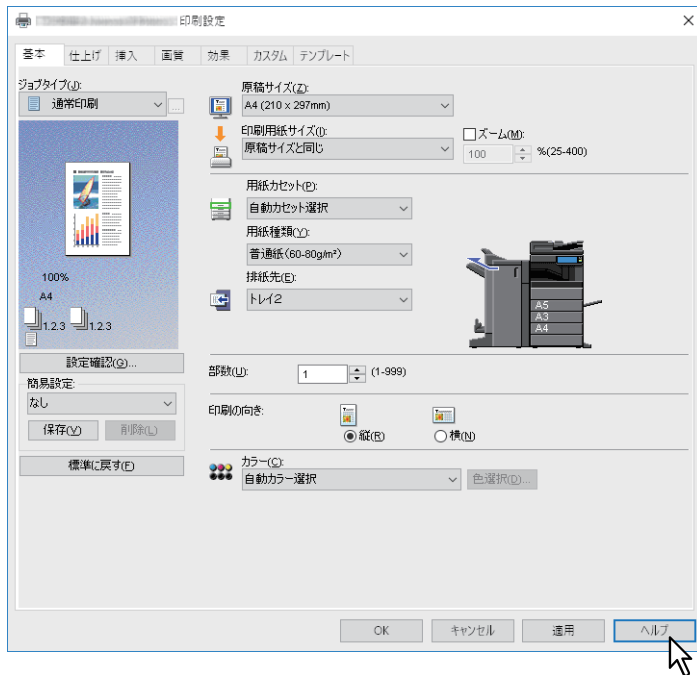
📖 P.74 「簡易設定を保存する」



	項目名	機能説明
1	部数	印刷部数を指定します。
2	テンプレートボタン	ボタンに割り当てられた簡易設定がプリンタドライバの各設定に反映されます。
3	印刷時にテンプレート確認を表示させる	選択すると、印刷の実行時に「テンプレート」ダイアログボックスが自動的に表示されるようになります。
4	[編集]	テンプレートボタンを編集します。クリックすると「テンプレートの編集」ダイアログボックスが表示されます。

■ プリンタドライバヘルプについて

プリンタドライバ画面で [ヘルプ] ボタンをクリックすると、プリンタドライバのヘルプが表示されます。



Mac OSアプリケーションから印刷する

基本的な印刷手順 (Mac OS X 10.6.x ~ Mac OS X 10.11.x)	101
印刷方法	101
部門コードやユーザ名の入力が必要なときは	102
用紙や倍率に関する設定	103
定形用紙を選ぶ	103
さまざまな用紙を使って印刷する	106
拡大、縮小する	109
印刷の向きを変える	110
排紙先を選択する	111
レイアウトや仕上がりに関する設定	112
1部ごと仕分けして排紙する (丁合い)	112
両面印刷する	114
本や雑誌のようなページ構成で印刷する (製本)	115
複数ページを1枚の用紙に印刷する	116
ページの順番を逆にして印刷する	117
奇数 (または偶数) ページのみを印刷する	117
ホチキス留めにする	118
パンチ穴をあける	120
用紙の中央で中折りして印刷する	121
節約に関する機能	122
両面印刷する	39
複数ページを1枚の用紙に印刷する	39
白紙は印刷しないようにする	122
トナーを節約する	123
表紙やページ間に別の用紙を挿入する	124
表紙および裏表紙を挿入する	124
バナーページを挿入する	125
色や画質に関する設定	126
印刷色を指定する	126
印刷時の版ズレを防ぐ	129
原稿に合わせて画質を選択する	130
画質を調整したいときは	132
印刷内容を付加する機能	138

文書上に薄い文字を重ねて印刷する (スタンプ).....	138
本体にジョブを保存してから出力する.....	139
指定した日時にジョブを印刷する (予約印刷)	139
機密文書やサンプル印刷を設定する	140
本体のボックスに保存する (本体に保存)	141
印刷設定の保存.....	142
設定内容の確認/注意事項	143
印刷設定の内容や消耗品を確認する	143
注意事項について	143
プリンタドライバの機能概要	144
プリンタドライバの表示方法	144
「ページ設定」ダイアログボックス	145
「プリント」ダイアログボックス.....	145

基本的な印刷手順 (Mac OS X 10.6.x ~ Mac OS X 10.11.x)

インストールガイドの「プリンタのインストール (Mac OS X 10.6.x ~ Mac OS X 10.11.x)」で説明している手順でPPDファイルのインストールを完了すれば、ほとんどのMac OS Xのアプリケーションから印刷を行うことができます。

☞ P.101 「印刷方法」

☞ P.102 「部門コードやユーザ名の入力が必要なときは」

■ 印刷方法

すべてのプリンタはシステム環境設定のプリンタとファクスで管理されており、プリンタを印刷前に切り替える必要はありません。

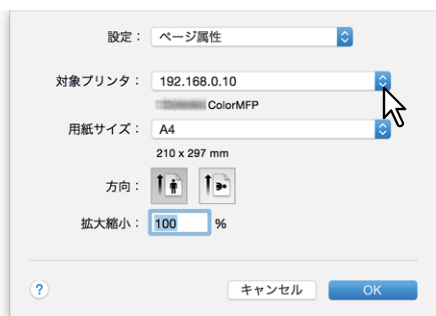
プリンタリストにプリンタを追加すれば、「ページ設定」ダイアログボックスまたは「プリント」ダイアログボックスからすべてのプリンタを直接選択できます。

Mac OSアプリケーションから印刷する場合は、印刷機能を「ページ設定」ダイアログボックスおよび「プリント」ダイアログボックスで設定します。

注意

「ページ設定」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なる場合があります。また、アプリケーションによっては [ファイル] メニューには存在せず、「プリント」ダイアログボックスに設定が含まれている場合があります。

- 1 文書を開き、[ファイル] メニューで [ページ設定] (または [用紙設定]) を選択します。
- 2 [対象プリンタ] から本機を選択し、ページ設定を行います。



- 3 [OK] をクリックし、設定を保存します。
- 4 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 5 [プリンタ] から本機を選択し、印刷設定をセットアップします。



補足

- 「プリント」ダイアログボックスの表示はアプリケーションによって異なることがあります。
- 各設定項目の並び方は、お使いになるMac OSの種類により異なることがあります。

6 【プリント】 をクリックします。

補 足

【プリセット】 で【現在の設定をプリセットとして保存】 を選択し、設定内容に名前を付けて保存することができます。設定内容を初期値として使用する場合は、【プリセット】 で使用するプリセットを選択します。

■ 部門コードやユーザ名の入力が必要なときは

本機が部門コードで管理されている場合、印刷時に部門コードを入力する必要があります。部門管理機能を使用すると、管理者は部門ごとの印刷部数を確認できます。ユーザは本機の操作パネルまたはジョブ監視ツールから各ユーザの印刷ジョブを確認できます。

補 足

- 部門コードおよびプロジェクトコードは1～63桁の英数字で指定します。プロジェクトコードについては、サービスエンジニアにお問い合わせください。
- 部門コードに入力できる文字は、0～9までの数字、a～zおよびA～Zまでのアルファベット、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ピリオド）の半角文字のみです。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【ジョブタイプ】メニューの【部門コード】を選択して、右横のボックスに部門コードを入力します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】 をクリックし、印刷ジョブを送信します。

用紙や倍率に関する設定

- 📖 P.103 「定形用紙を選ぶ」
- 📖 P.106 「さまざまな用紙を使って印刷する」
- 📖 P.109 「拡大、縮小する」
- 📖 P.110 「印刷の向きを変える」
- 📖 P.111 「排紙先を選択する」

■ 定形用紙を選ぶ

印刷目的に合わせて用紙を設定します。

- 📖 P.103 「用紙サイズを指定する」
- 📖 P.104 「給紙元を選択する」
- 📖 P.105 「用紙種類を指定する」

注意

「ページ設定」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なることがあります。また、アプリケーションによっては「ファイル」メニューには存在せず、「プリント」ダイアログボックスに設定が含まれている場合があります。

□ 用紙サイズを指定する

印刷に使用する用紙サイズを選択します。

- 1 アプリケーションの「ファイル」メニューで「ページ設定」（または「用紙設定」）を選択します。
- 2 「ページ属性」メニューの「用紙サイズ」で、使用する用紙のサイズを選択します。



- A3 (297 x 420 mm)
- A4 (210 x 297 mm)
- A5 (148 x 210 mm)
- B4 (257 x 364 mm)
- B5 (182 x 257 mm)
- Folio (210 x 330 mm)
- 305 x 457 mm
- 12 x 18"
- はがき (100 x 148 mm)
- Letter (8 1/2 x 11")
- Legal (8 1/2 x 14")
- Ledger (11 x 17")
- Statement (5 1/2 x 8 1/2")
- Computer (10 1/8 x 14")
- 13" LG (8 1/2 x 13")
- 8.5" SQ (8 1/2 x 8 1/2")
- A3ノビ (13 x 19")
- 16K (195 x 270 mm)
- 8K (270 x 390 mm)
- 320 x 450 mm
- 320 x 460 mm
- 封筒 COM10 (4 1/8 x 9 1/2")
- 封筒 Monarch (3 7/8 x 7 1/2")
- 封筒 長形6号 (110 x 220 mm)
- 封筒 長形3号 (120 x 235 mm)
- 封筒 洋形4号 (105 x 235 mm)

注意

- [A3ノビ (13 x 19")] は、以下の機種をお使いの場合にのみ有効となります。
 - e-STUDIO7506AC Series
 - e-STUDIO8508A Series
- [305 x 457 mm]、[12 x 18"]、[320 x 450 mm] および [320 x 460 mm] は、以下の機種をお使いの場合にのみ有効となります。
 - e-STUDIO5005AC Series
 - e-STUDIO7506AC Series
 - e-STUDIO8508A Series
- 以下の機種をお使いの場合は、[320 x 450 mm] および [320 x 460 mm] で両面印刷はできません。
 - e-STUDIO5005AC Series
- 設定できる項目は、お使いになる機種により異なります。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。
- 4 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 5 [プリンタ] から本機を選択し、印刷設定をセットアップします。
- 6 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 給紙元を選択する

用紙の給紙元を選択します。はじめのページと残りのページに異なった給紙元を設定することもできます。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [給紙] メニューで給紙元を指定します。



すべてのページ：すべてのページに同じ給紙元を使用する場合は、右のボックスで使用する給紙元を選択します。[自動選択] を選んだ場合は、原稿と同じ用紙サイズのカセットから給紙します。[手差しトレイ] を選択した場合は、手差しトレイに用紙を置いてください。

補足

Mac OS X 10.6.x～10.8.xでは、[すべてのページ] は [全体] と表示されます。

先頭ページのみ／残りのページ：先頭ページとそのほかのページに異なる給紙元を使用する場合は、[先頭ページのみ] および [残りのページ] で給紙元を選択します。[自動選択] を選んだ場合は、原稿と同じ用紙サイズのカセットから給紙します。[手差しトレイ] を選択した場合は、手差しトレイに用紙を置いてください。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 用紙種類を指定する

印刷に使用する用紙の種類を選択します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【仕上げ】メニューの【用紙種類】ボックスで用紙種類を指定します。はじめのページと残りのページに異なった用紙種類を設定することもできます。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ さまざまな用紙を使って印刷する

用紙をセットする際に注意が必要となる印刷の手順を説明します。

📖 P.106 「はがきに印刷する」

📖 P.107 「カスタム用紙サイズを登録して印刷する」

□ はがきに印刷する

手差しトレイよりはがきを印刷する方法を説明します。

注意

- 郵便はがきに印刷できます。インクジェット用はがき、写真用はがき、往復はがき、私製はがきには印刷できません。
- お使いの機種によっては、はがき印刷は利用できません。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【ページ設定】（または【用紙設定】）を選択します。
- 2 【ページ属性】メニューの【用紙サイズ】で【はがき】を選択し、【OK】をクリックします。



- 3 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 4 【仕上げ】メニューの【用紙種類】で【厚紙2】を選択します。

注意

e-STUDIO5008A Seriesをお使いの場合は、【厚紙3】を選択してください。

- 5 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 6 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。
- 7 はがきの下側（後端）を機体の方に向けて、印刷する面を下にしてセットします。
- 8 サイドガイドをはがきの幅に合わせます。
手差しトレイへのはがきのセット方法は、[用紙準備ガイド](#)を参照してください。
- 9 タッチパネルの【状況確認】を押します。
- 10 用紙種類の選択画面で、【厚紙2】を押します。

注意

e-STUDIO5008A Seriesをお使いの場合は、【厚紙3】を選択してください。

- 11 【スタート】ボタンを押します。

□ カスタム用紙サイズを登録して印刷する

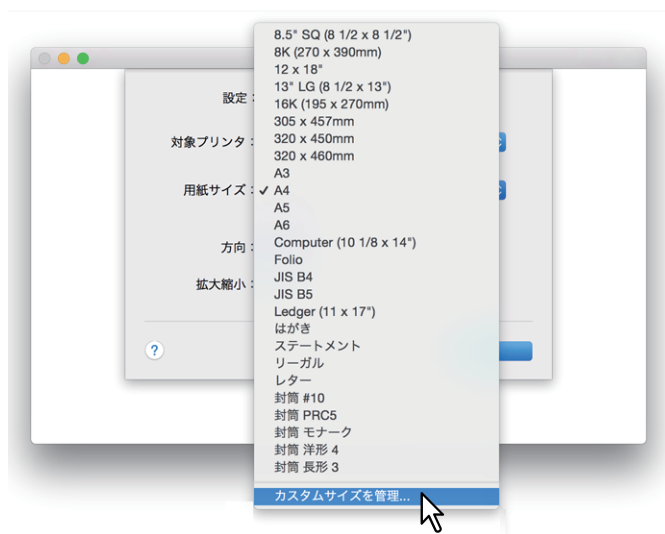
カスタムサイズの内紙を登録する方法を説明します。

注意

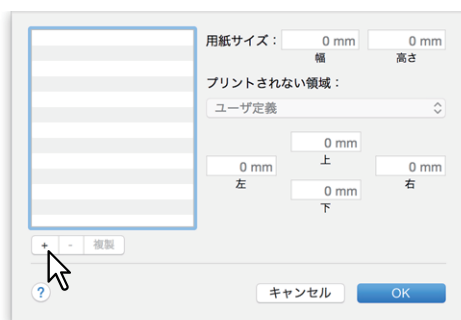
- 定形サイズより長いカスタムサイズの用紙を使用するときは、用紙のセット時および排紙時に注意が必要です。詳細は用紙準備ガイドを参照してください。
- 設定できるカスタム用紙サイズについては、仕様ガイドの非定形サイズを参照してください。

カスタム用紙サイズを作成する

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【ページ設定】（または【用紙設定】）を選択します。
- 2 【用紙サイズ】で【カスタムサイズを管理】を選択します。



- 3 【+】をクリックします。

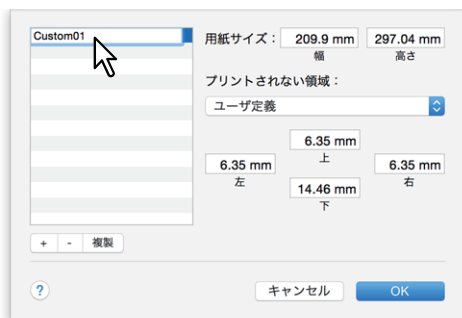


新しいカスタム用紙サイズ名が一覧に追加されます。

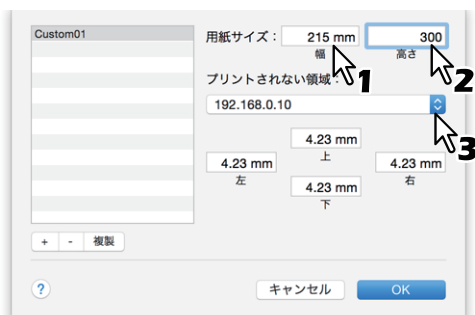
補足

既存のカスタム用紙サイズの設定を複製して、新しいカスタム用紙サイズを作成する場合は、カスタム用紙サイズを選択し、【複製】をクリックします。

4 追加されたカスタム用紙サイズ名をダブルクリックし、カスタム用紙サイズ名を変更します。



5 [用紙サイズ] に幅と高さを入力し、[プリントされない領域] で本機のプリンタ名を選択します。



補 足

- Mac OS X 10.6.x～10.7.xをお使いの場合は、[用紙サイズ] に幅と高さを入力し、[プリントされない領域] で本機プリンタ名を選択します。
- 余白設定は、[プリントされない領域] で本機プリンタ名を選択したときに自動的に入力される値を使用してください。
- 作成したカスタム用紙サイズは、[-] をクリックすると削除することができます。

6 [OK] をクリックします。

カスタム用紙サイズの設定が保存され、[ページ属性] メニューの [用紙サイズ] で選択できるようになります。

📖 P.103 「用紙サイズを指定する」

■ 拡大、縮小する

指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小します。倍率は手動で設定することもできます。

📖 P.109 「用紙サイズに合わせる」

📖 P.109 「倍率を指定する」

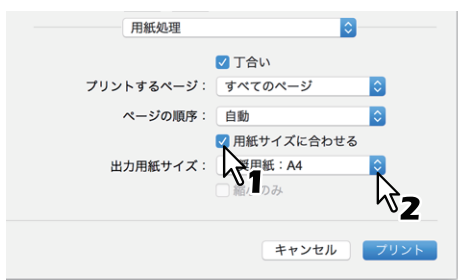
□ 用紙サイズに合わせる

指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小して印刷します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【用紙処理】メニューで【用紙サイズに合わせる】を選択し、用紙サイズを選択します。

補 足

文書サイズより大きい用紙に印刷する場合、拡大せずに印刷したいときは、【縮小のみ】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 倍率を指定する

拡大縮小の倍率を手動で設定します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【ページ設定】（または【用紙設定】）を選択します。
- 2 【ページ属性】メニューの【拡大縮小】の倍率を入力します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【OK】をクリックします。
- 4 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 5 【プリンタ】から本機を選択し、印刷設定をセットアップします。
- 6 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 印刷の向きを変える

排紙される用紙の向きを逆にしたり、ページ全体の左右を反転させて印刷します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【レイアウト】メニューの【ページの方向を反転】または【左右反転】を選択します。



【ページの方向を反転】をオンにすると、用紙の上端が本機のタッチパネル側に排紙されます。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 排紙先を選択する

印刷ジョブが出力される排紙先トレイを選択します。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【仕上げ】メニューの【排出先】で排紙先を選択します。



排紙先

- **プリンタのデフォルト**：デフォルト排紙トレイ（TopAccessのプリンタ設定ページにある [Raw印刷ジョブ_排紙トレイ] に設定された排紙先）に排紙します。
- **排紙トレイ**：排紙トレイに排紙します。
- **上トレイ**：上部の排紙トレイに排紙します。
- **横トレイ**：横排紙トレイに排紙します。
- **インナー上トレイ**：インナートレイの上段排紙トレイに排紙します。
- **インナー下トレイ**：インナートレイの下段排紙トレイに排紙します。
- **トレイ1**：フィニッシャの上段排紙トレイに排紙します。
- **トレイ2**：フィニッシャの下段排紙トレイに排紙します。

注意

- 選択できる排紙先は、お使いになる機種、およびオプションの装着状態によって異なります。
- フィニッシャの種類によって、指定した排出先でホチキスやパンチがされない場合があります。
- 出力先に [プリンタのデフォルト] を選んだ場合、本機の設定により、ホチキスやパンチのされないトレイに排出されることがあります。
- [トレイ1] および [トレイ2] は、フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ装着時のみ有効です。
- [横トレイ] は、フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ未装着時のみ有効です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

レイアウトや仕上がりに関する設定

- 📖 P.112 「1部ごと仕分けして排紙する（丁合い）」
- 📖 P.114 「両面印刷する」
- 📖 P.115 「本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）」
- 📖 P.116 「複数ページを1枚の用紙に印刷する」
- 📖 P.117 「ページの順番を逆にして印刷する」
- 📖 P.117 「奇数（または偶数）ページのみを印刷する」
- 📖 P.118 「ホチキス留めにする」
- 📖 P.120 「パンチ穴をあける」
- 📖 P.121 「用紙の中央で中折りして印刷する」

■ 1部ごと仕分けして排紙する（丁合い）

部単位に仕分けして印刷します（ソート印刷）。

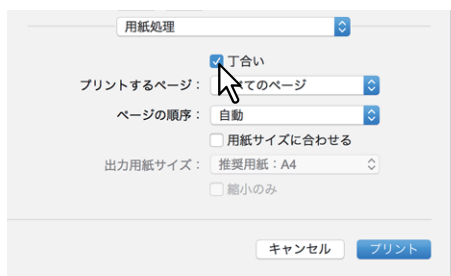
- 📖 P.112 「「用紙処理」メニューで丁合いを設定する」
- 📖 P.113 「「プリント」ダイアログボックスで丁合いを設定する」

注意

- 「プリント」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なることがあります。
- 各設定項目の並び方は、お使いになるMac OSの種類により異なることがあります。

□ 「用紙処理」メニューで丁合いを設定する

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【用紙処理】メニューで【丁合い】を選択します。



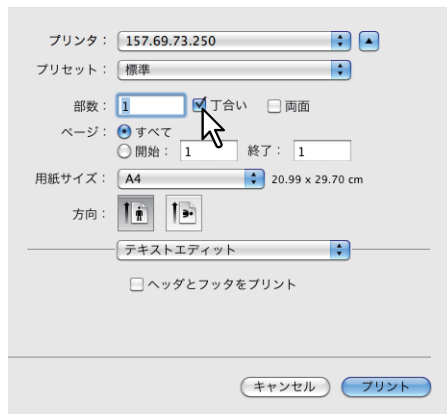
- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 「プリント」 ダイアログボックスで丁合いを設定する

注意

この機能は、Mac OS X 10.6.xをお使いの場合のみ有効です。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [丁合い] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

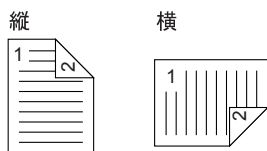
■ 両面印刷する

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [レイアウト] メニューの [両面] で [長辺とじ] または [短辺とじ] を選択します。

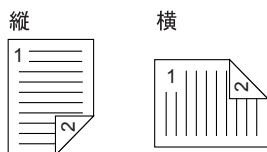


両面

- **長辺とじ**：用紙の長い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。



- **短辺とじ**：用紙の短い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 本や雑誌のようなページ構成で印刷する（製本）

製本印刷を選択すると、本や雑誌と同じような印刷物を作成することができます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【製本】メニューで【製本を有効】を選択します。
- 3 製本の詳細を設定します。



中央余白（0～36 pt）：見開き印刷されるページの中央の余白を選択します。スクロールバーを使って3 pt単位で設定します。（1 pt = 0.353 mm）

外側余白（0～36 pt）：ページの上下左右の余白を選択します。スクロールバーを使って6 pt単位で設定します。（1 pt = 0.353 mm）

左から右/右から左：製本印刷の向きを選択します。

- 4 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 5 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 複数ページを1枚の用紙に印刷する

複数ページを1枚の用紙にレイアウトします（ページ集約印刷）。ページの多い文書の体裁を確認したい場合などに便利です。たとえば、ページが長いWebページや、プレゼンテーション用ドキュメントなどにページ集約印刷を使用すると、効率的に文書の全体を確認することができます。また、用紙の使用量を削減することもできます。

1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。

2 【レイアウト】メニューを設定します。



ページ数/枚：複数ページを1枚の用紙に印刷します。印刷イメージは指定した用紙サイズに収まるように印刷イメージを自動的に縮小して印刷します。

- 1：通常印刷します。
- 2：2ページを1枚の用紙に印刷します。
- 4：4ページを1枚の用紙に印刷します。
- 6：6ページを1枚の用紙に印刷します。
- 9：9ページを1枚の用紙に印刷します。
- 16：16ページを1枚の用紙に印刷します。

レイアウト方向：ページをレイアウトする方向を設定します。[ページ/数] でページ集約印刷を選択したときに設定できます。

- **左上から右下へ（横方向優先）**：ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べます。
- **右上から左下へ（横方向優先）**：ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べます。
- **左上から右下へ（縦方向優先）**：ページを左上から右下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べます。
- **右上から左下へ（縦方向優先）**：ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べます。

境界線：各ページに枠線を付けてページ集約印刷するかを選択します。

- **なし**：枠線を付けずにページ集約印刷します。
- **極細線**：各ページに極細の枠線を付けてページ集約印刷します。
- **細線**：各ページに細い枠線を付けてページ集約印刷します。
- **極細2本線**：各ページに極細の二重枠線を付けてページ集約印刷します。
- **細2本線**：各ページに細い二重枠線を付けてページ集約印刷します。

3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。

4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ ページの順番を逆にして印刷する

逆順印刷を設定します。

補足

用紙処理メニューに表示される設定は、お使いのMac OSの種類によって異なります。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【用紙処理】メニューの【ページの順序】で【逆送り】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 奇数（または偶数）ページのみを印刷する

すべてのページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみを印刷するかを選択します。

補足

用紙処理メニューに表示される設定は、お使いのMac OSの種類によって異なります。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【用紙処理】メニューの【プリントするページ】（または【プリント】）で【奇数ページのみ】または【偶数ページのみ】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ ホチキス留めにする

部ごとに用紙をホチキス留めにして出力することができます。

注意

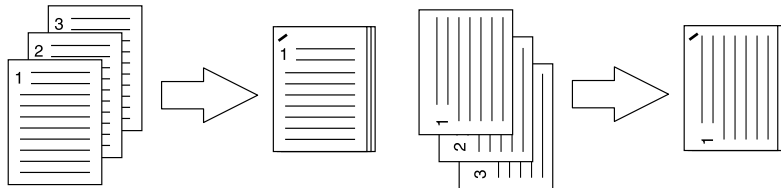
ホチキス印刷は、フィニッシャ装着時のみ有効です。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【仕上げ】メニューの【ホチキス】でホチキス留めの位置を指定します。

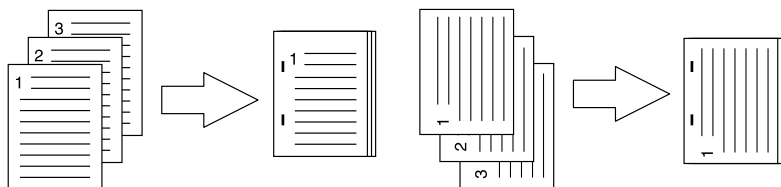


ホチキス

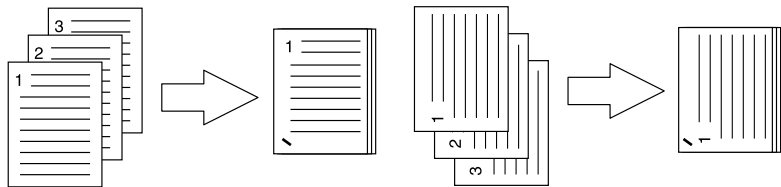
- **オフ**：ホチキス留めをしません。
- **左上側（縦置き）／右上側（横置き）**：縦型文書の左上部をホチキス留めします。または、横型文書の右上部をホチキス留めします。



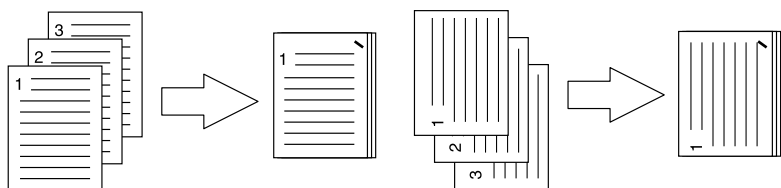
- **左側（縦置き）／上側（横置き）**：縦型文書の左側を2か所ホチキス留めします。または、横型文書の上部を2か所ホチキス留めします。



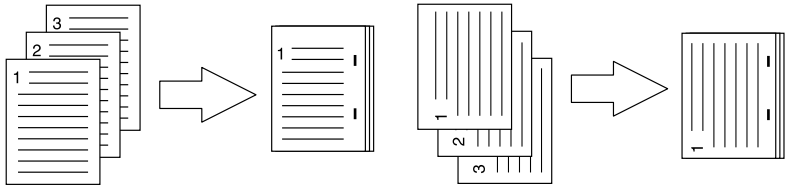
- **左下側（縦置き）／左上側（横置き）**：縦型文書の左下部をホチキス留めします。または、横型文書の左上部をホチキス留めします。



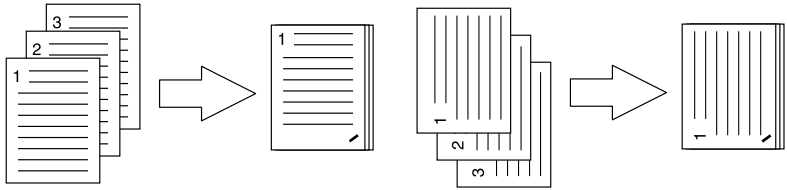
- **右上側（縦置き）／右下側（横置き）**：縦型文書の右上部をホチキス留めします。または、横型文書の右下部をホチキス留めします。



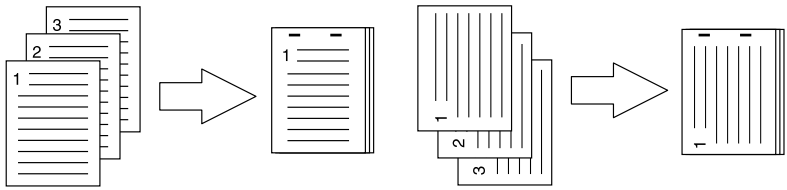
- **右側（縦置き）／下側（横置き）**：縦型文書の右側を2か所ホチキス留めします。または、横型文書の下部を2か所ホチキス留めします。



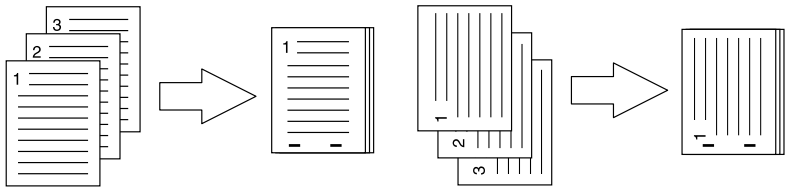
- **右下側（縦置き）／左下側（横置き）**：縦型文書の右下部をホチキス留めします。または、横型文書の左下部をホチキス留めします。



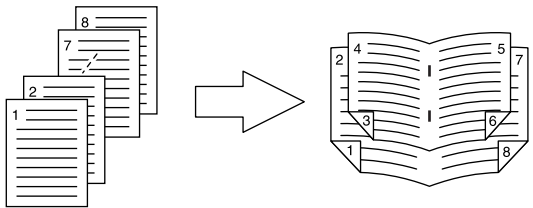
- **上側（縦置き）／右側（横置き）**：縦型文書の上部を2か所ホチキス留めします。または、横型文書の右側を2か所ホチキス留めします。



- **下側（縦置き）／左側（横置き）**：縦型文書の下部を2か所ホチキス留めします。または、横型文書の左側を2か所ホチキス留めします。



- **中央（縦置き）／中央（横置き）**：製本印刷を行う際に、用紙の中央を2か所ホチキス留めします。この機能は、製本印刷を実行するときのみ選択してください。



注意

[中央（縦置き）／中央（横置き）] は、サドルステッチフィニッシャ装着時にのみ有効です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■パンチ穴をあける

印刷用紙にとじるための穴を開けて排紙することができます。

注意

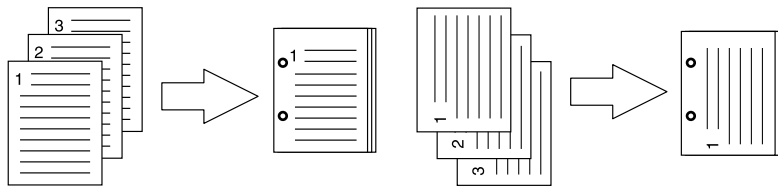
パンチ印刷は、ホールパンチユニット装着時のみ有効です。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【仕上げ】メニューの【パンチ】でパンチ穴の位置を指定します。

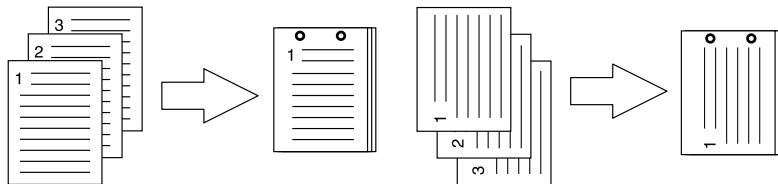


パンチ

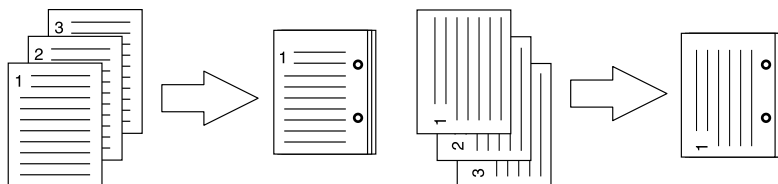
- **オフ**：パンチ処理をしません。
- **長尺側へ穴あけ**：縦型文書の左側にパンチ処理をします。または、横型文書の上部にパンチ処理をします。



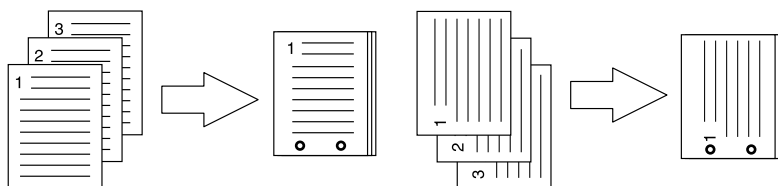
- **短尺側へ穴あけ**：縦型文書の上部にパンチ処理をします。または、横型文書の右側にパンチ処理をします。



- **長尺側へ穴あけ (画像180回転)**：縦型文書の右側にパンチ処理をします。または、横型文書の下部にパンチ処理をします。



- **短尺側へ穴あけ (画像180回転)**：縦型文書の下部にパンチ処理をします。または、横型文書の左側にパンチ処理をします。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

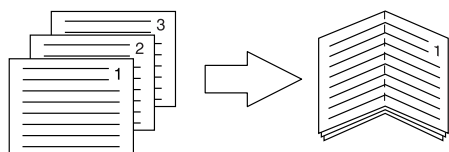
■ 用紙の中央で中折りして印刷する

ほかの印刷設定に基づき文書を用紙に印刷し、用紙の中央で中折りして出力します。製本印刷などで使用します。

注意

[中折り] は、サドルステッチフィニッシャを装着した場合にのみ有効です。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [仕上げ] メニューの [中折り] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

節約に関する機能

用紙やトナーを節約するための機能について説明します。

- 📖 P.114 「両面印刷する」
- 📖 P.116 「複数ページを1枚の用紙に印刷する」
- 📖 P.122 「白紙は印刷しないようにする」
- 📖 P.123 「トナーを節約する」

■ 両面印刷する

用紙の両面に印刷し、用紙を節約します。

- 📖 P.114 「両面印刷する」

■ 複数ページを1枚の用紙に印刷する

複数ページを1枚の用紙にレイアウトして印刷します。用紙の使用量を削減することができます。

- 📖 P.116 「複数ページを1枚の用紙に印刷する」

■ 白紙は印刷しないようにする

印刷原稿の白紙ページを印刷しません。

注意

- ・ レイアウトメニューの [ページ数/枚] で2以上が選択されている場合は、白紙ページは印刷されます。
- ・ ヘッダやフッタを含む文書を印刷する場合は、内容がないページも印刷されます。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [ジョブタイプ] メニューで [白紙は印字しない] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ トナーを節約する

トナー節約モードで印刷します。

注意

トナー節約モードで印刷すると、印字が薄くなる場合があります。

カラー MFPの場合

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [カラー設定1] メニューの [トナー節約] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

モノクロMFPの場合

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [印刷品質] メニューで [トナー節約] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

表紙やページ間に別の用紙を挿入する

原稿の最初や最後に表紙、裏表紙、バナーページなどを挿入する機能です。

📖 P.124 「表紙および裏表紙を挿入する」

📖 P.125 「バナーページを挿入する」

■ 表紙および裏表紙を挿入する

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [カバーページ] メニューで表紙/裏表紙の詳細を設定します。



注意

[用紙カセット] で選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および給紙メニューの設定によって異なります。

表紙挿入：表紙印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、表紙に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書のはじめのページを印刷することができます。

表紙印刷を設定する場合は、[表紙挿入] を選択し、用紙カセットと出力形式をそれぞれのボックスから選択します。

• 用紙カセット

表紙に使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。[自動カセット選択] を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

• 出力形式

表紙の印刷方法を選択します。

- **空白：**何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **印刷する：**文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときは、文書の最初の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。
- **片面印刷：**レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときに文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。裏面は空白となります。

裏表紙挿入：裏表紙印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、裏表紙に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書の最後のページを印刷することができます。裏表紙印刷を設定する場合は、[裏表紙挿入] を選択し、用紙カセットと出力形式をそれぞれのボックスから選択します。

• 用紙カセット

裏表紙に使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。[自動カセット選択] を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

• 出力形式

裏表紙の印刷方法を選択します。

- **空白：**何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **印刷する：**文書の最後のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときは、文書の最初の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。

- **片面印刷**：レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときに文書の最後のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。裏面は空白となります。

補足

両面印刷を選択したときに裏表紙に印刷するページが1ページしかない場合は、裏表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、**【プリンタ】** から本機を選択します。
- 4 **【プリント】** をクリックし、印刷ジョブを送信します。

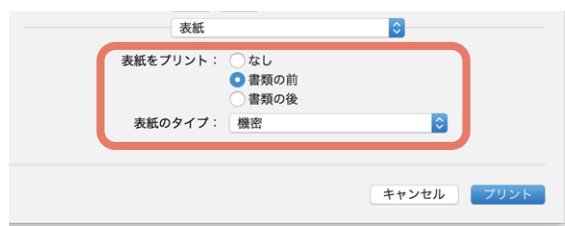
■ バナーページを挿入する

印刷ジョブにバナーページを付けて印刷するかを設定します。バナーページには、jobID、Title、Requesting User、Billing Infoなどの情報が印刷されます。

補足

ジョブ名に、ひらがな、カタカナ、漢字を使用すると文字化けしますので、英数字を使用することを推奨します。

- 1 アプリケーションの**【ファイル】**メニューで**【プリント】**を選択します。
- 2 **【表紙】**メニューでバナーページの詳細を設定します。



表紙をプリント：バナーページを印刷するかを設定します。

- **なし**：バナーページ印刷を無効にします。
- **書類の前**：文書の前にバナーページを挿入します。
- **書類の後**：文書の最後にバナーページを挿入します。

表紙のタイプ：[表紙をプリント]で[書類の前]または[書類の後]を選択した場合に、挿入する表紙の種類を選択します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、**【プリンタ】** から本機を選択します。
- 4 **【プリント】** をクリックし、印刷ジョブを送信します。

色や画質に関する設定

- 📖 P.126 「印刷色を指定する」
- 📖 P.129 「印刷時の版ズレを防ぐ」
- 📖 P.130 「原稿に合わせて画質を選択する」
- 📖 P.132 「画質を調整したいときは」

■ 印刷色を指定する

- 📖 P.126 「カラー文書を白黒で印刷する」
- 📖 P.127 「カラー文書を2色で印刷する」
- 📖 P.128 「黒トナーの適用範囲を指定する」
- 📖 P.126 「カラー文書を白黒で印刷する」

□ カラー文書を白黒で印刷する

プリンタドライバは、印刷文書のカラーモードを自動認識し、カラー文書はカラーで、白黒文書は白黒でそれぞれ印刷します。印刷費やカートナーの消費を抑えるために、手動で白黒モードを選択し、カラー文書を白黒で印刷することもできます。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューの【カラーの種類】で【白黒】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ カラー文書を2色で印刷する

2色印刷を行うと、カラー文書の黒い部分は黒色で印刷し、そのほかのカラー部分を指定した色で印刷することができます。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューの【カラーの種類】で印刷色を指定します。



カラーの種類

- **2色-ブラック/レッド**：黒と赤で2色印刷するときを選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は赤色で印刷します。
- **2色-ブラック/グリーン**：黒と緑で2色印刷するときを選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は緑色で印刷します。
- **2色-ブラック/ブルー**：黒と青で2色印刷するときを選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は青色で印刷します。
- **2色-ブラック/シアン**：黒とシアンで2色印刷するときを選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所はシアン色で印刷します。
- **2色-ブラック/マゼンタ**：黒とマゼンタで2色印刷するときを選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所はマゼンタ色で印刷します。
- **2色-ブラック/イエロー**：黒と黄で2色印刷するときを選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は黄色で印刷します。
- **2色-ブラック/ホワイト**：黒と白で2色印刷するときを選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は空白で印刷します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 黒トナーの適用範囲を指定する

文書の黒とグレースケール部分を黒トナーで印刷するかを選択します。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューの【黒とグレーの印刷方法】で黒トナーの適用範囲を指定します。



黒とグレーの印刷方法

- オフ：文書をカラーモードで印刷します。
- 黒を黒トナー：自動：原稿の黒の部分黒トナーで印刷する際の、適用範囲を自動で選択します。
- 黒を黒トナー：文字：黒の文字部分のみを黒トナーで印刷します。
- 黒を黒トナー：文字/図形：黒の文字と図形部分のみを黒トナーで印刷します。
- 黒を黒トナー：全体：黒の全部分を黒トナーで印刷します。
- 黒とグレーを黒トナー：自動：原稿の黒およびグレーの部分黒トナーで印刷する際の、適用範囲を自動で選択します。自動を選択した場合、原稿種類に応じて最適な範囲を黒トナーで印刷します。
- 黒とグレーを黒トナー：文字：黒およびグレーの文字部分のみを黒トナーで印刷します。
- 黒とグレーを黒トナー：文字/図形：黒およびグレーの文字と図形部分のみを黒トナーで印刷します。
- 黒とグレーを黒トナー：全体：黒およびグレーの全部分を黒トナーで印刷します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 印刷時の版ズレを防ぐ

オーバープリントやオートトラッピングを設定し、印刷時の版ズレを防ぎます。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューで以下の項目を指定します。



ブラックオーバープリント：黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントするかを選択します。テキストと背景間のすき間やカラーの版ズレを回避できます。

- ・ **オフ**：オーバープリントをせずに印刷します。
- ・ **文字**：フルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキストを出力します。
- ・ **文字/図形**：フルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキスト、図形を出力します。

PostScriptオーバープリント：アプリケーション上でオーバープリントの設定をしたオブジェクトを、オーバープリント印刷します。

注意

カラー設定1メニューの【カラーの種類】で【自動】、【カラー】を選択した場合のみ、設定できます。

オートトラッピング：オートトラッピングを有効にします。隣接する色の接触部だけを重ねて印刷し、版ズレにより用紙の下地が見えてしまうことを防ぎます。

注意

この機能は、e-STUDIO5005AC Seriesおよびe-STUDIO7506AC Seriesをお使いの場合のみ有効です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

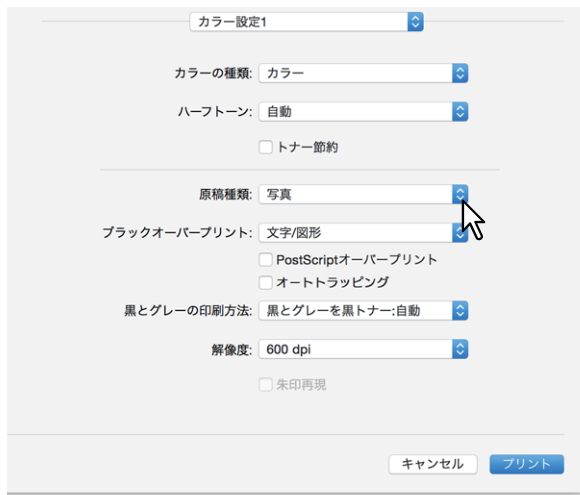
■ 原稿に合わせて画質を選択する

ジョブタイプの選択に応じて画像をどのように印刷するかを設定します。プリンタドライバは、ジョブタイプによって適切なイメージ品質を自動的に適用します。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューの【原稿種類】で原稿の種類を指定します。



原稿種類

- **標準**：通常のカラー文書用の設定です。
- **写真**：写真用の設定です。
- **プレゼンテーション**：プレゼンテーション資料用の設定です。
- **ラインアート**：多くの文字やラインアートで構成される文書用の設定です。
- **カラープロファイル設定**：カラースペースを調整するプロファイルを適用します。詳細は、以下を参照してください。
📖 P.131 「カラープロファイル設定」

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ カラープロファイル設定

カラープロファイル設定メニューは、[カラー設定1]メニューの[原稿種類]で[カラープロファイル設定]を選択すると表示されます。

注意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

補足

TopAccessから設定できます。詳細はTopAccessガイドを参照してください。



1. **RGB**
RGBソースプロファイルを選択します。本機よりカラープロファイル情報を取得した場合は、本機のRGBソースプロファイルを表示します。
2. **CMYK**
CMYKソースプロファイルを選択します。本機よりカラープロファイル情報を取得した場合は、本機のCMYKソースプロファイルを表示します。
3. **機器の色だけに適用されます。**
画像に埋め込まれているカラープロファイルを優先する場合に選択します。
4. **プリンタプロファイル**
プリンタプロファイルを選択します。本機よりカラープロファイル情報を取得した場合は、本機のプリンタプロファイルを表示します。
5. **レンダリングインテント**
印刷時のカラースペース変換を、どのような方法で処理するか選択します。
 - 知覚的：写真画像に適しています。
 - 相対的：[知覚的]よりも多くの画像のオリジナルの色を保持できます。
 - 彩度：色の正確さよりも、画像の鮮明な色の再現を重視します。グラフや図表などのグラフィックに適しています。
 - 絶対的：用紙の色を考慮して色を保持できます。
6. **初期値に戻す**
カラープロファイル設定を、初期設定に戻します。
7. **この設定を使用する**
クリックするとカラープロファイル設定を保存し、[カラー設定1]メニューに戻ります。

■ 画質を調整したいときは

- 📖 P.132 「薄い部分の模様が気になる（ハーフトーン）」
- 📖 P.133 「テキストやグラフィックスをなめらかにする（スムージング）」
- 📖 P.134 「細い線をはっきりと印刷する」
- 📖 P.134 「印刷時のカラーを調整する」
- 📖 P.135 「カラーバランスや画質を調整する」
- 📖 P.136 「画質が粗い（解像度）」

□ 薄い部分の模様が気になる（ハーフトーン）

ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。

カラー MFPの場合

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【カラー設定1】メニューの【ハーフトーン】でハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。



ハーフトーン

- **自動**：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
 - **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
 - **スムーズ**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。
- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
 - 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

モノクロMFPの場合

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【印刷品質】メニューの【ハーフトーン】でハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。



ハーフトーン

- 自動：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
- 詳細：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- スムーズ：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

 テキストやグラフィックスをなめらかにする（スムージング）

テキストやグラフィックスの縁をなめらかに印刷します。

注意

この機能は、お使いの機種がモノクロMFPの場合にのみ設定できます。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【印刷品質】メニューで【スムージング】を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 細い線をはっきりと印刷する

細線をはっきりと印刷します。

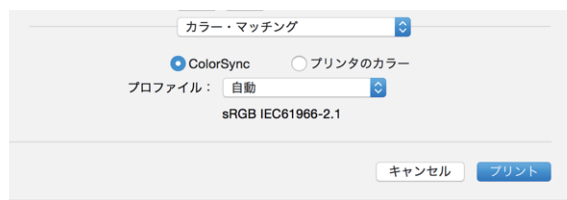
- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [ジョブタイプ] メニューで [細線をはっきりと印刷する] を選択します。



- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 印刷時のカラーを調整する

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [カラー・マッチング] メニューでカラー調整を行います。



ColorSync：印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のアプリケーションから制御する場合に選択します。

プリンタのカラー：印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のプリンタから制御する場合に選択します。

プロファイル：[ColorSync] を選択した場合に、適用するカラープロファイルを選択します。

補 足

初期設定では「sRGB IEC 61966-2.1」が選択されます。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ カラーバランスや画質を調整する

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [カラー設定2] メニューで [カラーバランス] や [画質調整] を設定します。



カラーバランス：各トナーの印字濃度を設定します。-4（薄い）から4（濃い）を設定できます。

注意

[カラー設定1] メニューの [カラーの種類] で [自動]、[カラー]、[2色] を選択した場合のみ、設定できます。

画質調整：シャープネス、明るさ、コントラスト、彩度を設定します。

- シャープネス
印字のなめらかさを調整します。[シャープネスフィルタを使用する] を選択して、スクロールバーで -4（ソフト）から4（シャープ）の範囲で設定します。
- 明度
印字の明るさを調整します。スクロールバーで -4（暗）から4（明）の範囲で設定します。
- コントラスト
印字のコントラストを調整します。スクロールバーで -4（低）から4（高）の範囲で設定します。
- 彩度
印字の彩度を調整します。スクロールバーで -4（淡い）から4（鮮やか）の範囲で設定します。
- 下地調整
下地濃度を調整します。スクロールバーで -4（薄くなる）から4（濃くなる）の範囲で設定します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

□ 画質が粗い（解像度）

印刷の解像度を設定します。

カラー MFPの場合

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [カラー設定1] メニューの [解像度] で数値を指定します。



解像度

- **600 dpi** : 600 x 600 dpiの解像度で印刷します。
- **1200 dpi** : 1200 x1200 dpiの解像度で印刷します。
- **600 x 1200 dpi** : 600 x 1200 dpiの解像度で印刷します。

注意

- [1200 dpi] は、以下の機種で印刷をする場合のみ有効となります。
 - e-STUDIO5005AC Series
 - e-STUDIO5008A Series
 - e-STUDIO7506AC Series
 - e-STUDIO8508A Series
- [1200 dpi] または [600 x 1200 dpi] で印刷する場合、以下の機能は使用できません。
 - オートトラッピング
- [600 x 1200 dpi] は、e-STUDIO2000ACで印刷する場合のみ有効となります。
- 以下の解像度を選択して製本印刷をする場合、解像度は600 dpiに変換して印刷されます。
 - e-STUDIO5005AC Seriesで [1200 dpi] を選択した場合

- e-STUDIO2000ACで [600 x 1200 dpi] を選択した場合
- [600 x 1200 dpi] で印刷するときは、印刷に使用するカセットや用紙の向きに合わせて印刷データを確定した後、そのカセットにセットされた用紙の向きが変更されても、印刷データの向きは自動的に回転されません。たとえば、1段目カセットにセットされたA4縦向きの用紙を指定してホールド印刷を行い、印刷待ちの状態（本機で印刷データが確定された状態）となった後、1段目カセットの用紙の向きをA4縦向きからA4横向きに変更して印刷すると、印刷データは自動的に回転されずA4縦向きのままで印刷されます。
- [600 x 1200 dpi] で印刷する場合、オートカセットチェンジの異方向用紙の許可は使用できません。
- 封筒または非定形サイズの内紙を使用する場合、カセットに用紙をセットする際に用紙の長い辺を手前側に向けてセットしたときのみ、オートカセットチェンジが利用できます。ただし、[600 dpi] を選択して印刷する場合は除きます。
- 封筒または非定形サイズの内紙を使用する場合、オートカセットチェンジの異方向用紙の許可は使用できません。

3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。

4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

モノクロMFPの場合

1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。

2 [印刷品質] メニューの [解像度] で数値を指定します。



解像度

- **600 dpi** : 600 x 600 dpiの解像度で印刷します。
- **1200 dpi** : 1200 x 1200 dpiの解像度で印刷します。

注意

[解像度] および選択項目はお使いの機種によっては利用できません。

3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。

4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷内容を付加する機能

■ 文書上に薄い文字を重ねて印刷する（スタンプ）

スタンプメニューでは、「Confidential」、「Draft」、「Proof」、「Top Secret」などの文字列を印刷する文書に重ねた状態で用紙に印刷できます。スタンプによって印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類することができます。スタンプは標準で登録されていますが、スタンプに使用する文字は自分で作成することもできます。スタンプはテキストだけです。

注意

プラグインをインストールした場合に表示されます。プラグインのインストールについてはインストールガイドを参照してください。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【スタンプ】メニューで詳細を設定します。



文字：印刷するスタンプを選択します。テキストを入力し、スタンプを新たに作成することもできます。

注意

半角・全角63文字まで入力することができます。ただし、文字数が多いと、スタンプが大き過ぎるため正しく印刷することができない場合があります。

フォント：フォントを選択します。

寸法：フォントサイズを入力します。

6 ptから300 ptの範囲を1 pt単位で設定できます。スクロールバーを使って設定することもできます。

角度：回転角度を入力します。

0～360（度）の範囲を1度単位で設定できます。スクロールバーを使って設定することもできます。

カラー：色を選択します。

注意

[カラー設定1] メニューの「カラーの種類」で【白黒】を選択している場合は、選択した色ではなくグレーの濃淡で印刷します。

最前面に配置：スタンプテキストを前面に配置して印刷します。

最背面に配置：スタンプテキストを背面に配置して印刷します。

位置：スクロールバーでスタンプの位置を調整します。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

本体にジョブを保存してから出力する

印刷ジョブを処理する方法には、通常印刷のほかに、[予約印刷]、[プライベート印刷]、[ホールド印刷]、[お試し印刷]、[マルチステーション印刷]、[本体に保存] があります。

📖 P.139 「指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）」

📖 P.140 「機密文書やサンプル印刷を設定する」

📖 P.141 「本体のボックスに保存する（本体に保存）」

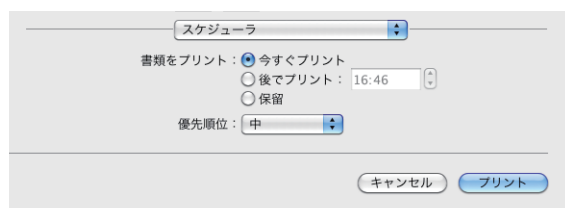
■ 指定した日時にジョブを印刷する（予約印刷）

いつ印刷ジョブを本機に送信するかを設定します。

注意

この機能は、Mac OS X 10.6.xをお使いの場合のみ有効です。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [スケジューラ] メニューで詳細を指定します。



書類をプリント

- **今すぐプリント**：印刷ジョブを今すぐ送信します。
- **後でプリント**：印刷ジョブを送信する時間を指定します。印刷ジョブは指定した時間またはMac OSのキューから印刷ジョブの実行を操作するまでMac OSのキューに保留されます。
- **保留**：印刷ジョブをMac OSのキューに保留します。

優先順位：印刷ジョブの優先順位を選択します。印刷ジョブが複数ある場合に、優先順位が高いものから印刷されます。優先順位は、[至急]、[高]、[中]、[低] の4段階で設定できます。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、[プリンタ] から本機を選択します。
- 4 [プリント] をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 機密文書やサンプル印刷を設定する

本機が各印刷ジョブをどのように処理するかを設定します。ジョブタイプにはプライベート印刷、お試し印刷、ホールド印刷、マルチステーション印刷などがあります。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【ジョブタイプ】メニューで表示ユーザ名やジョブタイプを設定します。



表示ユーザ名：必要に応じて、プライベート印刷ジョブ一覧、ホールド印刷ジョブ一覧に表示されるユーザ名を入力します。ユーザ自身が任意のユーザ名を設定できるので、本機のタッチパネルから印刷を実行する際に自分が登録したジョブを容易に見つけることができます。

補 足

- 半角31文字まで入力できます。
- [表示ユーザ名] を入力しない場合は、ログインユーザ名がプライベート印刷ジョブ一覧、ホールド印刷ジョブ一覧に表示されます。
- [表示ユーザ名] は、プライベート印刷ジョブ一覧、ホールド印刷ジョブ一覧にのみ適用されます。その他のジョブ一覧画面（お試し印刷／部門コードなし）や印刷ログ画面には、コンピュータのログインユーザ名が表示されます。

ジョブタイプ：印刷ジョブの処理方法を設定します。

- **通常印刷：**通常の印刷を行います。
- **マルチステーション印刷：**本機に送信したジョブを別の複合機から印刷することができます。送信した印刷ジョブは、本機のマルチステーション印刷ジョブ一覧に保存されます。印刷を実行するには、タッチパネルで目的のジョブを選択し、[印刷] を押します。
- **ホールド印刷：**ジョブをホールド印刷として処理します。送信した印刷ジョブは、本機のホールドジョブ一覧に保存されます。印刷を実行するには、タッチパネルで目的のジョブを選択し、[印刷] を押します。出力紙の取り忘れを防ぐために便利な機能です。
- **お試し印刷：**複数部数の印刷を実行する前に確認用に1部だけサンプルコピーを印刷します。サンプルの出力結果を確認した後に、本機のタッチパネルから残り部数の印刷を実行します。この機能を使用すれば、間違った印刷設定などによる用紙の無駄遣いなどを削減できます。
- **プライベート印刷：**ジョブをプライベート印刷として処理します。これを選択した場合は、右横のボックスに5桁のパスワード（文書パスワード）を指定します。送信した印刷ジョブは、本機のプライベートジョブ一覧に保存され、タッチパネルからパスワードを入力するまでジョブは保留され、実行されません。この機能は、他人に見られたくない機密文書を印刷するとき有効な機能です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

■ 本体のボックスに保存する（本体に保存）

本体に保存メニューでは、印刷ジョブをお使いのアプリケーションから本機のハードディスクへ送信し、保存することができます。保存したジョブは、タッチパネルから印刷できます。ジョブの保存先には、共有ボックスまたはユーザボックスを選択できます。また、ボックス内に作成したフォルダを指定することもできます。共有ボックスは、ネットワーク上で共有されており、どのユーザでもアクセスすることができます。ユーザボックスは、ユーザが任意に作成できるボックスで、パスワードを設定してアクセスを制限できます。

注意

プラグインのインストールについてはインストールガイドを参照してください。

- 1 アプリケーションの【ファイル】メニューで【プリント】を選択します。
- 2 【本体に保存】メニューで保存先やパスワードを設定します。



本体に保存：印刷ジョブを本機に保存します。

同時に印刷：保存と同時に印刷を行います。

排紙先：保存先を選択します。共有ボックスまたはユーザボックスを選択できます。

- パスワード
ユーザボックスにパスワードが設定されている場合は、ユーザボックスのパスワード（5桁）を入力します。
- 保管先フォルダ
保存先に共有ボックスまたはユーザボックス内のフォルダを指定する場合は、フォルダ名を入力します。

注意

- フォルダ名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダの数の上限は100です。

- 3 ほかの印刷機能を設定し、【プリンタ】から本機を選択します。
- 4 【プリント】をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷設定の保存

「プリント」ダイアログボックスで設定した内容は、プリセットとして名前を付けて保存することができます。設定内容を初期値として使用する場合は、[プリセット] より使用するプリセットを選択します。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [プリンタ] から本機を選択し、印刷設定をセットアップします。



補足

- 「プリント」ダイアログボックスの表示はアプリケーションによって異なることがあります。
- 各設定項目の並び方は、お使いになるMac OSの種類により異なることがあります。

- 3 [プリセット] より [現在の設定をプリセットとして保存] を選択し、名前を付けて [OK] をクリックします。

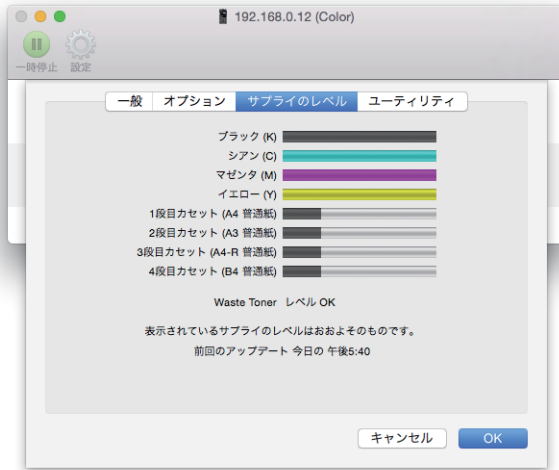


設定内容の確認/注意事項

- 📖 P.143 「印刷設定の内容や消耗品を確認する」
- 📖 P.143 「注意事項について」

■ 印刷設定の内容や消耗品を確認する

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [サプライのレベル] メニューでトナーカートリッジや用紙の残量を確認できます。



- 3 [キャンセル] をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

■ 注意事項について

- 印刷を実行する際のユーザ名、文書名に全角文字が含まれている場合、本機のタッチパネルの印刷ジョブに「OSX User」および「OSX Document」と表示されます。半角文字の場合には、実際のユーザ名、文書名が表示されます。
- プリンタ機能のカバーページメニューと表紙機能を同時に使用することはできません。
- e-Filing機能は、カスタム用紙、製本、2色印刷、1200 dpi印刷、600 x 1200 dpi印刷、ホールド印刷、お試し印刷、マルチステーション印刷、およびプライベート印刷と同時に使用することはできません。
- e-Filing機能でホチキスやパンチ機能を利用できる機種の場合、以下の設定は使用することができません。これらの設定を選択しても解除されません。
 - ホチキス：
[右側(縦置き) / 下側(横置き)]、[右下側(縦置き) / 左下側(横置き)]、[下側(縦置き) / 左側(横置き)]
 - パンチ：
[長尺側へ穴あけ (画像180回転)]、[短尺側へ穴あけ (画像180回転)]
- お試し印刷、プライベート印刷、ホールド印刷、マルチステーション印刷を行う場合、およびe-Filing機能を使用する場合は、LPRまたはBonjourを使用してください。
- ユーザ認証機能を使用するには、[アカウント] → [ログインオプション] → [ネットワークアカウントサーバ] → [ディレクトリユーティリティを開く] → [サービス] でドメインの設定を行ってください。

プリンタドライバの機能概要

■ プリンタドライバの表示方法

Mac OSアプリケーションから印刷する場合は、印刷機能を「ページ設定」ダイアログボックスおよび「プリント」ダイアログボックスで設定し、印刷します。

□ 「ページ設定」ダイアログボックス

補足

「ページ設定」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なる場合があります。また、アプリケーションによっては「ファイル」メニューには存在せず、「プリント」ダイアログボックスに設定が含まれている場合があります。

- 1 文書を開き、[ファイル] メニューで [ページ設定] (または [用紙設定]) を選択します。
- 2 [対象プリンタ] から本機を選択し、印刷ジョブのページ設定を行います。



□ 「プリント」ダイアログボックス

補足

- 「プリント」ダイアログボックスの表示はアプリケーションによって異なる場合があります。
- 各設定項目の並び方は、お使いになるMac OSの種類により異なる場合があります。

- 1 文書を開き、[ファイル] メニューで [プリント] を選択します。
- 2 [プリンタ] から本機を選択し、印刷設定をセットアップします。



■「ページ設定」ダイアログボックス

メニュー名	設定項目名	機能説明
ページ設定	対象プリンタ	プリンタを選択します。
	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	方向	印刷する用紙の向きを選択します。
	拡大縮小	印刷イメージを拡大または縮小して印刷する場合に、倍率を指定します。

■「プリント」ダイアログボックス

メニュー名	設定項目名	機能説明
印刷部数と印刷ページ	印刷部数	印刷する部数を設定します。
	丁合い *1	部単位に仕分けして印刷します（ソート印刷）。
	ページ	印刷するページを指定します。
	両面	両面印刷を設定します。
レイアウト	ページ数／枚	複数ページを1枚の用紙に印刷します。
	レイアウト方向	ページをレイアウトする方向を設定します。
	境界線	各ページに枠線を付けてページ集約印刷するかを選択します。
	両面	両面印刷を設定します。
	ページの方向を反転	排紙される用紙の向きを逆にします。
	左右反転	ページ全体の左右を反転させて印刷します。
カラーマッチング	ColorSync	印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のアプリケーションから制御する場合に選択します。
	プリンタのカラー	印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のプリンタから制御する場合に選択します。
	プロファイル	[ColorSync] を選択した場合に、適用するカラープロファイルを選択します。
用紙処理	丁合い	部単位に仕分けして印刷します（ソート印刷）。
	プリントするページ	すべてのページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみを印刷するかを選択します。
	ページの順序	ページを印刷する順序を選択します。
	用紙サイズに合わせる	指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小して印刷します。
	出力用紙サイズ	出力用紙サイズを選択します。
	縮小のみ	文書サイズより大きい用紙に印刷する場合、拡大せずに印刷します。
給紙	全体	すべてのページに同じ給紙元を使用する場合に選択します。
	先頭ページのみ／残りのページ	先頭ページとその他のページに異なる給紙元を使用する場合は、[先頭ページのみ] および [残りのページ] で給紙元を選択します。
表紙	表紙をプリント	バナーページを印刷するかを設定します。
	表紙のタイプ	[表紙をプリント] で [書類の前] または [書類の後] を選択した場合に、挿入する表紙の種類を選択します。
	課金情報 *2	バナーページに課金情報を印刷したい場合は、課金情報を入力します。

メニュー名	設定項目名	機能説明
ジョブタイプ	部門コード	印刷を実行するのに部門コードの入力を必要とするかを選択します。
	表示ユーザ名	必要に応じて、プライベート印刷ジョブ一覧、ホールド印刷ジョブ一覧に表示されるユーザ名を入力します。
	プロジェクトコード	プロジェクトコードを入力します。
	ジョブタイプ	印刷ジョブの処理方法を設定します。
	細線をはっきりと印刷する	細線をはっきりと印刷するかを選択します。
	白紙は印字しない	白紙ページを印刷するかを選択します。
仕上げ	排出先	排紙先を選択します。
	用紙種類	用紙種類を選択できます。
	ホチキス	印刷文書をホチキス留めして出力するかを設定します。
	パンチ	印刷文書にパンチ処理（綴じ用の穴開け）をするかを設定します。
	中折り	ほかの印刷設定に基づき文書を用紙に印刷し、用紙の中央で中折りして出力する場合に選択します。
カラー設定	カラーの種類	印刷ジョブをカラーで印刷するか、白黒で印刷するかを選択します。
	ハーフトーン	ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
	トナー節約	トナーを節約して印刷する場合に選択します。
	原稿種類	ジョブタイプの選択に応じて画像をどのように印刷するかを設定します。
	ブラックオーバープリント	黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントするかを選択します。
	PostScript オーバープリント	アプリケーション上でオーバープリントの設定をしたオブジェクトを、オーバープリント印刷する場合に選択します。
	オートトラッピング	版ズレにより用紙の下地が見えてしまうことを防ぐ場合に選択します。
	黒とグレーの印刷方法	文書の黒とグレースケール部分を黒トナーで印刷するかを選択します。
	解像度	解像度を設定します。
	朱印再現	朱肉を用いた朱印などの色再現性を高めたいときに選択します。
	カラーバランス	各トナーの印字濃度を設定します。-4（薄い）から4（濃い）の範囲で調整できます。
	画質調整	シャープネス、明るさ、コントラスト、彩度を設定します。
カラー設定 (カラープロファイル設定)	RGB	RGBソースプロファイルを選択します。
	CMYK	CMYKソースプロファイルを選択します。
	機器の色のみに適用 されます。	画像に埋め込まれているカラープロファイルを優先する場合に選択します。
	プリンタ プロファイル	プリンタプロファイルを選択します。
	レンダリング インテント	印刷時のカラースペース変換を、どのような方法で処理するかを選択します。
	初期値に戻す	カラープロファイル設定を、初期設定に戻します。
	この設定を使用する	クリックするとカラープロファイル設定を保存し、カラー設定1メニューに戻ります。

メニュー名	設定項目名	機能説明
印刷品質	解像度	印刷の解像度を設定します。
	ハーフトーン	ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
	トナー節約	トナーを節約して印刷する場合に選択します。
	スムージング	文字やグラフィックスの縁をなめらかに印刷する場合に選択します。
カバーページ	表紙挿入	表紙印刷を設定します。
	裏表紙挿入	裏表紙印刷を設定します。
製本	製本を有効	本や雑誌と同じような印刷物を作成する場合に選択します。
	製本中央余白 (0~36 pt)	見開き印刷されるページの中央の余白を選択します。 (1 pt = 0.353 mm)
	製本外側余白 (0~36 pt)	ページの上下左右の余白を選択します。 (1 pt = 0.353 mm)
	左から右	左から右に読むように印刷を行う場合に選択します。
	右から左	右から左に読むように印刷を行う場合に選択します。
本体に保存	本体に保存	印刷ジョブを本機に保存する場合に選択します。
	同時に印刷	保存と同時に印刷を行う場合に選択します。
	排紙先	印刷ジョブの保存先を選択します。共有ボックスまたはユーザボックスを選択できます。
スタンプ	文字	スタンプを選択します。
	フォント	フォントを選択します。
	寸法	フォントサイズを入力します。
	角度	回転角度を入力します。
	カラー	色を選択します。
	最前面に配置	スタンプテキストを前面に配置して印刷します。
	最背面に配置	スタンプテキストを背面に配置して印刷します。
	位置	スクロールバーでスタンプの位置を調整します。
スケジューラ *1	書類をプリント	印刷ジョブを本機にいつ送信するかを設定します。
	優先順位	印刷ジョブの優先順位を選択します。

*1 Mac OS X 10.6.xをお使いの場合のみ表示されます。

*2 Mac OS X 10.6.x~10.9.xをお使いの場合のみ表示されます。

その他の印刷方法

UNIX/Linux環境から印刷する	150
注意点と確認事項について	150
LPコマンドを使用して印刷する	150
一般的なlpおよびlptapオプション	151
一般的なオプション	151
PCL5e固有オプション	163
USBダイレクト印刷	167
USBメディアからファイルを印刷する	167
印刷時の注意事項	169
FTP印刷	170
Eメール印刷	171

UNIX/Linux環境から印刷する

ここでは、UNIX/Linuxワークステーションから印刷を行う方法を説明します。

注意

- 本機のユーザ管理設定が有効な場合、UNIX/Linuxワークステーションから送信された印刷ジョブは、無効ジョブとしてユーザ認証強制の設定に従って処理されます。ユーザ認証強制の設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。
- UNIX/Linuxワークステーションから印刷を実行する前に、すべてのUNIX/Linuxフィルタがワークステーションにインストールされているかを確認してください。UNIX/Linuxフィルタの設定については、**インストールガイド**の「プリンタドライバのインストール (UNIX/Linux)」を参照してください。

補足

CUPSのインストールおよび設定については**インストールガイド**を参照してください。

■ 注意点と確認事項について

- 本機はUNIX/Linux用のフィルタ印刷のみサポートしています。ドライバのサポートはしていません。印刷ページのサイズや順序を変更することはできません。
- UNIX/Linux用フィルタでは、以下の機能はサポートされていません。
 - 変倍印刷
 - 縦横交互
 - Nin1印刷
 - スタンプ
 - 表紙・裏表紙挿入
 - シート挿入
 - 予約印刷
 - オーバーレイで保存
 - 本体に保存
 - オーバーレイファイルを使用
- Linuxではlpコマンドはサポートされていないため、代わりにlptapコマンドを使ってファイルを本機へ送信して印刷を行ってください。
- AIXでは、qdaemonを使った印刷をサポートしています。qdaemonを使用して印刷するには、lp、lprまたはqprtコマンドを使って印刷を行ってください。また、UNIX/Linuxフィルタを利用して印刷する場合は、lpコマンドまたはqprtコマンドを使って印刷を行ってください。

■ LPコマンドを使用して印刷する

lpコマンド（Linuxではlptapコマンド）を使ってファイルを本機へ送信し印刷します。lpコマンドでは、-o オプションを使って本機特有の機能を指定することができます。また、さまざまなパラメータを利用して印刷機能を設定することもできます。印刷出力に使用できるさまざまな機能やパラメータを確認するには、[man net_estcolor] コマンドを実行し、オンラインドキュメントを表示してください。すべての設定は印刷ジョブの先頭に付加されて本機へ送信されるため、送信したファイル自体に印刷機能の設定が含まれている場合は、lpコマンドで指定した印刷機能を上書きして印刷することがあります。

■ 一般的なlpおよびlptapオプション

□ ファイルの印刷方法

プリンタを指定してファイルを印刷するlpコマンドは以下となります。
lp -d <queuename> <filename>

□ 印刷部数

印刷ジョブの印刷部数は、lpコマンドを使って [-n <value>] パラメータで指定します。初期値は、lpコマンドにより決定され常に [1] となります。印刷は常にページ順をそろえて出力されます。

□ タイトル

バナーページに印刷されるタイトルは、lpコマンドを使って [-t <title>] パラメータで指定することができます。タイトルを指定しない場合は、印刷ファイルの名称がバナーページのタイトルになります。同じlpコマンドを使って複数のファイルを印刷する場合、初期設定のタイトルがlpコマンドによって最初のファイルの名称に設定されます。

■ 一般的なオプション

下記オプションは、本機で印刷するすべての印刷ファイルに適用されます。

注意

- オプションの構成や使用できる用紙サイズなどの違いにより、お使いの機種では設定できないオプションコマンドがあります。
- オプションコマンドは大文字・小文字の区別がありますので、以下の説明のとおり正しく入力してください。
- 本機の仕様が優先されるため、オプションコマンドの組み合わせによっては無効となる場合があります。

□ 印刷言語

[net_estcolor] プログラムは、印刷する各ファイルにどのプリンタ言語が使用されているかを把握する必要があります。この情報に従って、正しいコマンドを実行することができます。印刷言語の有効なオプションは、次のとおりです。

オプション値	代替値	説明
auto		印刷する各ファイルが [%!] シーケンスで始まっているかを確認します。始まっている場合は、PostScriptファイルと判断します。そうでない場合は、プレーンテキストファイル、PCL5eまたはPCL6ファイルと判断します。
pcl		印刷ファイルを常にプレーンテキストファイル、PCL5eまたはPCL6ファイルとして扱います。
postscript	ps	ファイルを常にPostScriptファイルとして扱います。
raw		ファイルを必要なすべてのコマンドを含んだ完全にフォーマットされたファイルとして扱います。ファイルに何らかの変更を加えることなく本機へ送信します。このモードでは、オプションは無効であり、またバナーページも印刷されません。

すべてのPCL5eジョブは、LFキャラクタを [復帰] シーケンスに変換する [<esc>&k2G] コマンドを自動で送信します。PCL5eジョブにジョブ自身のエスケープシーケンスが含まれていると、上記設定が上書きされてしまう場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定 (auto) が使用されます。

[例] ファイルをPostScriptとして指定するコマンド : lp -o ps <filename>

□ ホチキス

部ごとに用紙をホチキス留めして排紙するかを設定します。フィニッシャが装着されている場合、下記オプションを使用してホチキス位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
staple=0		ホチキス機能を無効にします。
staple=1		縦型ページの左上部をホチキス処理します。横型ページの場合は、右上部をホチキス処理します。
staple=2		縦型ページの左側を2か所ホチキス処理します。または、長手方向に給紙された横型ページの上部を2か所ホチキス処理します。このコマンドは、短手方向に給紙されるページには適用されません。
staple=3		縦型ページの左下部をホチキス処理します。横型ページの場合は、左上部をホチキス処理します。
staple=4		縦型ページの右上部をホチキス処理します。横型ページの場合は、右下部をホチキス処理します。
staple=5		縦型ページの右側を2か所ホチキス処理します。または、長手方向に給紙された横型ページの下部を2か所ホチキス処理します。このコマンドは、短手方向に給紙されるページには適用されません。
staple=6		縦型ページの右下部をホチキス処理します。横型ページの場合は、左下部をホチキス処理します。
staple=7		縦型ページの上側を2か所ホチキス処理します。または、短手方向に給紙された横型ページ（A3またはLedgerの大型サイズ用の紙）の右側を2か所ホチキス処理します。このコマンドは、長手方向に給紙されるページ、または小型サイズの用紙には適用されません。
staple=8		縦型ページの下側を2か所ホチキス処理します。または、短手方向に給紙された横型ページ（A3またはLedgerの大型サイズ用の紙）の左側を2か所ホチキス処理します。このコマンドは、長手方向に給紙されるページ、または小型サイズの用紙には適用されません。
staple=9		横型ページの中央を2か所ホチキス処理（サドルステッチ処理）し、中折りとじを出力します。このコマンドはブックレット印刷に関連するものであり、長手方向に給紙されるページには適用されません。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（staple=0）が使用されます。

[例] 長手方向に給紙された縦型ページの左上部にホチキスするときのコマンド：

```
lp -o staple=1 <filename>
```

ホチキス位置の値は、用紙サイズ、給紙方向や印刷の向きにより決定されます。この機能はすべての用紙サイズに使用できるわけではなく、対応する用紙サイズについては**用紙準備ガイド**を参照してください。特に、A5、A6およびStatement用紙には、この機能を使用することはできません。

注意

フィニッシャ、サドルステッチフィニッシャでホチキス印刷を行う場合は、[トレイ2] を指定してください。

□ 中折り

下記オプションを使用して中折り印刷をするかを設定できます。

オプション値	代替値	説明
folding=off	OFF	中折りを無効にします。
folding=on	ON	中折りを有効にします。

本機にサドルステッチフィニッシャが装着されていない場合や、このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（folding=off）が使用されます。

[例] 中折りを有効にするコマンド：lp -o folding=on <filename>

注意

[中折り] は、サドルステッチフィニッシャを装着した場合にのみ有効です。

出力トレイ

下記オプションを使用して出力トレイを指定することができます。

オプション値	代替値	説明
inner		本体トレイを選択します（フィニッシャ未装着時）。
bin1		フィニッシャの上段排紙トレイを選択します。
bin2		フィニッシャの下段排紙トレイを選択します。

本機にフィニッシャが装着されていない場合や、このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（inner）が使用されます。

[例] 上部出力トレイ（bin 1）を指定するコマンド：lp -o bin1 <filename>

パンチ

印刷文書にパンチ処理（とじ用の穴開け）をするかを設定します。パンチユニットが装着されている場合、下記オプションを使用してパンチ処理を行うことができます。

オプション値	代替値	説明
punch=0	nopunch	パンチ機能を無効にします。
punch=1		長手パンチ（回転なし）
punch=2		短手パンチ（回転なし）
punch=3		長手パンチ（180度回転）
punch=4		短手パンチ（180度回転）

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（nopunch）が使用されます。この機能はすべての用紙サイズに使用できるわけではなく、対応する用紙サイズについては**コピーガイド**を参照してください。特に、A5、A6およびStatement用紙には、この機能を使用することはできません。

[例] 長手方向に給紙した縦型ページにパンチ処理するコマンド：

lp -o punch=1 <filename>

用紙種類

下記オプションを使用して、用紙種類を指定することにより給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
mtype=Plain		普通紙のセットされた給紙元を指定します。
mtype=Transparency		OHPフィルムのセットされた給紙元を指定します。
mtype=Thick1		厚紙1がセットされた給紙元を指定します。
mtype=Thick2		厚紙2がセットされた給紙元を指定します。
mtype=Thick3		厚紙3がセットされた給紙元を指定します。

PostScriptでは [メディア選択の据え置き] が常時有効なため、用紙サイズが用紙種類や給紙元より優先されます。PCL5eでは、用紙サイズが常時用紙種類や給紙元より優先されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（mtype=Plain）が使用されます。

[例] 普通紙を指定するコマンド：lp -o mtype=Plain <filename>

給紙元

下記オプションを使用して用紙の給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
auto-source		自動で給紙元を指定します。
manual		手差しトレイを指定します。
drawer1	upper cas1	1段目カセットを指定します。
drawer2	lower cas2	2段目カセットを指定します。
drawer3	pedupper cas3	3段目カセットを指定します。
drawer4	pedlower cas4	4段目カセットを指定します。
LCF	lcf	大容量給紙装置を指定します。
external		大容量給紙装置（外付け）を指定します。

PostScriptでは [メディア選択の据え置き] が常時有効なため、用紙サイズが給紙元より優先されます。PCL5eでは、用紙サイズが常に給紙元より優先されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（auto-source）が使用されます。

[例] 大容量給紙装置を指定するコマンド：lp -o lcf <filename>

注意

この機能は、本機で使用できる給紙元を指定した場合のみ有効となります。

両面印刷

下記オプションを使用して両面印刷モードを指定できます。

オプション値	代替値	説明
simplex		両面印刷機能を無効にします。
duplex	lduplex duplex_long duplex=long hduplex	両面印刷（長手とじ）
sduplex	duplex_short duplex=short vduplex	両面印刷（短手とじ）

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（simplex）が使用されます。ブックレットモードを選択すると、[sduplex]（両面印刷：短手とじ有効）が自動的に選択されます。個別に行った両面印刷設定は、ブックレットモード設定よりも優先されます。

[例] 両面印刷（長手とじ）を指定するコマンド：lp -o duplex <filename>

□ 用紙サイズ

下記オプションを使用して用紙サイズを指定できます。

オプション値	代替値	説明
letter	lt LT	Letterサイズ用紙を選択します。
A4	a4	A4サイズ用紙を選択します。
legal	lg LG	Legalサイズ用紙を選択します。
statement	st ST	Statementサイズ用紙を選択します。
ledger	ld LD	Ledgerサイズ用紙を選択します。
ledgerwide	ldwide LDWIDE	Ledger-Wideサイズ用紙を選択します。
folio	folio-japan	Folioサイズ用紙を選択します。
A3	a3	A3サイズ用紙を選択します。
A3WIDE	a3wide	A3-Wideサイズ用紙を選択します。
A5	a5	A5サイズ用紙を選択します。
A6	a6	A6サイズ用紙を選択します。
B4	b4b4-jis B4-JIS	JIS B4サイズ用紙を選択します。
B5	b5b5-jis B5-JIS	JIS B5サイズ用紙を選択します。
computer	co CO	Computerサイズ用紙を選択します。
legal13	lg13 LG13	13インチLGサイズ用紙を選択します。
sq85	letter-square	8.5SQサイズ用紙を選択します。
postcard		はがき用紙を選択します。
8K	8k	8Kサイズ用紙を選択します。
16K	16k	16Kサイズ用紙を選択します。
13.5" Legal	lg13.5 lg135 LG135	13.5インチLGサイズの用紙を選択します。
Executive	exec EXEC executive EXECUTIVE	Executiveサイズ用紙を選択します。
IndexCard		IndexCardサイズ用紙を選択します。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] A4サイズ用紙を選択するコマンド：lp -o a4 <filename>

□ 印刷モード

下記オプションを使用して印刷モードを選択できます。

オプション値	代替値	説明
normal		通常の印刷ジョブとして処理します。
hold		ホールド印刷ジョブとして処理します。
proof		お試し印刷ジョブとして処理します。
private=din		プライベート印刷ジョブとして処理します。[din] は1~63文字のパスワード（文書パスワード）です。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（normal）が使用されます。

プライベート印刷を行うには、最大63文字のパスワードを指定します。

64文字以上のパスワードを指定した場合は、64文字以上の文字を省いて印刷ジョブを送信します。

以下の文字は、パスワードに指定することはできません。

" & ' () ; < > ^ ` | ~ @ # % * !

□ 部門コード

下記オプションを使用して部門コードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
dept=code		部門コードを設定します。[code] は1~63文字の部門コードです。

最大63文字の部門コードを指定します。

64文字以上の部門コードを指定した場合は、64文字以上の文字を省いて印刷ジョブを送信します。

以下の文字は、部門コードに指定することはできません。

" & ' () ; < > ^ ` | ~ @ # % * !

補 足

- TopAccess管理者設定の [部門コードなし印刷ジョブ] の設定と、本機との双方向通信が有効であるかにより、不正な部門コードを入力して印刷した場合の印刷ジョブの処理は変わります。
 - 双方向通信が有効で、部門コードなし印刷ジョブが [不正ジョブリストに入れる] に設定されている場合は、不正な部門コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。
 - 双方向通信が無効で、部門コードなし印刷ジョブが [不正ジョブリストに入れる] に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは無効ジョブとして保留され、部門コードなし印刷ジョブリストに表示されます。
 - 部門コードなし印刷ジョブが [印刷] の場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブもそのまま印刷されます。
 - 部門コードなし印刷ジョブが [削除] の場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは削除されます。
- 使用する部門コードについては、管理者にご確認ください。

□ スムージング

文字やグラフィックをなめらかに印刷するか選択します。下記オプションを使用してスムージングモードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
smoothing=on	ON	スムージングモードを設定します。
smoothing=off	OFF	スムージングモードを解除します。

[例] スムージングモードを指定するコマンド：lp -o smoothing=on <filename>

注 意

- この機能は、お使いの機種がモノクロMFPの場合にのみ設定できます。
- お使いの機種によっては、[解像度] を [1200 dpi] に設定すると [スムージング] は設定できません。

細線モード

細線をはっきりと印刷するかを設定します。下記オプションを使用して細線モードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
thinlinelimit=on	ON	細線モードを設定します。
thinlinelimit=off	OFF	細線モードを解除します。

[例] 細線モードを指定するコマンド : `lp -o thinlinelimit=on <filename>`

白紙は印字しない

白紙ページを印刷するかを設定します。下記オプションを使用して白紙印字モードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
blankpage=0		白紙ページを印字します。
blankpage=1		白紙ページを印字しません。

[例] 白紙印字モードを指定するコマンド : `lp -o blankpage=0 <filename>`

トナー節約

下記オプションを使用してトナー節約モードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
tonersave=on	ON	トナー節約モードを設定します。
tonersave=off	OFF	トナー節約モードを解除します。

[例] トナー節約モードを指定するコマンド : `lp -o tonersave=on <filename>`

製本印刷

下記オプションを使用して製本印刷を選択できます。

注意

製本印刷はPostScriptデータのみにも適用されます。PCLデータを製本印刷した場合は、印刷が無効になります。

オプション値	代替値	説明
booklet=letter	lt LT	Letterサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=A4	a4	A4サイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=legal	lg LG	Legalサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=statement	st ST	Statementサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=ledger	ld LD	Ledgerサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=folio	folio-japan	Folioサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=A3	a3	A3サイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=A5	a5	A5サイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=B4	b4 B4-JIS b4-jis	JIS B4サイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=B5	b5 B5-JIS b5-jis	JIS B5サイズ用紙を使用して製本印刷を行います。

オプション値	代替値	説明
booklet=computer	co CO	Computerサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=legal13	lg13 LG13	13インチLGサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=SQ85	sq85 letter-square	8.5SQサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=8K	8k	8Kサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。
booklet=16K	16k	16Kサイズ用紙を使用して製本印刷を行います。

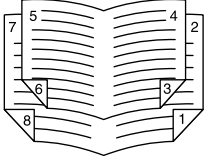
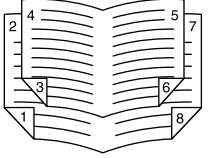
このオプションの値、およびページ記述言語のデータが [LT] の場合、Letter用紙を使用したブックレットが出力されます。一方、このオプションの値が [A4] でページ記述言語のデータが [A5] の場合には、A4用紙を使用したA5サイズのブックレットが出力されます。ブックレットモードオプションを選択すると、対応する用紙サイズが自動的に設定されます。この機能は、A4とLetter用紙にのみ使用することができます。また、ブックレットモードを選択すると、[sduplex] (両面印刷：短手とじ有効) が自動で選択されます。個別に行った両面印刷設定は、ブックレットモード設定よりも優先されます。

[例] Letterサイズ用紙を使用してブックレット印刷を行うコマンド：

```
lp -o booklet=letter <filename>
```

□ ページレイアウト

下記オプションを使用して製本印刷でのページレイアウトを選択できます。

オプション値	代替値	説明
left2right=off	OFF	右から左方向のページレイアウトで製本印刷を行います。この値は、製本のページレイアウトを決定します。この値が [OFF] の場合、右から左方向のページレイアウトは下図のように出力されます。 
left2right=on	ON	左から右方向のページレイアウトで製本印刷を行います。この設定が初期値です。この値が [ON] の場合、左から右方向のページレイアウトは下図のように出力されます。 

[left2right=off] の場合、長手とじ (左右開き) が選択されます。一方、[left2right=on] の場合、短手とじ (上下開き) が選択されます。

[例] 左から右方向のページレイアウトで製本印刷を行うコマンド：

```
lp -o left2right=on <filename>
```

□ 中央マージン

下記オプションを使用して製本印刷を行う際のページの中央マージンを指定できます。

オプション値	代替値	説明
centermargin=value		製本印刷を行う際のページの中央マージンを指定します。アプリケーションで指定済みの中央マージンに加えて、中央マージンまたは「のどあき」をピクセル単位で設定できます。 [value] はピクセルの単位で、0~300の範囲で設定できます。初期値は、0です。

[例] 製本印刷の中央マージンを指定するコマンド：
lp -o centermargin=value <filename>

□ 外側マージン

下記オプションを使用して製本印刷を行う際のページの外側マージンを設定できます。

オプション値	代替値	説明
outermargin=value		製本印刷を行う際のページの外側マージンを指定します。製本印刷を出力中に各ページに設ける外側マージンまたは「クリープ」をピクセル単位で設定します。[value] はピクセルの単位で、0~600の範囲で設定できます。初期値は、0です。

[例] 製本印刷の外側マージンを指定するコマンド：
lp -o outermargin=value <filename>

□ 部単位印刷

下記オプションを使用して部単位印刷を設定できます。

オプション値	代替値	説明
collate=off	OFF	部単位印刷を無効にします。
collate=on	ON	部単位印刷を有効にします。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（collate=on）が使用されます。
[例] 部単位印刷を無効にするコマンド：lp -o collate=off <filename>

□ 印刷向き

下記オプションを使用して印刷の向きを指定できます。

オプション値	代替値	説明
portrait		ドキュメントを縦向きで印刷します。
landscape		ドキュメントを横向きで印刷します。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
[例] 印刷向きに横向きを指定するコマンド：lp -o landscape <filename>

□ フォントピッチ

ピッチを指定すると、[net_estcolor] プログラムは常時 [Courier] を選択します。そのほかの場合は、初期値のフォントが使用されます。下記オプションを使用して、フォントのピッチを選択できます。

オプション値	代替値	説明
c	pitch=16.67	文字ピッチを16.67文字/インチに設定します。
10	pitch=10	文字ピッチを10文字/インチに設定します。
12	pitch=12	文字ピッチを12文字/インチに設定します。
pitch=value		文字ピッチを入力した [value] /インチに設定します。

上記すべての場合において、[Courier] が選択されます。ピッチを変更すると、フォントサイズは自動的に適切なサイズに変更されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
[例] 文字ピッチを8文字/インチに設定するコマンド：lp -o pitch=8 <filename>

□ ページ長

下記オプションを使用してページの印字行数を指定できます。

オプション値	代替値	説明
pl=value		印字行数を入力した [value] に設定します。

本機はページプリンタであり、用紙の物理的な長さを変更することはできません。このため、インチ当たりの行数を変更するこのコマンドを使用し、目的の行数でページを印刷します。上部マージンやテキスト長オプションが使用されている場合、実際のページ長はこの値と異なる場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。指定できる最小のページ長は [5] です。[5] 未満の値を指定した場合、ページ長は [5] に設定されます。

[例] 1ページの印刷行数を66行に指定するコマンド : `lp -o pl=66 <filename>`

□ カラーモード

印刷ジョブをカラーで印刷するか、白黒で印刷するか、2色印刷するかを選択します。下記オプションを使用してカラーモードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
colormode=COLOR	color	カラーモードを設定します。
colormode=GRAYSCALE	grayscale	グレースケールモードを設定します。
colormode=AUTO	auto	オートカラーモードを設定します。
colormode=2KR	2kr	2色カラーモード（黒と赤）を設定します。
colormode=2KG	2kg	2色カラーモード（黒と緑）を設定します。
colormode=2KB	2kb	2色カラーモード（黒と青）を設定します。
colormode=2KC	2kc	2色カラーモード（黒とシアン）を設定します。
colormode=2KM	2km	2色カラーモード（黒とマゼンタ）を設定します。
colormode=2KY	2ky	2色カラーモード（黒とイエロー）を設定します。
colormode=2KW	2kw	2色カラーモード（黒と白）を設定します。

[例] カラーモードを設定するコマンド : `lp -o colormode=COLOR <filename>`

注意

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

□ 黒とグレーを黒 (K) トナーで印刷する

黒とグレーの部分をKトナーで印字するかを設定します。下記オプションを使用して黒とグレーの印字方法を設定できます。

オプション値	代替値	説明
pureblackgray=0		黒とグレーの黒トナー印刷を無効にします。
pureblackgray=1		黒を黒トナーで印刷します。
pureblackgray=2		黒とグレーを黒トナーで印刷します。

[例] 黒とグレーを黒トナーで印刷するコマンド : `lp -o pureblackgray=1 <filename>`

注意

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

 原稿種類

下記オプションを使用して原稿種類を指定できます。

オプション値	代替値	説明
iqnormal		通常のカラー文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
iqphoto		写真を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
iqpresen		プレゼンテーション資料を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
iqlineart		多くの文字やラインアートで構成される文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。

[例] 通常の前稿種類で印刷するコマンド: `lp -o iqnormal <filename>`

注意

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

 ハーフトーン

印刷時にハーフトーン処理を行うか設定します。下記オプションを使用してハーフトーンの印字方法を設定できます。

オプション値	代替値	説明
halftone=AUTO		画像部分は写真に合ったハーフトーンで印刷し、文字部分は文字に合ったハーフトーンで印刷します。
halftone=DETAIL		ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
halftone=SMOOTH		ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

[例] ハーフトーンの印字方法に自動を指定するコマンド:

`lp -o halftone=AUTO <filename>`

 ブラックオーバープリント

黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントするかを設定します。有効にした場合はテキストと背景間のすき間やカラーの版ズレを回避できます。下記オプションを使用してブラックオーバープリントを設定できます。

オプション値	代替値	説明
blackoverprint=0		ブラックオーバープリントを無効にします。
blackoverprint=1		ブラックオーバープリントを有効にします。

[例] ブラックオーバープリントを有効にするコマンド: `lp -o blackoverprint=1 <filename>`

注意

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

□ カラーバランス

下記オプションを使用してカラーバランスを設定できます。

オプション値	代替値	説明
CBC=value		シアントナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
CBM=value		マゼンタトナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
CBY=value		イエロートナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
CBK=value		黒トナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4

[例] 黒トナーのカラーバランスを「1」に設定するコマンド : `lp -o CBK=1 <filename>`

注意

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

□ 画質調整

下記オプションを使用して画質調整を設定できます。

オプション値	代替値	説明
brightness=value		明るさを指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
contrast=value		コントラストを指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
saturation=value		彩度を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
sharpness=value		シャープネスを指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4
backgroundadjustment=value		下地調整を指定します。以下の値を設定できます。 -4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4

[例] 明るさを「1」に設定するコマンド : `lp -o brightness=1 <filename>`

注意

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

■ PCL5e固有オプション

下記オプションは、プレーンテキストまたはPCL5eファイルのみに適用されます。

テキストラップ

下記オプションを使用してテクストラップ機能（テキストをウィンドウサイズや用紙の大きさに合わせて適当な位置で改行する機能）を管理します。

オプション値	代替値	説明
wrap		自動的にテクストラップを実行する。
nowrap		テクストラップを自動的に実行しない。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] テキストラップ機能を指定するコマンド：lp -o wrap <filename>

左マージン

下記オプションを使用して左マージン位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
lm=value		左マージンを入力した [value] に設定します（コラム単位）。

左マージンを右マージンの右側に設定した場合、その設定は無視されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 左マージンを5コラムに設定するコマンド：lp -o lm=5 <filename>

右マージン

下記オプションを使用して右マージン位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
rm=value		右マージンを入力した [value] に設定します（コラム単位）。

右マージンを左マージンの左に設定した場合、または実際のページ幅よりはみ出た位置に設定した場合は、その設定は無視されます。また、負の値も無視されます。入力する [value] は、左マージンからのコラム数を示します。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] Example: 右マージンを50コラムに設定するコマンド：

lp -o rm=50 <filename>

上マージン

下記オプションを使用して上マージン位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
tm=value		上マージンを入力した [value] に設定します（行単位）。

上マージンを設定すると、極端に高い位置または低い位置にあるテキストはプリンタの非印字領域により印刷されない場合があります。上マージンを実際のページ長より高い位置に設定した場合、その設定は無視されます。上マージンの設定は、ページ長オプションにより指定した行数に影響を及ぼす場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 上マージンを10行に設定するコマンド：lp -o tm=10 <filename>

□ テキスト長

下記オプションを使用してページの印字行数を指定できます。

オプション値	代替値	説明
tl=value		印字行数を入力した [value] に設定します。

テキスト長の設定が大きすぎる場合、用紙の印字可能領域に入りきらず印字されないことがあります。本機のページ長の初期設定値から上マージンの設定を引いた数値よりテキスト長の設定が大きい場合は、テキスト長の設定は無効になります。テキスト長は上マージンからの行数を指定します。テキスト長の設定は、ページ長オプションにより指定した行数に影響を及ぼす場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 1ページの印刷行数を40行に指定するコマンド : lp -o tl=40 <filename>

□ バナーページ

バナーページはジョブごとに自動で印刷されます。バナーページは常にPCL5eジョブとして送信され、以下の内容が印刷されます。

- 印刷ジョブを実行したユーザ名
- ジョブ番号とジョブを実行したワークステーション名
- ジョブタイトル (ジョブタイトルは、[-t] オプションで指定することができます。通常は、[lp] コマンドにより指定された同じタイトル名が各ジョブに適用されます。)
- 印刷時に指定したオプション
- 印刷部数
- プリンタ名およびIPアドレス
- 日付と時刻

バナーページはジョブに設定された部数に関係なく各ジョブにつき1部のみ印刷されます。また、バナーページは元々のジョブとは別のジョブとして送信されるため、ホチキス印刷を実行しても、バナーページと一緒にホチキスすることはありません。バナーページは、常に以下の設定で印刷されます。

- 部数=1
- ホチキス=オフ
- パンチ=オフ
- 用紙の向き=縦
- 両面印刷=オフ
- 用紙サイズ= [-o] オプションによるプリンタのデフォルトサイズ指定
- 給紙元=給紙カセットまたは用紙種類ジョブオプションにより指定可能
- 出力トレイ= [-o] オプションによるプリンタのデフォルトサイズ指定
- ページ長=6/インチ
- テキストラップ=オン

注意

- バナーページはA5/Statement以上の大きさの用紙に収まるようにデザインされています。
以下の用紙サイズを選択した場合は、1ページに収まりきらないためデフォルト用紙を使用します。
 - Statement
 - A5
 - A6
 - B5
 - はがき
 - 往復はがき
- バナーページはジョブが印刷される前に印刷されます。
- 印刷言語が [raw] に設定されている場合は、バナーページは印刷されません。
- バナーページの給紙カセットまたは用紙種類による給紙元の指定は、ジョブの給紙カセットまたは用紙種類とは別に指定することができます。バナーページ用の給紙元が指定されていない場合は、自動選択が適用されます。用紙種類が指定されていない場合は、プリンタのデフォルト用紙種類が適用されます。
- 出力トレイや用紙サイズの印刷情報を含んでいるファイルを印刷した場合、バナーページは異なる出力トレイに出力されたり、異なる用紙サイズを使用して出力されることがあります。
- バナーページはパンチ処理されません。

バナーオプション

下記オプションを使用してバナーページの印刷を設定できます。

オプション値	代替値	説明
banner=last		ジョブを印刷した後にバナーページを印刷し、出力されたジョブの一番上（最後）にバナーページを出力します。
banner=first	banner	ジョブを印刷する前にバナーページを印刷し、出力されたジョブの一番下（最初）にバナーページを出力します。
nobanner	nb	バナーページを印刷しません。ただし、管理者によりLPDのバナーページを印刷するよう本機で設定されている場合は、このオプションは無効となりバナーページが印刷されます。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（banner=first）が使用されます。
[例] ジョブを印刷した後にバナーページを印刷するコマンド：lp -o banner=last <filename>

バナー給紙元

下記オプションを使用してバナーページの給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
bauto-source		自動で給紙元を指定します。
bdrawer1	buuper bcas1	1段目カセットを指定します。
bdrawer2	blower bcas2	2段目カセットを指定します。
bdrawer3	bpedupper bcas3	3段目カセットを指定します。
bdrawer4	bpedlower bcas4	4段目カセットを指定します。
blcf		大容量給紙装置を指定します。

このオプションを指定しない場合、PCL5eの自動給紙元指定コマンド「[<esc>&17H]」が送信されます。バナーページは手差しトレイから給紙することはできません。また、バナー給紙元の指定より用紙サイズによる給紙元の指定が優先して適用されます。
[例] 大容量給紙装置から給紙するコマンド：lp -o blcf <filename>

バナー用紙種類

下記オプションを使用して、用紙種類を指定することによりバナーページの給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
bmtime=Plain		普通紙のセットされた給紙元を指定します。
bmtime=Transparency		OHPフィルムのセットされた給紙元を指定します。
bmtime=Thick1		厚紙1がセットされた給紙元を指定します。
bmtime=Thick2		厚紙2がセットされた給紙元を指定します。
bmtime=Thick3		厚紙3がセットされた給紙元を指定します。

用紙サイズが常に用紙種類や給紙元より優先されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

[例] 普通紙を指定するコマンド : `lp -o bmtime=Plain <filename>`

USBダイレクト印刷

■ USBメディアからファイルを印刷する

USBダイレクト印刷は、本機のUSBポートに接続したUSBメディアに保存してあるファイルを印刷する機能です。印刷できるのは、PDF/暗号化PDFファイル（拡張子が「.pdf」）、XPSファイル（拡張子が「.xps」）、JPEGファイル（拡張子が「.jpg」または「.jpeg」）、PRNファイル（拡張子が「.prn」）およびPSファイル（拡張子が「.ps」）です。

注意

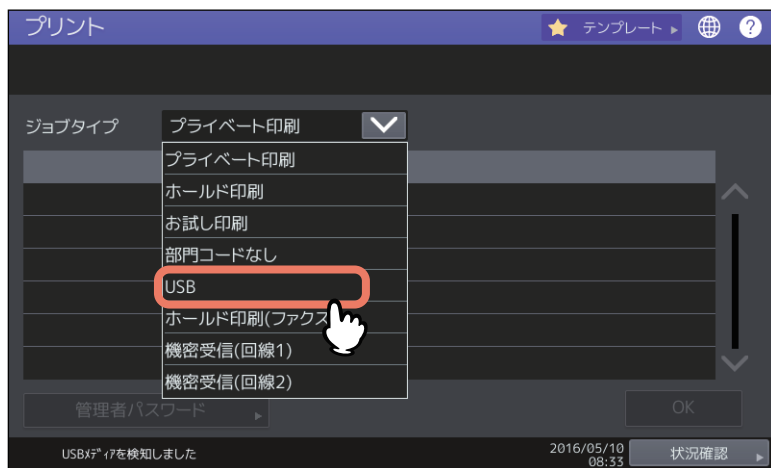
「USBメディアを読み込み中です USBメディアを取り外せません」というメッセージが出ている間は、接続したUSBメディアを抜かないでください。USBメディア内のデータが壊れたり、本機が故障したりする原因となります。

- 1 タッチパネルのホーム画面で【プリント】を押します。
- 2 USBメディアを、本機のUSBポートに接続します。
数秒後、画面左下に「USBメディアを検知しました」と表示されます。

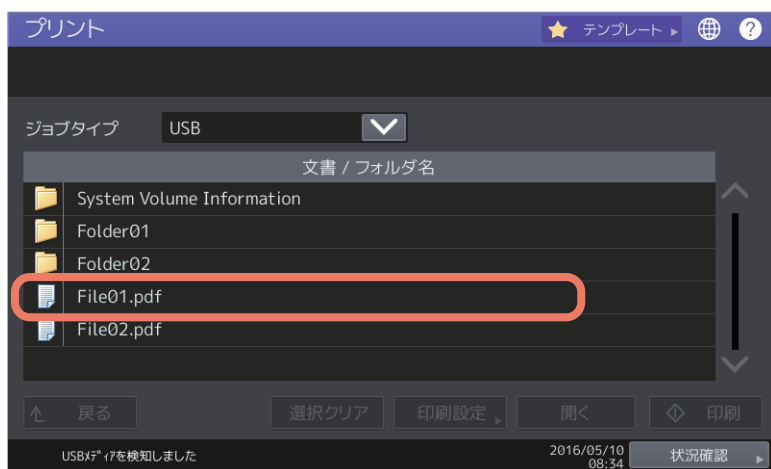
補足

USBポートの位置については、**かんたん操作ガイド**を参照してください。

- 3 【USB】を選択します。



- 4 「文書/フォルダ名」一覧から印刷したいファイルを選択します。ファイルは複数選択することもできます。



- フォルダの中のファイルを選択する場合は、フォルダを選択して、【開く】を押します。
- 選択したファイルにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して【OK】を押します。

補 足

- Adobe Acrobat 6.0以降で作成した暗号化PDFファイルを印刷する場合は、「文書を開くパスワード」または「権限パスワード」を入力してください。
- Adobe Acrobat で印刷許可権限を「低解像度（150 dpi）」に設定して作成された暗号化PDFファイルを印刷するには、作成時に設定した権限パスワードの入力が必要です。

印刷設定を変更する場合は、手順6に進んでください。設定を変更しないで印刷する場合は、[印刷] を押します。

5 [印刷設定] を押し、必要に応じて設定項目を選択します。



- **カラー**
カラーモードを設定します。
- **両面モード**
両面印刷の設定をします。
片面：片面印刷します。
両面（左／右とじ）：用紙の垂直方向にとじしろを設定し両面印刷します。印刷文書は左右開きとなります。
両面（上／下とじ）：用紙の水平方向にとじしろを設定し両面印刷します。印刷文書は上下開きとなります。
- **仕上げモード**
ホチキス留めする位置を設定します。
ノンホチキス：ホチキス留めをしません。
ホチキス（左上）：用紙の左上をホチキス留めします。
ホチキス（右上）：用紙の右上をホチキス留めします。
- **PDFオーバープリント**
PDFファイル内のオブジェクトにオーバープリントが設定されている場合、この機能を有効にするとオブジェクトをオーバープリント印刷することができます。
OFF：オーバープリントをしないで印刷します。
ON：オーバープリントを有効にして印刷します。
ON（PDF/Xのみ）：印刷対象となるPDFファイルがPDF/Xの仕様に準拠している場合のみ、オーバープリントを有効にして印刷します。
- **サイズ**
用紙サイズを設定します。

注意

- 用紙サイズは、JPEGファイルを印刷する場合のみ指定できます。(続けてJPEGファイルを印刷する場合には、ここで指定した用紙サイズの設定が継続して使用されます。)
- PDFオーバープリントの設定は、PDFファイル内のオーバープリントが設定されたオブジェクトにのみ反映されます。PDFファイルに設定されているオーバープリントの効果をあらかじめ確認したい場合は、Adobe Readerのオーバープリントプレビュー機能などで、プレビュー表示を切り替えて確認することができます。

補足

- PDFファイルを印刷する場合は、[仕上げモード] [両面モード] [PDFオーバープリント] の設定ができます。
- [カラーモード] および [PDFオーバープリント] はカラー機のみ表示されます。

6 **【印刷】 を押します。**

用紙は排紙トレイに排紙されます。

印刷時の注意事項

- USBダイレクト印刷を行うには、TopAccessの「USBダイレクト印刷」設定が有効になっている必要があります。詳しくは、**TopAccessガイド**を参照してください。
- 印刷範囲は設定できません。すべてのページが印刷されます。
- 本機能は、PDFファイルバージョンが1.3~1.7のPDFファイルに対応しています。
- 暗号化PDFの場合は、暗号化レベルに「40-bit RC4」または「128-bit RC4」を選択して作成されたファイルに対応しています。
- 本機能は、暗号化レベルに「128-bit AES」を選択して作成された暗号化PDFには対応していません。また、他の暗号化レベルの場合でもまれに印刷できないことがあります。この場合は、クライアントコンピュータから印刷を行ってください。
- PDFファイルの印刷は、PDF原稿に定義されている用紙サイズで印刷されます。定義されている用紙サイズが、その機種でサポートされていない用紙サイズの場合、ユーザ設定サイズで印刷されます。(ユーザ設定サイズのサポートサイズ外だった場合、幅/高さそれぞれをサポートサイズ内に変換して印刷します。)カセットにセットされている用紙で印刷する場合、タッチパネルで使用するカセットを選択してください。カセットにセットされている用紙が、指定したサイズよりも小さい場合は、画像の一部が印刷されない場合があります。
- USBダイレクト印刷でPRNファイルを印刷する場合、本機がサポートするページ記述言語は、PostScript 3、PCL5e、PCL5c、PCL6、XPSです。
- USBメディアをUSBポートに接続したまま、本機の電源を入れしないでください。
- 使用可能なUSBメディアは、以下の条件を満たしたものに限ります。ただし、USBメディアによっては、条件を満たしていても本機で使用できないことがあります。
 - FAT16、FAT32フォーマット
 - 単一パーティション (複数パーティションのUSBメディアは使用不可)

FTP印刷は、本機でFTP印刷サービスが有効に設定されている場合にのみ利用できます。FTPプロトコルを使用して本機へ印刷ファイルを送信し、文書を印刷します。以下のファイルを印刷することができます。

- PCLファイル
- PS (PostScript) ファイル
- テキストファイル

注意

本機のユーザ管理設定が有効な場合、FTP印刷により送信された印刷ジョブは、無効ジョブとしてユーザ認証強制の設定に従って処理されます。ユーザ認証強制の設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。

補足

- Windowsでは、プリンタドライバを使ってPCLファイルおよびPSファイルを作成することができます。PCLファイルまたはPSファイルを作成するには、プリンタドライバのプリンタポートを [FILE:] ポートに変更し、文書を印刷します。ファイルへの出力についての詳細は、お使いのOSの取扱説明書を参照してください。
- Mac OSでは、プリンタドライバを使ってPSファイルを作成することができます。PSファイルを作成するには、「プリント」ダイアログボックスの [出力対象] から [ファイル] を選択します。ファイルへの出力についての詳細は、お使いのOSの取扱説明書を参照してください。

FTPコマンドを使用してファイルを印刷する

ここでは、コマンドプロンプトからFTPコマンドを入力し、印刷を行う例で説明します。

- 1 コマンドプロンプトを起動します。
- 2 カレントディレクトリを印刷ファイルが保存されているディレクトリに変更します。
- 3 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。
ftp <IPアドレス>
<IPアドレス>の箇所には、本機のIPアドレスを入力します。
- 4 ユーザ名の入力を要求された場合は、FTPプリントユーザ名を入力し、[Enter] キーを押します。

注意

FTPプリントユーザ名が管理者によって割り当てられている場合に、ユーザ名の入力が要求されます。FTPユーザ名については、管理者にご確認ください。

- 5 パスワードの入力を要求された場合は、FTPプリントパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。

注意

- FTP印刷ユーザ名が管理者によって設定されている場合は、パスワードの入力が要求されます。FTP印刷パスワードについては、管理者にご確認ください。
- FTP印刷ユーザ名が設定されており、FTP印刷パスワードが設定されていない場合は、パスワードの入力が要求されたらパスワードを入力せずにそのまま [Enter] キーを押します。

- 6 以下のコマンドを入力し、[Enter] キーを押します。

```
put <ファイル名>  
例：印刷ファイル名が [sample.ps] の場合  
put sample.ps
```

- 7 ファイルが本機へ送信され、印刷キューにスプールされます。

Eメール印刷は、本機でEメール印刷サービスが有効に設定されている場合にのみ利用できます。メールクライアントソフトウェアを使って、印刷ファイルを本機へEメールの添付ファイルとして送信することにより文書を印刷します。本機では、インターネットファクスのファイルフォーマットであるTIFF-FX(Profile S)、TIFF-FX(Profile F)、TIFFF(X)(Profile J)ファイル、本機のスキャン機能でモノクロスキャンしたTIFF形式の画像ファイル、およびテキストデータ（プレーンテキスト形式で記述されたメールの本文）を印刷することができます。

受信したEメールに上記以外のファイルが添付されていると、印刷を正常に終了できず、受信ログにエラーコードとしてこれが記録されます。TopAccessでは、「Eメール印刷」設定が管理者に用意され、エラーコードをレポートとして印刷するよう設定できます。また、このようなEメールを別のEメールアドレスに転送するように設定することも可能です。詳しくは、**TopAccessガイド**を参照してください。

注意

- 本機のユーザ管理設定が有効な場合、Eメール印刷により送信された印刷ジョブは、無効ジョブとしてユーザ認証強制の設定に従って処理されます。ユーザ認証強制の設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。
- Eメール印刷ジョブは、本機の管理者設定メニューより [ファクス] → [記録モード] を押して表示される画面で設定できる、切り捨て印刷および縮小印刷の設定によって、どのように印刷されるかが異なります。

切り捨て印刷がONの場合は、印刷範囲を超える長さが10 mm未満の印刷イメージは切り捨てられます。印刷範囲を超える長さが10 mmより長い印刷イメージは、印刷可能な大きいサイズ用の紙に印刷されます。切り捨て印刷がOFFの場合は、長さが用紙印刷範囲を超える印刷イメージは、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。

縮小印刷がONの場合は、用紙より長い印刷イメージは、用紙に収まるように縦方向に最大で90%まで縮小し印刷します。90%の縮小でも用紙に収まらない場合は、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。縮小印刷がOFFの場合は、用紙より長い印刷イメージは、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。

Eメールクライアントを使用してファイルを印刷する

ここではWindows 10に標準でインストールされているEメールアプリケーションを例に説明します。

注意

本機へEメールメッセージを送信し、ファイルを印刷するときは、メッセージをテキスト形式で送信してください。HTML形式で送信すると、本機はメッセージのHTMLソースコードを印刷します。

- 1 Eメールアプリケーションを開きます。
- 2 メニューから [新規メール] を選択します。
- 3 [宛先] に、本機のEメールアドレスを入力します。
- 4 必要に応じて、[件名] ボックスにEメールの件名を入力します。
- 5 本文欄にメッセージを入力します。
- 6 印刷したいファイルを添付します。
- 7 Eメールを送信します。

注意

Eメールの [件名] および [本文] は、本機のEメール印刷サービスで [Eメールヘッダ印刷] および [本文印刷] が有効に設定されているときに印刷されます。

索引

数字

180度回転する	28
1ページ毎に挿入	42
2色	43, 127

C

CMYK	131
ColorSync	134

E

Eメール印刷	171
--------	-----

F

FTP印刷	170
-------	-----

J

JPEG	167
------	-----

L

LDAPサーバー	19
Linux	150
lp	150
lptap	150

N

Nin1	35
------	----

P

PDF	167
PostScriptオーバープリント	129
PRN	167
PS	167

R

RGB	131
-----	-----

U

UNIX	150
USBダイレクト印刷	167

あ

暗号化PDF	167
--------	-----

い

位置	138
インサータユニット	82
印刷言語	151
印刷ごとにユーザ認証のためのユーザ名とパスワードを入力する	84
印刷部数	151
印刷方式	30, 31
印刷向き	159
印刷モード	156
印刷用紙サイズ	20, 27
インデックス紙	23
インデックス幅	23

う

上マージン	163
裏表紙挿入	40, 124

お

オートトラッピング	129
-----------	-----

オーバーレイファイル	54, 55
オーバーレイファイルで保存	54
お試し印刷	60
オプション機器を設定する	80

か

解像度	50, 136, 137
拡大／縮小	27
角度	138
画質調整	135
[カスタム] タブ	93
カスタム用紙サイズ	107
カセット	82
カセット設定	82
カラー	43
カラーバランス	135
カラープロファイル設定	131
カラーモード	160
簡易設定	74

き

機器の色のみに適用されます。	131
機種名	81
[基本] タブ	88
給紙	104
給紙元	154
境界線	116
鏡像	28

く

グループ	31
黒とグレーの印刷方法	128
黒とグレーを黒 (K) トナーで印刷する	160

け

原稿サイズ	20, 27
原稿サイズと同じ	20
原稿種類	130

こ

この設定を使用する	131
混在原稿の向きを揃える	28
コントラスト	135

さ

最前面に配置	138
細線モード	157
彩度	135
最背面に配置	138

し

[仕上げ] タブ	89
下地調整	135
指定ページに挿入	41
自動両面ユニット	82
シフト幅	23
シャープネス	135
周囲に境界線を印刷	35
出力トレイ	153
初期値に戻す	131
ジョブタイプ	140
ジョブタイプの組み合わせ	66

書類をプリント	139	表紙のタイプ	125
白黒	43, 126	表示ユーザ名	140
す		標準に戻す	57
スケジュール	139	表紙をプリント	125
スタンプ	51	ふ	
スミージング	48, 156	フィニッシュャ	82
寸法	138	フォントピッチ	159
せ		部数	30, 31
製本	32, 115	部単位印刷	159
製本印刷	157	部門コード	17, 18, 83, 102, 156
製本設定	33	プライベート印刷	59
そ		ブラックオーバープリント	129, 161
ソート	30	プリンタのカラー	134
[挿入] タブ	90	プリンタプロファイル	131
外側マージン	159	プロファイル	134
外側余白	115	分割枚数	38
た		へ	
タイトル	151	ページ数/枚	116
大容量給紙装置 (外付け)	82	ページ長	160
縦横交互	31	ページレイアウト	158
ち		ほ	
中央マージン	159	ホールド印刷	61
中央余白	115	ホールパンチユニット	82
丁合い	112	保管先フォルダ	141
て		ポスター印刷	38
テキスト長	164	ホチキス	36, 118, 152
テキストラップ	163	本体に保存	63, 64, 65, 141
[デバイス設定] タブ	81	ま	
と		マルチステーション印刷	62
同時に印刷	141	み	
トナー節約	39, 123, 157	右から左	115
ドライバ用紙カセット優先	82	右マージン	163
な		め	
中折り	121, 152	明度	135
は		も	
ハードディスク	82	文字	138
ハーフトーン	48, 132, 133, 161	文字を黒で印刷する	44
排紙先	29, 141	ゆ	
配列	35	優先順位	139
はがき	24, 106	よ	
白紙は印字しない	39, 122, 157	用紙カセット	20
はじめに	3	用紙サイズ	155
バナーオプション	165	用紙種類	21, 105, 153
バナー給紙元	165	用紙処理	109
バナーページ	125, 164	余白を編集する	37
バナー用紙種類	166	予約印刷	58
パンチ	36, 120, 153	り	
パンチ穴	120	両面印刷	32, 114, 154
反転	45	れ	
ひ		レイアウト方向	116
左から右	115	レンドリングインテント	131
左マージン	163		
表紙挿入	40, 124		

FC-2000AC
FC-2505AC/3505AC/4505AC/5005AC
DP-2508A/3508A/4508A/5008A
FC-5506AC/6506AC/7506AC
DP-6508A/8508A
OMJ150056B0

東芝デジタル複合機
印刷ガイド

e-STUDIO2000AC
e-STUDIO2505AC/3505AC/4505AC/5005AC
e-STUDIO2508A/3508A/4508A/5008A
e-STUDIO5506AC/6506AC/7506AC
e-STUDIO6508A/8508A

東芝テック株式会社

